

(仮称)舞岡墓園納骨堂その他新築工事

図 面 リ ス ト								
図 番	図 面 名 称	縮尺(A1版)	図 番	図 面 名 称	縮尺(A1版)	図 番	図 面 名 称	縮尺(A1版)
A-01	表紙・図面リスト	—	S-01	【納骨堂】構造標準仕様	—	E-01	特記仕様書・案内図・配置図・図面リスト・工事区分表	1/1000
A-02	建築工事特記仕様書(その1)	—	S-02	【納骨堂】RC構造配筋標準図(1)	—	E-02	盤結線図	—
A-03	建築工事特記仕様書(その2)	—	S-03	【納骨堂】RC構造配筋標準図(2)	—	E-03	幹線動力設備 地階・1階平面図	1/100
A-04	建築工事特記仕様書(その3)	—	S-04	【納骨堂】伏図	1/100	E-04	照明器具姿図	—
A-05	建築工事特記仕様書(その4)	—	S-05	【納骨堂】軸組図	1/100	E-05	電灯コンセント設備 地階・1階平面図	1/100
A-06	建築工事特記仕様書(その5)	—	S-06	【納骨堂】部材リスト1	1/30	E-06	誘導灯設備 地階平面図	1/100
A-07	建築工事特記仕様書(その6)	—	S-07	【納骨堂】部材リスト2	1/30			
A-08	建築工事特記仕様書(その7)	—	S-07A	【納骨堂】部材リスト3	1/30			
A-09	工事概要 工事区分表 案内図 全体配置図	1/1,000	S-07B	【納骨堂】部材リスト4	1/30			
A-10	建築工事エリア配置図	1/100	S-08	【納骨堂】配筋詳細図1	1/30	M-01	図面リスト・仕様書・工事区分・凡例	—
A-11	全体敷地求積図 求積表	1/1,000	S-09	【納骨堂】配筋詳細図2	1/30	M-02	工事概要、案内図、全体配置図	1/1,000
A-12	部分敷地求積図-1	1/250	S-10	【納骨堂】地盤改良図(参考)	1/100	M-03	各階平面図(衛生・換気設備)	1/50
A-13	部分敷地求積図-2	1/250				M-04	換気計算書・換気機器表・換気設備断面図	1/50
A-14	部分敷地求積図-3	1/250				M-05	屋外排水縦断面図	1/100-10
A-15	部分敷地求積図-4	1/250						
A-16	部分敷地求積図-5	1/250						
A-17	部分敷地求積図-6	1/250						
A-18	【納骨堂】求積図 求積表	1/100						
A-19	【納骨堂】平均地盤面算定図	1/100						
A-20	【納骨堂】仕上表 各階平面図	1/100						
A-21	【納骨堂】立面図 断面図	1/100						
A-22	【納骨堂】断面詳細図-1	1/5 1/20						
A-23	【納骨堂】断面詳細図-2	1/20						
A-24	【納骨堂】断面詳細図-3 防水仕様	1/10 1/20						
A-25	【納骨堂】平面詳細図	1/50						
A-26	【納骨堂】展開図-1	1/50						
A-27	【納骨堂】展開図-2	1/50						
A-28	【納骨堂】天井伏図 ビット平面図	1/100						
A-29	【納骨堂】建具キープラン 建具表	1/50 1/100						
A-30	【納骨堂】二重壁詳細図 湧水フォーム詳細図	1/5 1/10						
A-31	【納骨堂】納骨棚詳細図	1/2 1/5 1/20 1/100						
A-32	【納骨堂】アルミ庇詳細図	1/5 1/30						
A-33	【納骨堂】工事開始時現況図 仮設計画図(参考図)	1/200						

※記入縮尺は、A1出力時のものとし、A3出力時はその1/2倍とする。

横浜市建築局			工事名 (仮称)舞岡墓園納骨堂その他新築工事		
年月日	R7.03	縮尺	—		図面名称 表紙・図面リスト
設計者	協和建築設計事務所		施設番号	標準号	完成年度
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1		1級建築士登録 第282011号 野崎 為一	図面枚数	図面種類	図面番号
					A-01

横浜市建築工事特記仕様書(令和6年版)

1 工事名称 (仮称)舞岡墓園納骨堂その他新築工事

2 工事場所 戸塚区吉田町1653番1ほか

3 地域・地区 市街化調整区域、基準建蔽率50%、基準容積率80% (第 種高度地区) (・防火 ・準防火 ○指定なし)

4 建物概要
 (1) 敷地面積 46,920.93㎡
 (2) 建築面積 59.63㎡
 (3) 延床面積 294.76㎡
 (4) 構造 鉄筋コンクリート造
 (5) 階数 地上1階・地下1階

5 工事範囲
 納骨堂新築工事
 管理棟新築工事
 上記に伴う電気設備工事
 上記に伴う衛生設備工事
 上記に伴う空調設備工事

特記仕様書の取り扱い
 (1) 章、項目は番号に印の付いたものを適用する。
 (2) 特記事項は ○印の付いたものを適用する。
 (3) 特記事項(記載の)内の表示番号は、公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(以下「標仕」という。)の項目番号及び表番号を示す。
 なお、別、別表は、標仕巻末の参考資料「各部配筋参考図」の図、表を示す。
 標準的な仕様を示し、特記が必要な場合は・を選択する。

章 項目 特記事項

10 適用基準等
 本特記仕様書によるほか下記による。
 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版) [令和5年3月改定]
 国土交通省大臣官房官庁営繕部 建築工事標準詳細図(令和4年版)
 国土交通省大臣官房官庁営繕部 公共建築木造工事標準仕様書(令和4年版)
 国土交通省大臣官房官庁営繕部 横浜市建築局建築工事特別仕様書(最新版)
 (以下「特別仕様書」という。)
 営繕工事写真撮影要領(令和5年版)
 国土交通省大臣官房官庁営繕部

11 施工図等の取扱い
 施工図等の著作権に係る当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。

12 設備工事との施工区分
 施工範囲
 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強
 図示した壁、天井上材の切込み及び下地材の補強
 駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ自動閉鎖装置取付箇所の切込み及び補強
 ・その他()

13 工事実績情報サービス(CORINS)への登録
 行う ・行わない (1.1.4)
 コリンズ工事実績情報システムによる「メール送付の承諾」する ・しない

14 建築基準法に基づく区分
 建築基準法に基づき定められる風圧区分等
 ○8章 ・9章 ・10章 ○13章 ○14章 ○16章
 ○17章 ・23章
 風速 (Vo = 34m/s ・ m/s)
 地表面粗度区分 (・)
 垂直積雪量 (30cm ・ cm)

15 電気保安技術者
 ・配置する ・配置しない (1.3.3)

16 (1.3.5)(a)以外の施工条件
 ・ (1.3.5)

17 施工中の安全確保
 横浜市工事安全管理規則による安全管理指定工事
 ・指定する(「特別仕様書」第1章8節による) (1.3.7)

18 施工中の環境保全等
 本工事は「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(平成12年5月31日法第104号)」、「資源の有効な利用の促進に関する法律(平成3年法律第48号)」の対象工事であり、特定建設資材の再資源化等について適切な措置を行う。ただし、工事契約後にやむを得ない事情により予定した条件により難しい場合は、監督員と協議する。
 工事着手前に再生資源利用計画書、再生資源利用促進計画書及び工事登録証明書(計画書作成時の出力したもの)を提出する。また、上記2つの計画書を工事現場の見やすい場所に掲げる等により公衆の閲覧に供する。工事完成時に再生資源利用実施書、再生資源利用促進実施書及び工事登録証明書(実施書作成時の出力したもの)を提出する。 (1.3.10)

10 発生材の処理等
 再資源化等をする特定建設資材廃棄物の種類及び施設等 (1.3.11)

特定建設資材廃棄物の種類	再資源化等する施設の名称及び所在地
○コンクリート	○「本市工事に伴い排出する建設副産物の処分要領」で指定する施設
○建設発生木材	○「本市工事に伴い排出する建設副産物の処分要領」で指定する施設
○アスファルト	○「本市工事に伴い排出する建設副産物の処分要領」で指定する施設
○コンクリートおよび鉄からなる建設資材	○建設リサイクル法第13条第1項に基づく書面による ・特別仕様書による

特定建設資材廃棄物以外の発生材の処分

種類	再資源化	所在地
○コンクリート	・する ・しない	
○建設発生木材	・する ・しない	

現場において再利用を図るもの ・有() ・無()
 引渡しを要するもの ・有() ・無()
 特別管理産業廃棄物 ・有() ・無()
 同上処理方法

建設汚泥の処分 ○有(地盤改良) ・無
 建設汚泥の処分については、次のとおりである。
 ・受入場所 市 区 町 番地
 ・運搬距離 L = km
 ・受入条件 時 ~ 時
 月 日 ~ 月 日 及び日曜、祝日または、 曜日を除く。

11 材料の品質等
 本工事に使用する材料は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークのない材料及びその製造業者等は、次の(1)から(6)の事項を満たすものとする。 (1.4.2)
 (1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。
 (2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。
 (3) 安定的な供給が可能であること。
 (4) 法令等で定める許可、認可、認定または免許を取得していること。
 (5) 製造または施工の実績があり、その信頼性があること。
 (6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること。
 なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質および性能を有することの証明となる資料、または外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。
 また備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品または同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は使用する場合は監督職員の承諾を得ること。

12 木材又は木材を原料とする資材
 ・木工事に使用する木材又は木材を原料とする資材を使用する場合は、神奈川県産木材又は地域材(関東甲信地方に属する都県及び静岡県で生産された素材等)を利用することとし、使用した材料の種類、産地等を監督職員に報告する。ただし、神奈川県産材又は地域材とすることが困難な場合には、原則として、監督職員の承諾を受けた国産材とする。
 木材又は木材を原料とする資材を使用する場合は、間伐材や合法性の証明された材を使用する。 (1.4.2)

13 特別な材料の工法
 「標仕」に記載されていない特別な工法は、材料製造所の指定する工法とする。

14 空気汚染低減措置
 適用する ・適用しない (1.4.1)

化学物質	建築材料等	性能
ホルムアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、アセトアルデヒド等	合板 木質系フローリング 構造用パネル 集成材 単板積層材 MDF パーティクルボード その他の木質建材(下地材含) 作り付け家具 作り付け書架 実験台	ホルムアルデヒド放散量は「F」とする。 アセトアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ないJIS規格品とする。
ホルムアルデヒド等	ホルムアルデヒド放散量は「F」とする。 アセトアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。	ホルムアルデヒド放散量は「F」とする。 アセトアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 また、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシン等を含む難揮発性の難揮発性の可塑性剤を使用しているJIS規格品とする。 は併せて、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ないJIS規格品とする。
壁紙 木工事、内装工事に使用する接着剤 保温材、防露材 緩衝材 断熱材 塗料 仕上塗材	ホルムアルデヒド放散量は「F」とする。 アセトアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 は併せて、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ないJIS規格品とする。	ホルムアルデヒド放散量は「F」とする。 アセトアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 は併せて、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ないJIS規格品とする。 クロロピリホス、ダイアジノン及びフェノカルブ含有しない非有機リン系の薬剤とし、加圧式防霉・防蟻処理等は工場で行い、十分乾燥した後現場へ搬入する。

15 技能士
 適用する ・適用しない (1.5.2)

適用工事種別	技能検定の職種
鉄筋工事	・鉄筋施工(鉄筋組立作業)
コンクリート工事	・型枠施工
鉄骨工事	・とび
既製コンクリート工事	・ブロック建築 ・エーエルシーパネル施工
防水工事	・アスファルト防水工 ・合成ゴム系シート防水工 ・ウレタン系塗膜防水工 ・シーリング防水工
石工事	・石材施工(石張り作業)
タイル工事	・タイル張り
木工事	・建築大工
屋根及びとい工事	・建築板金(内外装板金作業)
金属工事	・内装仕上施工(鋼製下地工)
左官工事	・左官
建具工事	・サッシ施工
カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工 ・サッシ施工 ・ガラス施工
塗装工事	・塗装(建築塗装作業)
内装工事	・内装仕上施工(カーベット系床仕上げ工事) ・内装仕上施工(ボード仕上げ工事)
植栽工事	・造園 ・量製作

16 化学物質の濃度測定
 実施する ・実施しない (1.5.9)
 測定対象化学物質、測定方法、測定対象室及び測定箇所は「横浜市建築局所管工事揮発性有機化合物(VOC)等の室内濃度測定マニュアル」(平成27年版)による。

17 中間技術検査
 中間技術検査を実施する段階 (1.6.2)
 ・杭工事 ・鉄筋工事 ・コンクリート工事 ・型枠工事
 ・鉄骨工事 ・基礎コンクリート打設前 ・2階床コンクリート打設前 ・その他 ()
 中間技術検査実施回数
 1回。ただし、施工状況により、追加する場合があります。

18 完成時の提出図書
 作成する (完成図書・保全に関する資料の作成は特別仕様書による) (1.7.1)
 ・作成しない

19 完成図の様式等
 原因の作成方法 CAD ・ (1.7.2)
 CADデータの提出 提出する ・提出しない

20 完成写真
 デジタルデータで提出する
 (提出方法は営繕工事写真撮影要領に準ずる)
 ○200万画素(キャビネ判)程度以上
 ・400万画素(A4判)程度以上
 ・下記のものを監督員に提出する。
 ・アルバム・300×300 A4判、黒表紙金文字を3冊提出
 (○施設管理者 ○発注者 ○工事担当課)

分類・規格	撮影箇所
カラー	外部 4箇所 内部 ○各室内観
キャビネ版	外部 4箇所 内部

 ・工事用アルバム A4判 冊提出

分類・規格	撮影箇所
カラー	外部 4箇所 内部
L版	外部 4箇所 内部

 完成写真の使用については、横浜市(建物所有者)の発行する印刷物等(広報誌など)に限り、使用を認めるものとする。
 撮影業者
 監督員の承諾する撮影業者(建築完成写真撮影の実績のあるもの)とする。
 ・指定しない

21 電子納品
 対象工事とする
 ○工事記録写真 ○施工図 ○完成図 ・製作図
 ・打合せ記録 ・その他 ()
 ・対象工事とし

22 その他

横浜市建築局

工事名 (仮称)舞岡墓園納骨堂その他新築工事

図面名称 建築工事特記仕様書(その1)

年月日 R7.03 縮尺 NO.SCALE

設計者 株式会社 協和建築設計事務所

1級建築士登録第282011号 児嶋 為一

施設番号 機番号 完成年度 図面種類 固有番号 図面番号

A-02

<p>仮設工事</p> <p>2 監督員事務所</p> <p>3 監督員事務所の設備、備品</p> <p>4 工事標示板</p> <p>5 工事用水</p> <p>6 工事用電力</p> <p>7 仮囲い</p> <p>8 その他</p>	<p>・枠組み足場については、特別仕様書による</p> <p>・設ける ○設けない (2.3.1)</p> <p>監督員事務所の規模</p> <p>・10m程度 ・20m程度 ・30m程度 ・m程度</p> <p>・机 個 ・いす 個 ・書棚 個 ・白板 個 (2.3.1)</p> <p>・掛時計 個 ・寒暖計 個 ・ゴム長靴 個</p> <p>・雨がっぱ 個 ・保護帽 個 ・懐中電灯 個</p> <p>・安全帯 個 ・衣類ロッカー 個 ・消火器 個</p> <p>・湯沸器 個 ・掃除機 個 ・冷暖房機器 個</p> <p>・請負者加入電話の子機 個</p> <p>工事現場の適切な場所に「特別仕様書」1.21の標示板を設ける。(900mm×1800mm、白地にゴシック黒文字) (2.3.1)</p> <p>構内既存施設 利用できない ・利用できる(・有償 ・無償)</p> <p>構内既存施設 利用できない ・利用できる(・有償 ・無償)</p> <p>○位置・仕様については参考図を参照のこと。</p>	<p>6 場所打ちコンクリート杭地業</p> <p>セメントの種類 高炉セメントB種 (4.5.4)</p> <p>コンクリートの設計基準強度 (Fc) N/mm2 (4.5.4)</p> <p>コンクリートの種類 A種 ・ B種 (4.5.4)(表4.5.1)</p> <p>構造体強度補正值(S) (4.5.6)に規定する工法を用いる場合は、当該工法による (4.5.4)</p> <p>3N/mm2</p> <p>鉄筋</p> <p>・帯筋の加工及び組立 図面による (4.5.4)</p> <p>・鉄筋かごの補強 図面による</p> <p>・鉄筋の最小かぶり厚さ 図面による</p> <p>工法の適用 (4.5.1)</p> <p>・アースドリル工法 (安定液使用 ・無水掘削)</p> <p>・リバース工法</p> <p>・オールケーシング工法</p> <p>・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 (4.5.6)</p> <p>・掘削工法 (安定液使用)</p> <p>・孔壁の超音波測定器による確認を行う (4.5.5)</p> <p>支持層の位置及び土質 図面による (4.5.5)</p> <p>支持層への根入れ長さ 図面による (4.5.5)</p> <p>水平方向の位置ずれの精度 mm以内 (4.5.5)</p> <p>○砂利地業 再生クラッシュラン (4.6.2)</p> <p>・切込砂利</p> <p>・砂地業 山砂 ・川砂 ・切込砕石 (4.6.2)</p> <p>厚み 60mm ○100mm</p> <p>○捨コンクリート地業 (4.6.4)</p> <p>厚み 50mm</p> <p>○床下防湿層 (4.6.5)</p> <p>図面による</p> <p>○施工記録 (4.3.9)(4.4.7)(4.5.8)(4.6.6)</p> <p>○その他</p> <p>○深層地盤改良コラム</p>	<p>6 ①コンクリートの強度</p> <p>普通コンクリート (6.2.2)(表6.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 Fc(N/mm2)</th> <th>スランブ</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>○21</td> <td>○18</td> <td>押えコン</td> </tr> <tr> <td>○24</td> <td>○18</td> <td>躯体</td> </tr> </table> <p>構造体強度補正は特別仕様書による</p> <p>・軽量コンクリート 1種 ・2種 (6.10.1)(表6.10.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 Fc(N/mm2)</th> <th>スランブ</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>・無筋コンクリート (6.14.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 Fc(N/mm2)</th> <th>スランブ</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・15</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・18</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>類 ・類 (6.2.1)</p> <p>・建築基準法第37条第二号に「規定する国土交通大臣の認定を受けたコンクリート</p> <p>・合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5)(表6.2.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>○B種</td> <td>外壁・内壁</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>・コンクリートの仕上りの平たんさ (表6.2.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・a種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・b種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・c種</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>普通ポルトランドセメント ・高炉セメントのA種 (6.3.1)</p> <p>高炉セメントB種</p> <p>高炉セメントB種の適用箇所(捨てコン)</p> <p>フライアッシュセメントB種の適用箇所()</p> <p>フェロニッケルスラグ細骨材等 ・使用する ・使用しない</p> <p>砕石等のアルカリシリカ反応による区分 A</p> <p>○深層地盤改良コラム</p>	設計基準強度 Fc(N/mm2)	スランブ	施工箇所	○21	○18	押えコン	○24	○18	躯体	設計基準強度 Fc(N/mm2)	スランブ	施工箇所	・	・	・	設計基準強度 Fc(N/mm2)	スランブ	施工箇所	・	・15	・	・	・18	・	種別	施工箇所	・A種	・	○B種	外壁・内壁	・C種	・	種別	施工箇所	・a種	・	・b種	・	・c種	・	<p>8 溶接部の試験</p> <p>AOQL(平均出検品質限界) 4.0% ・3.5% (7.6.12)</p> <p>検査水準 第6水準 (7.6.12)(表7.6.2~7.6.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>試験の種類</th> <th></th> <th></th> </tr> <tr> <td>超音波探傷試験</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>9 量付付加試験 (7.6.3)</p> <p>10 デッキプレートの溶接 (7.7.8)</p> <p>11 塗料の種類 (7.8.4)</p> <p>特記により塗装を行う場合等の耐火被覆材の接着面に行う錆止め塗料()</p> <p>12 耐火被覆 (7.9.2~7.9.7)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>性能</th> </tr> <tr> <td>・ラス張りモルタル塗</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・耐火材 乾式吹付ロックウール</td> <td></td> </tr> <tr> <td>吹付け</td> <td>・半乾式吹付ロックウール</td> </tr> <tr> <td>・耐火板張り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・耐火材巻付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・耐火塗料塗</td> <td></td> </tr> </table> <p>13 アンカーボルト等 (7.2.4)(7.10.3)(表7.2.3)(表7.10.1)</p> <p>・構造用アンカーボルトの種類、形状及び寸法 図面による</p> <p>・建方用アンカーボルトの種類、保持及び埋込み工法 (・A種 B種)</p> <p>・公差域クラス 仕上げの程度 図面による ・表7.2.3による</p> <p>14 ターンバックル等 (7.2.6)</p> <p>ターンバックルの種類及びねじの呼び径 図面による</p> <p>デッキプレート版の材質、形状及び寸法 図面による (7.2.7)</p> <p>15 柱底均しモルタル (7.2.9)(7.10.3)(表7.10.2)</p> <p>工法及びモルタル厚さ</p> <p>A種 (50mm)</p> <p>B種 (30mm)</p> <p>・無収縮モルタル 7.2.9(2)による</p> <p>16 溶融亜鉛めっき高力ボルト接合 (7.12.5)</p> <p>摩擦面の処理</p> <p>プラスト処理 (すべり係数値0.4以上、表面粗度50µmRz以上)</p> <p>・りん酸塩処理(確認方法:)</p> <p>17 その他</p>	試験の種類			超音波探傷試験			種別	性能	・ラス張りモルタル塗		・耐火材 乾式吹付ロックウール		吹付け	・半乾式吹付ロックウール	・耐火板張り		・耐火材巻付け		・耐火塗料塗			
設計基準強度 Fc(N/mm2)	スランブ	施工箇所																																																																
○21	○18	押えコン																																																																
○24	○18	躯体																																																																
設計基準強度 Fc(N/mm2)	スランブ	施工箇所																																																																
・	・	・																																																																
設計基準強度 Fc(N/mm2)	スランブ	施工箇所																																																																
・	・15	・																																																																
・	・18	・																																																																
種別	施工箇所																																																																	
・A種	・																																																																	
○B種	外壁・内壁																																																																	
・C種	・																																																																	
種別	施工箇所																																																																	
・a種	・																																																																	
・b種	・																																																																	
・c種	・																																																																	
試験の種類																																																																		
超音波探傷試験																																																																		
種別	性能																																																																	
・ラス張りモルタル塗																																																																		
・耐火材 乾式吹付ロックウール																																																																		
吹付け	・半乾式吹付ロックウール																																																																	
・耐火板張り																																																																		
・耐火材巻付け																																																																		
・耐火塗料塗																																																																		
<p>土工事</p> <p>1 埋戻し及び盛土</p> <p>2 建設発生土の処理</p> <p>3 山留めの撤去</p> <p>4 その他</p>	<p>種類 ○A種 ○B種 ・C種 ・D種 (3.2.3)(表3.2.1)</p> <p>指定処分(幸浦中継所) (3.2.5)</p> <p>・確認処分</p> <p>・再利用()</p> <p>・構内指示の場所に堆積</p> <p>・構内指示の場所に敷き均し</p> <p>3.3.3</p> <p>存置しない ・存置する</p> <p>抜き跡の処理</p> <p>地盤の変形を防止する適切な措置を講ずる</p>	<p>○砂利地業 再生クラッシュラン (4.6.2)</p> <p>・切込砂利</p> <p>・砂地業 山砂 ・川砂 ・切込砕石 (4.6.2)</p> <p>厚み 60mm ○100mm</p> <p>○捨コンクリート地業 (4.6.4)</p> <p>厚み 50mm</p> <p>○床下防湿層 (4.6.5)</p> <p>図面による</p> <p>○施工記録 (4.3.9)(4.4.7)(4.5.8)(4.6.6)</p> <p>○その他</p> <p>○深層地盤改良コラム</p> <p>5 ①鉄筋の種類 (5.2.1)(表5.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び径</th> </tr> <tr> <td>○SD295</td> <td>D16以下</td> </tr> <tr> <td>○SD345</td> <td>D19以上</td> </tr> <tr> <td>・SD390</td> <td>D29以上</td> </tr> </table> <p>2 溶接金網 形状、寸法及び径 図面による (5.2.2)</p> <p>3 鉄筋の継手 D19mm以上の柱、梁の主筋 (5.3.4)</p> <p>ガス圧接 重ね継手 ・機械式継手</p> <p>柱及び梁の主筋重ね継手長さ (5.3.4)(表5.3.2)</p> <p>耐力壁の場合40dと表5.3.2の重ね継手長さのうち大きい値</p> <p>鉄筋の定着長さ 表5.3.4による ・図面による (5.3.4)</p> <p>先組み工法等 (5.3.4)</p> <p>・柱、梁の主筋の継手を同一箇所にする</p> <p>4 鉄筋の最小かぶり厚さ (5.3.5)</p> <p>最小かぶり厚さ 図面による</p> <p>表5.3.6による</p> <p>塩害を受けるおそれのある部分 mm (5.3.5)(表5.3.6)</p> <p>耐久性上不利な箇所 (5.3.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>表5.3.6の値に加える寸法(mm)</th> </tr> <tr> <td>柱、梁、壁及び底などの</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>外気に接する打放し面</td> <td>○20</td> </tr> </table> <p>5 帯筋組立の形及び割付け 図面による (別2.2)</p> <p>6 壁開口部の補強 一般壁 ・A形 B形 ○図面による (別4.4)(別表4.3)(別表4.4)</p> <p>耐震壁 図面による</p> <p>7 梁貫通孔の補強形式 H形 ・M形 ・MH形 (別7.1)(別表7.1~7.3)</p> <p>8 圧接完了後の圧接部の試験 外観試験 超音波探傷試験 ・引張試験 (5.4.10)</p> <p>9 機械式継手 ・ねじ継手 ・端部ねじ継手 工法() ・品質の確認方法()</p> <p>施工完了後の継手部の試験</p> <p>外観試験 超音波探傷試験 (5.5.5)</p> <p>不良となった継手の修正方法 (1.2.2)[施工計画書]による品質計画で定める</p> <p>10 溶接継手 工法() ・品質の確認方法() (5.6.3)</p> <p>施工完了後の溶接部の試験</p> <p>外観試験 超音波探傷試験 (5.6.5)</p> <p>不良となった継手の修正方法 (1.2.2)[施工計画書]による品質計画で定める</p> <p>11 その他</p>	種類の記号	呼び径	○SD295	D16以下	○SD345	D19以上	・SD390	D29以上	施工箇所	表5.3.6の値に加える寸法(mm)	柱、梁、壁及び底などの	10	外気に接する打放し面	○20	<p>②レディミクストコンクリートの種類</p> <p>③打放し仕上げの種類</p> <p>④セメントの材料</p> <p>普通ポルトランドセメント ・高炉セメントのA種 (6.3.1)</p> <p>高炉セメントB種</p> <p>高炉セメントB種の適用箇所(捨てコン)</p> <p>フライアッシュセメントB種の適用箇所()</p> <p>フェロニッケルスラグ細骨材等 ・使用する ・使用しない</p> <p>砕石等のアルカリシリカ反応による区分 A</p> <p>5 混和材料</p> <p>混和剤 AE剤 ・AE減水剤 ・高性能AE減水剤</p> <p>混和材 ・フライアッシュ()</p> <p>・高炉スラグ 監督員の承諾を受ける (6.3.1)(6.3.2)</p> <p>上記以外の混和材</p> <p>6 打継ぎ</p> <p>目地の寸法 図面による (6.6.4)</p> <p>7 型枠</p> <p>外部に面するコンクリート打放し仕上げの打増し厚さ (6.8.1)</p> <p>図面による</p> <p>ひび割れ誘発目地 位置 図面による (6.8.1)</p> <p>形状及び寸法 図面による</p> <p>せき板の材料() (6.8.2)</p> <p>せき板の材料を合板とした場合の厚み 12mm (6.8.2)</p> <p>せき板の材料を断熱材を兼用した型枠材 ・使用する (6.8.2)</p> <p>MCR工法用シート ・使用する (6.8.2)</p> <p>8 その他</p> <p>○深層地盤改良コラム</p>	<p>8 ①補強コンクリートブロック造 (8.2.2)</p> <p>種類及び正味厚さ 空洞ブロックC(16) (8.2.2)</p> <p>モルタルの割合 (8.2.3)</p> <p>・「標仕」表8.2.1による</p> <p>コンクリートの割合 (8.2.4)</p> <p>・「標仕」表8.2.2による</p> <p>・コンクリート設計基準強度(Fc) 21N/mm2以上</p> <p>各部の配筋 図面による (8.2.5)</p> <p>2 コンクリートブロック帳壁及び塀 (8.3.2)(表8.3.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>適用箇所</th> <th>断面形状及び圧縮強さによる区分</th> </tr> <tr> <td>・間仕切壁</td> <td>空洞ブロックC(16)</td> </tr> <tr> <td>・地下二重壁</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・外壁</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・塀</td> <td>・化粧無し 空洞ブロックC(16)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・化粧有り</td> </tr> </table> <p>各部の配筋 図面による (8.3.4)</p> <p>3 ALCパネル (8.4.2~7)(表8.4.2~4)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>単位荷重(N/m2)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>長さ(mm)</th> <th>耐火性能</th> <th>取付構法</th> </tr> <tr> <td>・外壁パネル構法</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td>・間仕切壁</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td>・間仕切壁パネル構法</td> <td>・</td> <td>・100</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・1H</td> </tr> <tr> <td>・屋根パネル構法</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・D種</td> </tr> <tr> <td>・床パネル構法</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・E種</td> </tr> </table> <p>・外壁パネル構法の採用 (8.4.3)</p> <p>耐風性能 図面による</p> <p>耐震性能 図面による</p> <p>・パネル幅の最小限度 300mm</p> <p>・出隅、入隅の接合部、他部材との接合部</p> <p>目地幅 mm 図面による</p> <p>・伸縮目地に耐火目地材を充填する</p>	適用箇所	断面形状及び圧縮強さによる区分	・間仕切壁	空洞ブロックC(16)	・地下二重壁	・	・外壁	・	・塀	・化粧無し 空洞ブロックC(16)		・化粧有り	種類	単位荷重(N/m2)	厚さ(mm)	長さ(mm)	耐火性能	取付構法	・外壁パネル構法	・	・	・	・	・A種	・間仕切壁	・	・	・	・	・B種	・間仕切壁パネル構法	・	・100	・	・	・1H	・屋根パネル構法	・	・	・	・	・D種	・床パネル構法	・	・	・	・	・E種
種類の記号	呼び径																																																																	
○SD295	D16以下																																																																	
○SD345	D19以上																																																																	
・SD390	D29以上																																																																	
施工箇所	表5.3.6の値に加える寸法(mm)																																																																	
柱、梁、壁及び底などの	10																																																																	
外気に接する打放し面	○20																																																																	
適用箇所	断面形状及び圧縮強さによる区分																																																																	
・間仕切壁	空洞ブロックC(16)																																																																	
・地下二重壁	・																																																																	
・外壁	・																																																																	
・塀	・化粧無し 空洞ブロックC(16)																																																																	
	・化粧有り																																																																	
種類	単位荷重(N/m2)	厚さ(mm)	長さ(mm)	耐火性能	取付構法																																																													
・外壁パネル構法	・	・	・	・	・A種																																																													
・間仕切壁	・	・	・	・	・B種																																																													
・間仕切壁パネル構法	・	・100	・	・	・1H																																																													
・屋根パネル構法	・	・	・	・	・D種																																																													
・床パネル構法	・	・	・	・	・E種																																																													
<p>地業工事</p> <p>1 試験杭</p> <p>2 杭の載荷試験</p> <p>3 地盤の載荷試験</p> <p>4 既製コンクリート杭地業</p> <p>5 鋼杭地業</p>	<p>位置、本数及び寸法 図面による (4.2.2)</p> <p>・鉛直載荷試験 ・水平載荷試験 (4.2.3)</p> <p>・載荷荷重 MN</p> <p>・報告書の記載事項等()</p> <p>○適用する位置及び載荷荷重 図面による (4.2.4)</p> <p>・報告書の記載事項等()</p> <p>○試験の方法(静的貫入試験)</p> <p>種類、性能及び曲げ強度 図面による (4.3.1)(4.3.2)</p> <p>杭の寸法、継手の箇所数、杭先端部の形状 図面による</p> <p>杭頭の処理 切断しない (4.3.8)</p> <p>先端部形状 開放形 ・閉そく平たん形 (4.3.3)</p> <p>工法の適用 (4.3.3~4.3.6)</p> <p>・特定埋込杭工法(建築基準法に基づく埋込杭工法とし、杭材料は指定又は認定条件に適合するもの)</p> <p>・水平方向の位置ずれの精度 mm以内</p> <p>・支持地盤の位置及び種類 図面による</p> <p>杭の継手 ・アーク溶接</p> <p>・機械式継手(工法)</p> <p>・セメントミルク工法</p> <p>・支持地盤の位置、種類及び掘削深さ 図面による</p> <p>・支持地盤への根入れ長さ 図面による</p> <p>・水平方向の位置ずれの精度 mm以内</p> <p>工法の適用 ・打込み工法 ・特定埋込杭工法 (4.4.1)</p> <p>材料 ・SKK400 (4.4.3)</p> <p>先端部形状 開放形</p> <p>継手の工法 ・アーク溶接</p> <p>・機械式継手(工法) (4.4.5)</p>	<p>7 ①鉄骨製作工場 (7.1.3)</p> <p>・監督員の承諾する製作工場 (株)日本鉄骨評価センター又は(株)全国鉄骨評価機構が「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「(・S・H・M・R・J)グレード」として評価し、その評価を基に国土交通大臣が認定した工場</p> <p>2 施工管理技術者 (7.1.4)</p> <p>・適用する</p> <p>3 仮組 (7.3.10)</p> <p>・実施する</p> <p>4 工作図 高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの縁端処理等 図面による (7.3.2)</p> <p>5 鋼材 材質、形状及び寸法 (7.2.1)</p> <p>図面による</p> <p>・板厚方向に引張力を受ける鋼板の材料試験(JIS G 0901) (7.2.10)</p> <p>開先の形状 図面による (7.6.4)</p> <p>6 エンドタブ (7.6.7)</p> <p>・エンドタブの切断 適用箇所() 図面による</p> <p>形状は図面による (7.6.7)</p> <p>7 高力ボルト (7.2.2)(7.12.4)</p> <p>高力ボルト</p> <p>トルシア形高力ボルト (2種(F10T)) (7.2.2)(7.12.4)</p> <p>JIS形高力ボルト (1種(F8T相当))</p> <p>・溶接亜鉛めっき高力ボルト (試験方法) (7.4.2)</p> <p>・すべり係数試験(試験方法)</p> <p>普通ボルト (7.2.3)(表7.2.3)</p> <p>ボルト 図面による</p> <p>ナット 図面による</p> <p>・表7.2.3による</p>	<p>7 ①鉄骨製作工場 (7.1.3)</p> <p>・監督員の承諾する製作工場 (株)日本鉄骨評価センター又は(株)全国鉄骨評価機構が「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「(・S・H・M・R・J)グレード」として評価し、その評価を基に国土交通大臣が認定した工場</p> <p>2 施工管理技術者 (7.1.4)</p> <p>・適用する</p> <p>3 仮組 (7.3.10)</p> <p>・実施する</p> <p>4 工作図 高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの縁端処理等 図面による (7.3.2)</p> <p>5 鋼材 材質、形状及び寸法 (7.2.1)</p> <p>図面による</p> <p>・板厚方向に引張力を受ける鋼板の材料試験(JIS G 0901) (7.2.10)</p> <p>開先の形状 図面による (7.6.4)</p> <p>6 エンドタブ (7.6.7)</p> <p>・エンドタブの切断 適用箇所() 図面による</p> <p>形状は図面による (7.6.7)</p> <p>7 高力ボルト (7.2.2)(7.12.4)</p> <p>高力ボルト</p> <p>トルシア形高力ボルト (2種(F10T)) (7.2.2)(7.12.4)</p> <p>JIS形高力ボルト (1種(F8T相当))</p> <p>・溶接亜鉛めっき高力ボルト (試験方法) (7.4.2)</p> <p>・すべり係数試験(試験方法)</p> <p>普通ボルト (7.2.3)(表7.2.3)</p> <p>ボルト 図面による</p> <p>ナット 図面による</p> <p>・表7.2.3による</p>	<p>8 ①補強コンクリートブロック造 (8.2.2)</p> <p>種類及び正味厚さ 空洞ブロックC(16) (8.2.2)</p> <p>モルタルの割合 (8.2.3)</p> <p>・「標仕」表8.2.1による</p> <p>コンクリートの割合 (8.2.4)</p> <p>・「標仕」表8.2.2による</p> <p>・コンクリート設計基準強度(Fc) 21N/mm2以上</p> <p>各部の配筋 図面による (8.2.5)</p> <p>2 コンクリートブロック帳壁及び塀 (8.3.2)(表8.3.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>適用箇所</th> <th>断面形状及び圧縮強さによる区分</th> </tr> <tr> <td>・間仕切壁</td> <td>空洞ブロックC(16)</td> </tr> <tr> <td>・地下二重壁</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・外壁</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・塀</td> <td>・化粧無し 空洞ブロックC(16)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・化粧有り</td> </tr> </table> <p>各部の配筋 図面による (8.3.4)</p> <p>3 ALCパネル (8.4.2~7)(表8.4.2~4)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>単位荷重(N/m2)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>長さ(mm)</th> <th>耐火性能</th> <th>取付構法</th> </tr> <tr> <td>・外壁パネル構法</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td>・間仕切壁</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td>・間仕切壁パネル構法</td> <td>・</td> <td>・100</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・1H</td> </tr> <tr> <td>・屋根パネル構法</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・D種</td> </tr> <tr> <td>・床パネル構法</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・E種</td> </tr> </table> <p>・外壁パネル構法の採用 (8.4.3)</p> <p>耐風性能 図面による</p> <p>耐震性能 図面による</p> <p>・パネル幅の最小限度 300mm</p> <p>・出隅、入隅の接合部、他部材との接合部</p> <p>目地幅 mm 図面による</p> <p>・伸縮目地に耐火目地材を充填する</p>	適用箇所	断面形状及び圧縮強さによる区分	・間仕切壁	空洞ブロックC(16)	・地下二重壁	・	・外壁	・	・塀	・化粧無し 空洞ブロックC(16)		・化粧有り	種類	単位荷重(N/m2)	厚さ(mm)	長さ(mm)	耐火性能	取付構法	・外壁パネル構法	・	・	・	・	・A種	・間仕切壁	・	・	・	・	・B種	・間仕切壁パネル構法	・	・100	・	・	・1H	・屋根パネル構法	・	・	・	・	・D種	・床パネル構法	・	・	・	・	・E種														
適用箇所	断面形状及び圧縮強さによる区分																																																																	
・間仕切壁	空洞ブロックC(16)																																																																	
・地下二重壁	・																																																																	
・外壁	・																																																																	
・塀	・化粧無し 空洞ブロックC(16)																																																																	
	・化粧有り																																																																	
種類	単位荷重(N/m2)	厚さ(mm)	長さ(mm)	耐火性能	取付構法																																																													
・外壁パネル構法	・	・	・	・	・A種																																																													
・間仕切壁	・	・	・	・	・B種																																																													
・間仕切壁パネル構法	・	・100	・	・	・1H																																																													
・屋根パネル構法	・	・	・	・	・D種																																																													
・床パネル構法	・	・	・	・	・E種																																																													

④ 押出成形セメント板 (ECP)

(8.5.2~8.5.4) (表8.5.1) (表8.5.2)				
施工箇所	表面形状	厚さ (mm)	取付工法	耐火性能
・外壁パネル工法	※フラットパネル ・デザインパネル (図面による) ・タイルベースパネル	・50 ・60	・A種 ・B種	※有り () ・無し
・間仕切壁パネル工法	※フラットパネル ・デザインパネル (図面による) ・タイルベースパネル	・60 ・40	・B種 ・C種	※有り () ・無し

・外壁パネル工法の採用 (8.5.3)
・風圧力に対応した工法 ()
・パネル幅の最小限度 ※300mm
・出隅、入隅の接合部、他部材との接合部
目地幅 mm 図面による
パネルに欠き込み等を行う場合の限度

開口の大きさ			切断後のパネルの残り部分の幅
パネルに開口を設ける場合	短辺	※パネル幅の1/2以下 かつ300mm以下	※150mm以上
	長辺	※500mm以下	※300mm以上
パネルを切り欠く場合	短辺	※(パネル幅-300mm)以下	※300mm以上
	長辺	※500mm以下	※300mm以上

5 その他

③ ① アスファルト防水

(9.2.2) (9.2.3) (表9.2.3~表9.2.8)	
種別	施工箇所
① アスファルト防水 (標準耐用80年)	納骨堂屋根

押え金物 (9.2.2)
材質 ※アルミニウム製
形状寸法 ※L-30×15×2.0 (mm) 図面による

屋根保護防水断熱工法に用いる断熱材 (9.2.2)
材質 ※押出法ポリスチレンフォーム断熱材 3種bA (スキム層付き) (JIS A 9521)
厚さ mm

屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材 (9.2.2)
材質 ※発泡プラスチック (JIS A 9521)
厚さ mm

絶縁用シート (9.2.2)

工法	材料
屋根保護防水密着工法	・ポリアイソシアヌレート (厚さ0.15mm以上) ・ポリウレタン、ポリアイソシアヌレート等を平織りしたフラットクロス (70g/m ² 程度)
屋根保護防水絶縁工法	・ポリアイソシアヌレート、ポリアイソシアヌレート等を平織りしたフラットクロス (70g/m ² 程度)
屋根保護防水密着断熱工法	※ポリアイソシアヌレート、ポリアイソシアヌレート等を平織りしたフラットクロス (70g/m ² 程度)
屋根保護防水絶縁断熱工法	※ポリアイソシアヌレート、ポリアイソシアヌレート等を平織りしたフラットクロス (70g/m ² 程度)

立上り部の保護工法 図面による (9.2.5)
・乾式保護材の材料 () (9.2.5)
屋上排水溝の設置 図面による (9.2.5)

2 改質アスファルトシート防水 (9.3.2~9.3.4) (表9.3.1~表9.3.3)

種別	厚さ (mm)	施工箇所
・AS-T1	※2.5+3.0	
・AS-T2	※4.0	
・AS-T3	※1.5+3.0	
・AS-T4	※4.0	
・AS-J1	※1.5+2.0	
・AS1-T1	※1.5+3.0	
・AS1-J1	※1.5+2.0	

・AS1-T1、AS1-J1工法の防湿用シートの設置
・設ける ()

押え金物 (9.3.2)
材質 ※アルミニウム製
形状寸法 ※L-30×15×2.0 (mm)

屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材 (9.3.2)
材質 ※発泡プラスチック (JIS A 9521)
厚さ mm

脱気装置の種類及び設置数量 (9.3.3)
※改質アスファルト製造所の指定とする

3 合成高分子系ルーフィングシート防水 (9.4.2) (9.4.3) (表9.4.1~表9.4.3)

種別	厚さ (mm)	施工箇所	仕上がり	使用分類
・S-F1	※1.2		塗料塗り	※非歩行
・S-F2	※1.5	・2.0	・シルバークラ	・軽歩行
・S-M1	※1.5			
・S-M2	※1.5			
・SI-F1	※1.2			
・SI-F2	※1.5	・2.0		
・SI-M1	※1.5			
・SI-M2	※1.5			
・S-C1	※1.0	屋内防水	モルタル厚さ	mm

絶縁用シート、可塑剤移行防止用シート (9.4.2)
※発泡ポリエチレンシート

④ 塗膜防水

5 ケイ酸系塗布防水

⑥ シーリング

7 その他

10 天然石張り

石材の割付 ※「標仕」10.1.3 (10.1.3)
石材の加工 粗面仕上げ (10.1.3)

石の種類・形状・寸法・表面仕上げ (10.2.1) (表10.2.1) (表10.2.2)

施工箇所	種類	形状	寸法	表面仕上げ
図示	図示	※正方形に近い矩形	※0.8m ² 以下	粗磨き 水磨き 本磨き

外壁乾式工法の場合 幅及び高さ ※1.200mm以下
重量 ※70kg以下

2 テラゾ張り

種石の種類 ※大理石 (10.2.1)
大きさ ※1.5~12mm (10.2.1)
テラゾブロック (10.2.1) (表10.2.2)
形状・寸法
仕上げ面
表面仕上げ 粗磨き 水磨き 本磨き
テラゾタイル (10.2.1) (表10.2.2)
寸法
表面仕上げ 粗磨き 水磨き 本磨き

3 壁の石張り工法

外壁石張り (10.2.2) (10.2.3) (10.3.2) (10.3.3) (10.5.2) (10.5.3)
・石裏面処理を行う
・裏打ち処理を行う
・外壁湿式工法
ドレンパイプの材質
石材の厚さ ※25mm以上
石裏面処理 行う 行わない
裏打ち処理 行う 行わない
目地幅 ※6mm以上 5mm
シーリング材による目地仕上げ ※「標仕」9章7節による
伸縮調整目地の位置 図面による
シーリング材による目地寸法 ※「標仕」9.7.3(a) (3)による

・外壁乾式工法
石材の厚さ 30mm以上
裏打ち処理 行う 行わない
目地幅 ※8mm以上
シーリング材による目地仕上げ ※「標仕」9章7節による

内壁石張り (10.2.2) (10.4.2) (10.4.3)
内壁空積工法
石材の厚さ ※20mm以上
目地幅 ※6mm以上
シーリング材による目地仕上げ ※「標仕」9章7節による
伸縮調整目地の位置 図面による ※6mm程度ごと
シーリング材による目地寸法 ※「標仕」9.7.3(a) (3)による

4 床及び階段の石張り

石材の厚さ (10.6.2) (10.6.3)
浸透性吸水防止剤の塗布 行う 行わない (10.6.2) (10.6.3)
石裏面処理 行う 行わない (10.6.2) (10.6.3)
裏打ち処理 行う 行わない (10.6.2) (10.6.3)
目地幅 屋内 ※4mm以上 屋内 mm
伸縮調整目地の位置 ※「標仕」10.6.2 (10.6.2) (10.6.3)

5 特殊部位の石張り

工法 湿式工法 乾式工法 (10.7.2) (10.7.3)
石材の厚さ 有効厚さ mm以上
石裏面処理 行う 行わない
裏打ち処理 行う 行わない
目地幅 ※6mm以上
伸縮調整目地の位置 ※他部位との取り合い部
施工箇所 ※図面による

6 取付け金物

外壁湿式工法、内壁空積工法用金物 (10.2.2)
・受金物 ※SUS304 L-75*75*6 (mm)、100mm又は150mm
・図面による
・引金物緊結用鉄筋 (流し鉄筋) (5.2.1)
外壁乾式工法用金物
・ (表10.2.4) 適用する 図面による
特殊部位用金物
引金物、だば、かすがい ※(10.2.2) (1)
ファスナー
※図面による スライド方式 ロッキング方式
吊金物、化粧吊ボルト、受金物
※ 図面による

アンカー
外壁湿式工法、内壁空積工法 ※SS400
外壁乾式工法、特殊部位 ※ステンレス (SUS304)
寸法 ※図面による

あと施工アンカー (14.1.3[工法] (1))
※図面による
金物の固定に使用する充填材料 (10.2.3)
※石材施工業者の指定する製品

7 その他

① ① 一般事項

伸縮調整目地 ※「標仕」表11.1.1 (11.1.3) (表11.1.1)
ひび割れ誘発目地 ※「標仕」表11.1.1 (9.7.3)

② セメントモルタルによるセラミックタイル張り

タイルの種類 (11.2.2)

施工箇所	形状寸法 (mm)	うわぐすり	役物		色		耐凍害性		耐滑り性
			施す	無	あり	なし	標準	特注	
図示	図示	○	○	○	○	○	○	○	○

役物：標準的な曲がり (小口平、標準、二丁、屏風) の役物は一体成形とする
見本焼き 行う 行わない (※外壁タイル) (11.1.4)
試験張り 行わない 行う (※外壁タイル) (11.1.4)
内装タイル 密着張り 改良圧着張り (11.2.6) (表11.2.3)
外装タイル 密着張り 改良圧着張り (11.2.6) (表11.2.3)
内装タイル以外のユニット張り マスク張り
モザイクタイル張り

下地処理 行う (11.2.6)
MCR工法 (6章8節 [型枠])
目荒らし工法 (「標仕」15.3.4 [下地処理] (4))
施工範囲 ※図面による

タイルの種類 (11.3.2)

施工箇所	形状寸法 (mm)	うわぐすり	役物		色		耐凍害性	
			施す	無	あり	なし	標準	特注
図示	図示	○	○	○	○	○	○	○

役物：標準的な曲がり (小口平、標準、二丁、屏風) の役物は一体成形とする
見本焼き 行う 行わない (※外壁タイル) (11.1.4)
試験張り 行わない 行う (※外壁タイル) (11.1.4)
有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量 (11.3.3)
※F☆☆☆☆ ()
シーリング材 (11.3.4)
ポリウレタン系シーリング シリコン系シーリング
内装タイル ※内装壁タイル接着剤張り (11.3.5) (表11.3.2)
外装タイル ※外装壁タイル接着剤張り (裏あし高さ0.9mm以下、そり±0.7mm以下)
外装壁タイル接着剤張り ()
目地詰め ※行う 行わない
内装タイル以外のユニットタイル
※外装壁タイル接着剤張り (裏あし高さ0.9mm以下、そり±0.7mm以下)
外装壁タイル接着剤張り ()
下地処理 行う (11.3.5)
MCR工法 (6章8節 [型枠])
目荒らし工法 (「標仕」15.3.4 [下地処理] (4)) 工法
施工範囲 ※図面による

③ 有機系接着剤によるタイル張り

④ その他

○ セッター質2丁掛タイル

12 1 一般事項

木工事

2 材料

表面仕上げ
プレーナー加工のうえ超自動機械かんな、サンダー等により、使用箇所、樹種、仕上げ等に適したものと
適用箇所 図面による (12.1.4)

含水率 ※A種 B種 (12.2.1) (表12.2.1)
製材 (12.2.1 (2))
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆

JAS1083 (製材) による製材
・下地用針葉樹製材

樹種	寸法 (mm)	等級	形状 (耳付材・押角)	含水率 (%)
		※2級		※A種 ・B種

・造作用針葉樹製材

樹種	寸法 (mm)	等級	形状 (板類・角類)	含水率 (%)
		・上小節 ・小節以上		※A種 ・B種

・広葉樹製材

樹種	寸法 (mm)	等級	保存処理及び材面の寸法	含水率 (%)
		※1等		※10% ・

JAS1083 (製材) 以外の製材
・下地、造作及び仕上げ用製材

樹種	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理	含水率 (%)
				※A種 ・B種

・造作材の品質 (表12.2.2)

使用箇所	部材名称	種別
生地のまま又は透明塗料塗り	枠、額縁、敷居、かもし、かまちの類	※A種 ・B種
不透明塗料塗り	挿入、戸棚等の内面造作の類	小節

造作用集成材 (12.2.1 (3))
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
「集成材の日本農林規格」による造作用集成材
・造作用集成材

品名	樹種	見付け材面数	寸法 (mm)	見付け材面の品質
				※1等

・化粧ばり造作用集成材

品名	樹種 (化粧薄板・芯材)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面数	寸法 (mm)	見付け材面の品質
					※1等

「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材
・造作用集成材

樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率
			※15%以下

・化粧ばり造作用集成材

樹種 (化粧薄板・芯材)	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率
				※15%以下

造作用単板積層材 (12.2.1 (4))
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
・JAS0701 (単板積層材) による造作用単板積層材

品名	寸法 (mm)	表面の品質	防虫処理	備考

3 防腐・防蟻・防虫処理	<p>・ JAS0701 (単板積層材) 以外の造作用単板積層材</p> <table border="1"> <tr> <th>寸法(mm)</th> <th>表面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※14%以下</td> </tr> </table>				寸法(mm)	表面の品質	防虫処理	含水率				※14%以下									
	寸法(mm)	表面の品質	防虫処理	含水率																	
				※14%以下																	
	<p>直交集成板 (12.2.1(5))</p> <p>ホルムアルデヒド放散量 ※☆☆☆☆</p> <p>・「直交集成板の日本農林規格」による直交集成板</p> <table border="1"> <tr> <th>品名</th> <th>曲げ強度(強度等級)</th> <th>種別</th> <th>接着性能(使用環境)</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				品名	曲げ強度(強度等級)	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)											
	品名	曲げ強度(強度等級)	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)															
	<p>合板等 (12.2.1(6))</p> <p>ホルムアルデヒド放散量 ※☆☆☆☆</p> <p>・「合板の日本農林規格」による</p> <p>下地用合板 (普通合板)</p> <table border="1"> <tr> <th>品名</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>単板の樹種名</th> </tr> <tr> <td>ラワン</td> <td>※5.5</td> <td>※1類</td> <td>※2等以上</td> <td>C-D以上</td> </tr> </table>				品名	厚さ(mm)	接着の程度	板面の品質	単板の樹種名	ラワン	※5.5	※1類	※2等以上	C-D以上							
	品名	厚さ(mm)	接着の程度	板面の品質	単板の樹種名																
	ラワン	※5.5	※1類	※2等以上	C-D以上																
	<p>下地用合板 (構造用合板)</p> <table border="1"> <tr> <th>品名</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>等級</th> <th>板面の品質</th> <th>単板の樹種名</th> <th>保存処理</th> </tr> <tr> <td>針葉樹</td> <td>※12</td> <td>※1類・特類</td> <td>※2級以上</td> <td>※C-D以上</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				品名	厚さ(mm)	接着の程度	等級	板面の品質	単板の樹種名	保存処理	針葉樹	※12	※1類・特類	※2級以上	※C-D以上					
	品名	厚さ(mm)	接着の程度	等級	板面の品質	単板の樹種名	保存処理														
	針葉樹	※12	※1類・特類	※2級以上	※C-D以上																
	<p>化粧ばり構造用合板</p> <table border="1"> <tr> <th>品名</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>単板の樹種名</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※12</td> <td>・特類</td> <td></td> </tr> </table>				品名	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名		※12	・特類										
品名	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名																		
	※12	・特類																			
<p>天然木化粧合板</p> <table border="1"> <tr> <th>品名</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>単板の樹種名</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※12</td> <td>・特類</td> <td></td> </tr> </table>				品名	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名		※12	・特類											
品名	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名																		
	※12	・特類																			
<p>特殊加工化粧合板</p> <table border="1"> <tr> <th>品目</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>単板の樹種名</th> <th>化粧加工の方法</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				品目	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法													
品目	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法																	
<p>JIS A 5908によるパーティクルボード</p> <table border="1"> <tr> <th>厚さ(mm)</th> <th>表裏面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>耐久性による区分</th> <th>難燃性による区分</th> </tr> <tr> <td>※15</td> <td></td> <td>・13</td> <td>・MR1 (M)</td> <td>・MR2 (P)</td> </tr> </table>				厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐久性による区分	難燃性による区分	※15		・13	・MR1 (M)	・MR2 (P)								
厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐久性による区分	難燃性による区分																	
※15		・13	・MR1 (M)	・MR2 (P)																	
<p>・ JAS0306 (構造用パネル) による構造用パネル</p> <table border="1"> <tr> <th>品名</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>				品名	厚さ(mm)																
品名	厚さ(mm)																				
<p>JIS A 5905 (繊維板) によるミディアムデンシティファイバーボード (MDF)</p> <table border="1"> <tr> <th>厚さ(mm)</th> <th>表裏面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>接着剤による区分</th> <th>難燃性による区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分													
厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分																	
<p>木材への防腐・防蟻処理 (12.3.1)(12.3.2)</p> <p>・工場における薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理</p> <p>保存処理性能区分 (・K2 ・K3 ・K4)</p> <p>適用部位 () ・図面による</p> <p>・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理</p> <p>※薬剤の製造所の仕様による</p> <p>・防虫処理を行う</p>																					
<p>4 木材</p> <p>・図面による (12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>材質</th> </tr> <tr> <td>間仕切軸組</td> <td>・松 ・杉</td> </tr> <tr> <td>床組</td> <td>・松 ・杉</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">窓</td> <td>土間スラブ類の場合の土台、転ばし大引き、転ばし根太</td> <td>・ひのき</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・保存処理材</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">縁甲板、上りがまち</td> <td>吊元棒、水掛</td> <td>・ひのき</td> </tr> <tr> <td>上記以外</td> <td>・松 ・杉</td> </tr> <tr> <td>壁、天井下地</td> <td>・松 ・杉</td> </tr> </table>				部位	材質	間仕切軸組	・松 ・杉	床組	・松 ・杉	窓	土間スラブ類の場合の土台、転ばし大引き、転ばし根太	・ひのき		・保存処理材	縁甲板、上りがまち	吊元棒、水掛	・ひのき	上記以外	・松 ・杉	壁、天井下地	・松 ・杉
部位	材質																				
間仕切軸組	・松 ・杉																				
床組	・松 ・杉																				
窓	土間スラブ類の場合の土台、転ばし大引き、転ばし根太	・ひのき																			
		・保存処理材																			
縁甲板、上りがまち	吊元棒、水掛	・ひのき																			
	上記以外	・松 ・杉																			
壁、天井下地	・松 ・杉																				
<p>5 その他</p>																					
13 屋根及びとい工事	<p>・図面による (13.2.2)(13.2.3)(表13.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>屋根葺形式</th> <th>長尺金属板の種類</th> <th>板厚(mm)</th> </tr> <tr> <td>・横葺</td> <td>※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・心木なし瓦葺葺</td> <td>合金めっき鋼板及び鋼帯</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・立て平葺</td> <td>(JIS G 3322)</td> <td></td> </tr> </table>			屋根葺形式	長尺金属板の種類	板厚(mm)	・横葺	※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛		・心木なし瓦葺葺	合金めっき鋼板及び鋼帯		・立て平葺	(JIS G 3322)							
	屋根葺形式	長尺金属板の種類	板厚(mm)																		
・横葺	※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛																				
・心木なし瓦葺葺	合金めっき鋼板及び鋼帯																				
・立て平葺	(JIS G 3322)																				
<p>下葺材料 (13.2.2(3))(表13.2.2)</p> <p>・アスファルトルーフィング940(JIS A 6005)</p> <p>・改質アスファルトルーフィング下葺材(一般タイプ)</p> <p>・改質アスファルトルーフィング下葺材(複層基材タイプ)</p> <p>・改質アスファルトルーフィング下葺材(粘着層付タイプ)</p> <p>耐風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ・適用する (13.2.3)</p> <p>・雪止めを設ける</p>																					

2 折板葺	<p>・図面による (JIS A 6514)(13.3.2)(表13.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>※重ね形</th> <th>・ほぞ締め形</th> <th>・かん合形</th> </tr> <tr> <td>形状(mm)</td> <td>山高()</td> <td>山ピッチ()</td> <td>板厚()</td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td>※鋼板製</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(規格等)</td> <td>・「標仕」表13.2.1による</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>軒先面戸板</td> <td>※有り</td> <td>・なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>断熱材</td> <td>※有り(種別:)</td> <td>厚さ: (mm)</td> <td>・無し</td> </tr> <tr> <td>耐火性能</td> <td>※30分耐火</td> <td>・無し</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐力</td> <td>・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4"> <p>耐風圧力に対応した工法 ・適用する (13.3.3)</p> <p>積雪性能に対応した工法 ・適用する (13.3.3)</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="4"> <p>材種 ・配管用鋼管 ・硬質塩化ビニル管 (13.5.2)(表13.5.1)</p> <p>○図示(指定色)</p> <p>とい受金物及び取り付け間隔 (表13.5.2)</p> <p>(形状:)</p> <p>取り付け間隔: ()</p> <p>鋼管製といの防露巻き ※「標仕」表13.5.4 (13.5.3)</p> <p>防露材のホルムアルデヒド放散量 ※☆☆☆☆</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="4"> <p>4 その他</p> </td> </tr> <tr> <td rowspan="13">14 金属工事</td> <td colspan="3"> <p>①一般事項 (14.1.3)</p> <p>あと施工アンカー</p> <p>施工後の確認(引張試験) ※行う</p> <p>確認強度</p> <p>※「標仕」1.2.2[施工計画書]の品質計画において定めたもの</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="3"> <p>(14.2.2)(表14.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・BB-1種(無着色)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○BB-2種(・ブラウン系</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ブラック</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ステンレスカラー)</td> <td></td> </tr> </table> <p>皮膜又は複合皮膜の種類 ※「標仕」表14.2.1</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="3"> <p>3 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.3)(表14.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>表面処理</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">溶融亜鉛めっき</td> <td>・A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電気亜鉛めっき</td> <td>・D種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・E種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・F種</td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td colspan="3"> <p>4 軽量鉄骨天井下地 (14.4.2)(表14.4.1)</p> <p>野縁等の種類</p> <p>屋内 ※19型 ・25型</p> <p>屋外 ※25型 ・19型</p> <p>野縁受け、つりボルト、及びビニルサートの間隔(屋外の場合)</p> <p>(mm)</p> <p>野縁の間隔(屋外の場合) (14.4.3)(表14.4.2)</p> <p>(mm)</p> <p>照明器具、ダクト吹出し口等の開口補強方法 () (14.4.4)</p> <p>つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 ()</p> <p>・図面による</p> <p>・天井ふところ1.5m以上の場合の補強方法</p> <p>※「標仕」14.4.4(8)(7)及び(4)による</p> <p>・図面による</p> <p>・天井ふところ3mを超える場合の補強方法 (14.4.4)</p> <p>・図面による</p> <p>天井下地材における耐震性を考慮した補強 (14.4.4)</p> <p>・行う(方法等は図面による)</p> <p>屋外の軒天井、ピロティの天井等の補強 (14.4.4)</p> <p>・行う(方法等は図面による)</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="3"> <p>5 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3)(表14.5.1)</p> <p>スタッド、ランナの種類</p> <p>・50形 ・65形 ・90形 ・100形</p> <p>スタッドの高さが5mを超える場合</p> <p>※図面による</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="3"> <p>6 金属成形板張り (14.6.2)(表14.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>形状</th> <th>製法</th> <th>材種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表面処理</th> </tr> <tr> <td>・スパンドレル形</td> <td>・押し出し</td> <td>※アルミニウム製</td> <td></td> <td></td> <td>・BB-1種</td> </tr> <tr> <td>・パネル形</td> <td>・ロール</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・BB-2種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※プレス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>取付け用下地 ※「標仕」14章4節 (14.6.3)</p> <p>()</p> <p>・長尺物の伸縮調整継手 (14.6.3)</p> <p>・施工箇所、納まり等図面による。</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="3"> <p>7 アルミニウム製笠木 (14.7.2)(表14.2.1)(表14.7.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>板厚(mm)</th> <th>表面処理</th> <th>固定間隔</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・250形</td> <td>1.6以上</td> <td>※AB-1種</td> <td>固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの</td> <td>隅角部及び突当たり部等の役物は笠木本体製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>・300形</td> <td>1.8以上</td> <td>・BB-1種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・350形</td> <td>2.0以上</td> <td>・BB-2種</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td colspan="3"> <p>8 その他</p> </td> </tr> </table>				形式	※重ね形	・ほぞ締め形	・かん合形	形状(mm)	山高()	山ピッチ()	板厚()	材料	※鋼板製			(規格等)	・「標仕」表13.2.1による			軒先面戸板	※有り	・なし		断熱材	※有り(種別:)	厚さ: (mm)	・無し	耐火性能	※30分耐火	・無し		耐力	・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種			<p>耐風圧力に対応した工法 ・適用する (13.3.3)</p> <p>積雪性能に対応した工法 ・適用する (13.3.3)</p>				<p>材種 ・配管用鋼管 ・硬質塩化ビニル管 (13.5.2)(表13.5.1)</p> <p>○図示(指定色)</p> <p>とい受金物及び取り付け間隔 (表13.5.2)</p> <p>(形状:)</p> <p>取り付け間隔: ()</p> <p>鋼管製といの防露巻き ※「標仕」表13.5.4 (13.5.3)</p> <p>防露材のホルムアルデヒド放散量 ※☆☆☆☆</p>				<p>4 その他</p>				14 金属工事	<p>①一般事項 (14.1.3)</p> <p>あと施工アンカー</p> <p>施工後の確認(引張試験) ※行う</p> <p>確認強度</p> <p>※「標仕」1.2.2[施工計画書]の品質計画において定めたもの</p>			<p>(14.2.2)(表14.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・BB-1種(無着色)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○BB-2種(・ブラウン系</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ブラック</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ステンレスカラー)</td> <td></td> </tr> </table> <p>皮膜又は複合皮膜の種類 ※「標仕」表14.2.1</p>			種別	施工箇所	・BB-1種(無着色)		○BB-2種(・ブラウン系		・ブラック		○ステンレスカラー)		<p>3 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.3)(表14.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>表面処理</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">溶融亜鉛めっき</td> <td>・A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電気亜鉛めっき</td> <td>・D種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・E種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・F種</td> <td></td> </tr> </table>			表面処理	種別	施工箇所	溶融亜鉛めっき	・A種		・B種		・C種		電気亜鉛めっき	・D種		・E種		・F種		<p>4 軽量鉄骨天井下地 (14.4.2)(表14.4.1)</p> <p>野縁等の種類</p> <p>屋内 ※19型 ・25型</p> <p>屋外 ※25型 ・19型</p> <p>野縁受け、つりボルト、及びビニルサートの間隔(屋外の場合)</p> <p>(mm)</p> <p>野縁の間隔(屋外の場合) (14.4.3)(表14.4.2)</p> <p>(mm)</p> <p>照明器具、ダクト吹出し口等の開口補強方法 () (14.4.4)</p> <p>つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 ()</p> <p>・図面による</p> <p>・天井ふところ1.5m以上の場合の補強方法</p> <p>※「標仕」14.4.4(8)(7)及び(4)による</p> <p>・図面による</p> <p>・天井ふところ3mを超える場合の補強方法 (14.4.4)</p> <p>・図面による</p> <p>天井下地材における耐震性を考慮した補強 (14.4.4)</p> <p>・行う(方法等は図面による)</p> <p>屋外の軒天井、ピロティの天井等の補強 (14.4.4)</p> <p>・行う(方法等は図面による)</p>			<p>5 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3)(表14.5.1)</p> <p>スタッド、ランナの種類</p> <p>・50形 ・65形 ・90形 ・100形</p> <p>スタッドの高さが5mを超える場合</p> <p>※図面による</p>			<p>6 金属成形板張り (14.6.2)(表14.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>形状</th> <th>製法</th> <th>材種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表面処理</th> </tr> <tr> <td>・スパンドレル形</td> <td>・押し出し</td> <td>※アルミニウム製</td> <td></td> <td></td> <td>・BB-1種</td> </tr> <tr> <td>・パネル形</td> <td>・ロール</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・BB-2種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※プレス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>取付け用下地 ※「標仕」14章4節 (14.6.3)</p> <p>()</p> <p>・長尺物の伸縮調整継手 (14.6.3)</p> <p>・施工箇所、納まり等図面による。</p>			形状	製法	材種	寸法(mm)	厚さ(mm)	表面処理	・スパンドレル形	・押し出し	※アルミニウム製			・BB-1種	・パネル形	・ロール				・BB-2種		※プレス					<p>7 アルミニウム製笠木 (14.7.2)(表14.2.1)(表14.7.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>板厚(mm)</th> <th>表面処理</th> <th>固定間隔</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・250形</td> <td>1.6以上</td> <td>※AB-1種</td> <td>固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの</td> <td>隅角部及び突当たり部等の役物は笠木本体製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>・300形</td> <td>1.8以上</td> <td>・BB-1種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・350形</td> <td>2.0以上</td> <td>・BB-2種</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			種類	板厚(mm)	表面処理	固定間隔	備考	・250形	1.6以上	※AB-1種	固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	隅角部及び突当たり部等の役物は笠木本体製造所の仕様による	・300形	1.8以上	・BB-1種			・350形	2.0以上	・BB-2種			<p>8 その他</p>		
	形式	※重ね形	・ほぞ締め形	・かん合形																																																																																																																																												
	形状(mm)	山高()	山ピッチ()	板厚()																																																																																																																																												
	材料	※鋼板製																																																																																																																																														
(規格等)	・「標仕」表13.2.1による																																																																																																																																															
軒先面戸板	※有り	・なし																																																																																																																																														
断熱材	※有り(種別:)	厚さ: (mm)	・無し																																																																																																																																													
耐火性能	※30分耐火	・無し																																																																																																																																														
耐力	・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種																																																																																																																																															
<p>耐風圧力に対応した工法 ・適用する (13.3.3)</p> <p>積雪性能に対応した工法 ・適用する (13.3.3)</p>																																																																																																																																																
<p>材種 ・配管用鋼管 ・硬質塩化ビニル管 (13.5.2)(表13.5.1)</p> <p>○図示(指定色)</p> <p>とい受金物及び取り付け間隔 (表13.5.2)</p> <p>(形状:)</p> <p>取り付け間隔: ()</p> <p>鋼管製といの防露巻き ※「標仕」表13.5.4 (13.5.3)</p> <p>防露材のホルムアルデヒド放散量 ※☆☆☆☆</p>																																																																																																																																																
<p>4 その他</p>																																																																																																																																																
14 金属工事	<p>①一般事項 (14.1.3)</p> <p>あと施工アンカー</p> <p>施工後の確認(引張試験) ※行う</p> <p>確認強度</p> <p>※「標仕」1.2.2[施工計画書]の品質計画において定めたもの</p>																																																																																																																																															
	<p>(14.2.2)(表14.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・BB-1種(無着色)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○BB-2種(・ブラウン系</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ブラック</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ステンレスカラー)</td> <td></td> </tr> </table> <p>皮膜又は複合皮膜の種類 ※「標仕」表14.2.1</p>			種別	施工箇所	・BB-1種(無着色)		○BB-2種(・ブラウン系		・ブラック		○ステンレスカラー)																																																																																																																																				
	種別	施工箇所																																																																																																																																														
	・BB-1種(無着色)																																																																																																																																															
	○BB-2種(・ブラウン系																																																																																																																																															
	・ブラック																																																																																																																																															
	○ステンレスカラー)																																																																																																																																															
	<p>3 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.3)(表14.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>表面処理</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">溶融亜鉛めっき</td> <td>・A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電気亜鉛めっき</td> <td>・D種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・E種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・F種</td> <td></td> </tr> </table>			表面処理	種別	施工箇所	溶融亜鉛めっき	・A種		・B種		・C種		電気亜鉛めっき	・D種		・E種		・F種																																																																																																																													
	表面処理	種別	施工箇所																																																																																																																																													
	溶融亜鉛めっき	・A種																																																																																																																																														
		・B種																																																																																																																																														
		・C種																																																																																																																																														
	電気亜鉛めっき	・D種																																																																																																																																														
・E種																																																																																																																																																
・F種																																																																																																																																																
<p>4 軽量鉄骨天井下地 (14.4.2)(表14.4.1)</p> <p>野縁等の種類</p> <p>屋内 ※19型 ・25型</p> <p>屋外 ※25型 ・19型</p> <p>野縁受け、つりボルト、及びビニルサートの間隔(屋外の場合)</p> <p>(mm)</p> <p>野縁の間隔(屋外の場合) (14.4.3)(表14.4.2)</p> <p>(mm)</p> <p>照明器具、ダクト吹出し口等の開口補強方法 () (14.4.4)</p> <p>つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 ()</p> <p>・図面による</p> <p>・天井ふところ1.5m以上の場合の補強方法</p> <p>※「標仕」14.4.4(8)(7)及び(4)による</p> <p>・図面による</p> <p>・天井ふところ3mを超える場合の補強方法 (14.4.4)</p> <p>・図面による</p> <p>天井下地材における耐震性を考慮した補強 (14.4.4)</p> <p>・行う(方法等は図面による)</p> <p>屋外の軒天井、ピロティの天井等の補強 (14.4.4)</p> <p>・行う(方法等は図面による)</p>																																																																																																																																																
<p>5 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3)(表14.5.1)</p> <p>スタッド、ランナの種類</p> <p>・50形 ・65形 ・90形 ・100形</p> <p>スタッドの高さが5mを超える場合</p> <p>※図面による</p>																																																																																																																																																
<p>6 金属成形板張り (14.6.2)(表14.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>形状</th> <th>製法</th> <th>材種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表面処理</th> </tr> <tr> <td>・スパンドレル形</td> <td>・押し出し</td> <td>※アルミニウム製</td> <td></td> <td></td> <td>・BB-1種</td> </tr> <tr> <td>・パネル形</td> <td>・ロール</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・BB-2種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※プレス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>取付け用下地 ※「標仕」14章4節 (14.6.3)</p> <p>()</p> <p>・長尺物の伸縮調整継手 (14.6.3)</p> <p>・施工箇所、納まり等図面による。</p>			形状	製法	材種	寸法(mm)	厚さ(mm)	表面処理	・スパンドレル形	・押し出し	※アルミニウム製			・BB-1種	・パネル形	・ロール				・BB-2種		※プレス																																																																																																																										
形状	製法	材種	寸法(mm)	厚さ(mm)	表面処理																																																																																																																																											
・スパンドレル形	・押し出し	※アルミニウム製			・BB-1種																																																																																																																																											
・パネル形	・ロール				・BB-2種																																																																																																																																											
	※プレス																																																																																																																																															
<p>7 アルミニウム製笠木 (14.7.2)(表14.2.1)(表14.7.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>板厚(mm)</th> <th>表面処理</th> <th>固定間隔</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・250形</td> <td>1.6以上</td> <td>※AB-1種</td> <td>固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの</td> <td>隅角部及び突当たり部等の役物は笠木本体製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>・300形</td> <td>1.8以上</td> <td>・BB-1種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・350形</td> <td>2.0以上</td> <td>・BB-2種</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			種類	板厚(mm)	表面処理	固定間隔	備考	・250形	1.6以上	※AB-1種	固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	隅角部及び突当たり部等の役物は笠木本体製造所の仕様による	・300形	1.8以上	・BB-1種			・350形	2.0以上	・BB-2種																																																																																																																												
種類	板厚(mm)	表面処理	固定間隔	備考																																																																																																																																												
・250形	1.6以上	※AB-1種	固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	隅角部及び突当たり部等の役物は笠木本体製造所の仕様による																																																																																																																																												
・300形	1.8以上	・BB-1種																																																																																																																																														
・350形	2.0以上	・BB-2種																																																																																																																																														
<p>8 その他</p>																																																																																																																																																

15 左官工事	<p>①モルタル塗り (15.3.2)(15.3.5)</p> <p>・既製目地材の適用(形状) () (15.3.2)</p> <p>・抹の目地 (15.3.5)</p> <p>※押し目地</p> <p>割付け間隔</p> <p>※目地割2m程度</p> <p>※最大目地間隔3m程度</p> <p>・図面による</p> <p>外装壁タイル下地等の下地モルタル塗り及び下地調整 (15.3.5)</p> <p>塗材塗りの接着剤試験</p> <p>・実施する ・実施しない</p>																																																																																										
	<p>(15.5.2)(表15.5.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・せっこう系</td> <td>※図面による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・セメント系</td> <td>※図面による</td> <td></td> </tr> </table>			種類	厚さ(mm)	施工箇所	・せっこう系	※図面による		・セメント系	※図面による																																																																																
	種類	厚さ(mm)	施工箇所																																																																																								
	・せっこう系	※図面による																																																																																									
	・セメント系	※図面による																																																																																									
	<p>2 セルフレベリング材塗り (15.5.2)(表15.5.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・せっこう系</td> <td>※図面による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・セメント系</td> <td>※図面による</td> <td></td> </tr> </table>			種類	厚さ(mm)	施工箇所	・せっこう系	※図面による		・セメント系	※図面による																																																																																
	種類	厚さ(mm)	施工箇所																																																																																								
	・せっこう系	※図面による																																																																																									
	・セメント系	※図面による																																																																																									
	<p>③仕上塗材仕上げ (15.6.2)(表15.6.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状等</th> <th>工法</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">○薄付け仕上塗材</td> <td>・外装薄塗材Si</td> <td>・砂壁状</td> <td>・吹付け</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材Si</td> <td>・ゆず肌状</td> <td>・ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○外装薄塗材E</td> <td>・砂壁状</td> <td>・砂壁状</td> <td>・吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ゆず肌状</td> <td>・ゆず肌状</td> <td>・ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・可とう形外装薄塗材E</td> <td>・砂壁状</td> <td>・砂壁状</td> <td>・吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ゆず肌状</td> <td>・ゆず肌状</td> <td>・ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・防水形外装薄塗材E</td> <td>・ゆず肌状</td> <td>・ゆず肌状</td> <td>・吹付け</td> </tr> <tr> <td>・砂壁状</td> <td>・砂壁状</td> <td>・ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・外装薄塗材S</td> <td>・砂壁状</td> <td>・砂壁状</td> <td>・吹付け</td> </tr> <tr> <td>・凹凸状</td> <td>・凹凸状</td> <td>・吹付け</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・内装薄塗材C</td> <td>・平たん状</td> <td>・平たん状</td> <td>・こて塗り</td> </tr> <tr> <td>・ゆず肌状</td> <td>・ゆず肌状</td> <td>・ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・内装薄塗材L</td> <td>・砂壁状</td> <td>・砂壁状</td> <td>・吹付け</td> </tr> <tr> <td>・凹凸状</td> <td>・凹凸状</td> <td>・こて塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○厚付け仕上塗材</td> <td>・外装厚塗材C</td> <td>・吹付け</td> <td>・吹付け</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材E</td> <td>・吹付け</td> <td>・こて塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・内装厚塗材C</td> <td>・吹付け</td> <td>・吹付け</td> <td>・吹付け</td> </tr> <tr> <td>・凹凸状</td> <td>・凹凸状</td> <td>・こて塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・内装厚塗材L</td> <td>・平たん状</td> <td>・平たん状</td> <td>・こて塗り</td> </tr> <tr> <td>・凹凸状</td> <td>・凹凸状</td> <td>・こて塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・内装厚塗材G</td> <td>・平たん状</td> <td>・平たん状</td> <td>・こて塗り</td> </tr> <tr> <td>・凹凸状</td> <td>・凹凸状</td> <td>・こて塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・内装厚塗材Si</td> <td>・吹付け</td> <td>・吹付け</td> <td>・吹付け</td> </tr> <tr> <td>・凹凸状</td> <td>・凹凸状</td> <td>・ローラー塗り</td> </tr> </table>			種類	呼び名	仕上げの形状等	工法	○薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si	・砂壁状	・吹付け	・可とう形外装薄塗材Si	・ゆず肌状	・ローラー塗り	○外装薄塗材E	・砂壁状	・砂壁状	・吹付け	・ゆず肌状	・ゆず肌状	・ローラー塗り	・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状	・砂壁状	・吹付け	・ゆず肌状	・ゆず肌状	・ローラー塗り	・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状	・ゆず肌状	・吹付け	・砂壁状	・砂壁状	・ローラー塗り	・外装薄塗材S	・砂壁状	・砂壁状	・吹付け	・凹凸状	・凹凸状	・吹付け	・内装薄塗材C	・平たん状	・平たん状	・こて塗り	・ゆず肌状	・ゆず肌状	・ローラー塗り	・内装薄塗材L	・砂壁状	・砂壁状	・吹付け	・凹凸状	・凹凸状	・こて塗り	○厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C	・吹付け	・吹付け	・外装厚塗材E	・吹付け	・こて塗り	・内装厚塗材C	・吹付け	・吹付け	・吹付け	・凹凸状	・凹凸状	・こて塗り	・内装厚塗材L	・平たん状	・平たん状	・こて塗り	・凹凸状	・凹凸状	・こて塗り	・内装厚塗材G	・平たん状	・平たん状	・こて塗り	・凹凸状	・凹凸状	・こて塗り	・内装厚塗材Si	・吹付け	・吹付け	・吹付け	・凹凸状	・凹凸状	・ローラー塗り
	種類	呼び名	仕上げの形状等	工法																																																																																							
	○薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si	・砂壁状	・吹付け																																																																																							
		・可とう形外装薄塗材Si	・ゆず肌状	・ローラー塗り																																																																																							
○外装薄塗材E	・砂壁状	・砂壁状	・吹付け																																																																																								
	・ゆず肌状	・ゆず肌状	・ローラー塗り																																																																																								
・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状	・砂壁状	・吹付け																																																																																								
	・ゆず肌状	・ゆず肌状	・ローラー塗り																																																																																								
・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状	・ゆず肌状	・吹付け																																																																																								
	・砂壁状	・砂壁状	・ローラー塗り																																																																																								
・外装薄塗材S	・砂壁状	・砂壁状	・吹付け																																																																																								
	・凹凸状	・凹凸状	・吹付け																																																																																								
・内装薄塗材C	・平たん状	・平たん状	・こて塗り																																																																																								
	・ゆず肌状	・ゆず肌状	・ローラー塗り																																																																																								
・内装薄塗材L	・砂壁状	・砂壁状	・吹付け																																																																																								
	・凹凸状	・凹凸状	・こて塗り																																																																																								
○厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C	・吹付け	・吹付け																																																																																								
	・外装厚塗材E	・吹付け	・こて塗り																																																																																								
・内装厚塗材C	・吹付け	・吹付け	・吹付け																																																																																								
	・凹凸状	・凹凸状	・こて塗り																																																																																								
・内装厚塗材L	・平たん状	・平たん状	・こて塗り																																																																																								
	・凹凸状	・凹凸状	・こて塗り																																																																																								
・内装厚塗材G	・平たん状	・平たん状	・こて塗り																																																																																								
	・凹凸状	・凹凸状	・こて塗り																																																																																								
・内装厚塗材Si	・吹付け	・吹付け	・吹付け																																																																																								
	・凹凸状	・凹凸状	・ローラー塗り																																																																																								
<p>内装仕上げに用いる塗材のホルムアルデヒド放散量 (15.6.2)</p> <p>※☆☆☆☆</p> <p>・内装薄塗材及び内装厚塗材で吸放湿性を有する塗材 (15.6.2)</p> <p>の使用施工箇所は図面による (15.6.2)(表15.6.1)</p>																																																																																											
<p>④アルミニウム製建具 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)(表16.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>下地</th> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>枠見込み(mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート系及び鉄骨</td> <td>・A種</td> <td>※S-4</td> <td>※A-3</td> <td>※W-4</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td>○B種</td> <td>※S-5</td> <td></td> <td></td> <td>※100</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">木部</td> <td>・C種</td> <td>※S-6</td> <td>※A-4</td> <td>※W-5</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>・D種</td> <td>※S-2</td> <td>※A-3</td> <td>※W-3</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・E種</td> <td>※S-3</td> <td>※A-3</td> <td>※W-3</td> <td>()</td> </tr> </table> <p>防音ドアセット、防音サッシの適用及び防音性の等級 (16.2.2)</p> <p>・適用する(遮音性の等級:)</p> <p>断熱ドアセット、断熱サッシの適用及び断熱性の等級 (16.2.2)</p> <p>・適用する(断熱性の等級:)</p> <p>耐震ドアセットの適用及び面内変形追随性の等級 (16.2.2)</p> <p>・適用する(面内変形追随性の等級:)</p> <p>防虫網 (16.2.3)</p> <p>網の材質 ※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製</p> <p>○ステンレス製(SUS316)</p> <p>線径 ※0.25mm以上</p> <p>網目 ※16~18メッシュ</p> <p>防鳥網 ・適用する</p> <p>建具の枠の見込み寸法(外部に面する建具を除く) (16.2.4)</p> <p>()</p> <p>結露水処理方法 (16.2.4)</p> <p>()</p> <p>アルミニウムの表面処理 (16.2.4)(14.2.2)</p> <p>・BA-1 ・BA-2 ・BB-1 ○BB-2 ・BC-1 ・BC-2</p> <p>水切り板、ぜん板等の加工及び組立 () (16.2.5)</p> <p>・外部に面する内付け建具の止水処理(木下地のみ) (16.2.5)</p>			下地	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	コンクリート系及び鉄骨	・A種	※S-4	※A-3	※W-4	※70	○B種	※S-5			※100	木部	・C種	※S-6	※A-4	※W-5	()	・D種	※S-2	※A-3	※W-3	()		・E種	※S-3	※A-3	※W-3	()																																																							
下地	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)																																																																																						
コンクリート系及び鉄骨	・A種	※S-4	※A-3	※W-4	※70																																																																																						
	○B種	※S-5			※100																																																																																						
木部	・C種	※S-6	※A-4	※W-5	()																																																																																						
	・D種	※S-2	※A-3	※W-3	()																																																																																						
	・E種	※S-3	※A-3	※W-3	()																																																																																						

<p>16 建具工事</p>		<p>1 防火戸 (16.1.3)</p> <p>防火戸の指定 (16.1.3)</p> <p>※図面による</p> <p>防火戸の自動閉鎖機構及びヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 (16.1.3)</p> <p>※図面による</p> <p>・建具見本を製作する (16.1.4)</p> <p>・特殊な建具の仮組(建具番号:) (16.1.4)</p> <p>3 防犯建物部品 (16.1.6)</p> <p>適用する()</p>																																	
<p>2 見本の製作等 (16.1.4)</p> <p>・特殊な建具の仮組(建具番号:) (16.1.4)</p>		<p>4 マスチック塗材塗り (15.7.2)(表15.7.1)</p> <p>種類 (15.7.2)(表15.7.1)</p> <p>・A種</p> <p>・B種</p> <p>仕上材塗り つや有合成樹脂エポキシポイント</p> <p>種類 ()</p> <p>5 ロックウール吹付け (15.12.2)</p> <p>ロックウールのホルムアルデヒド放散量 () (15.12.2)</p> <p>※☆☆☆☆</p> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量 () (15.12.2)</p> <p>※☆☆☆☆</p> <p>仕上げ吹付け厚さ () (15.12.3)</p> <p>mm</p> <p>6 その他</p>																																	
<p>④アルミニウム製建具 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)(表16.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>下地</th> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>枠見込み(mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート系及び鉄骨</td> <td>・A種</td> <td>※S-4</td> <td>※A-3</td> <td>※W-4</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td>○B種</td> <td>※S-5</td> <td></td> <td></td> <td>※100</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">木部</td> <td>・C種</td> <td>※S-6</td> <td>※A-4</td> <td>※W-5</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>・D種</td> <td>※S-2</td> <td>※A-3</td> <td>※W-3</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・E種</td> <td>※S-3</td> <td>※A-3</td> <td>※W-3</td> <td>()</td> </tr> </table> <p>防音ドアセット、防音サッシの適用及び防音性の等級 (16.2.2)</p> <p>・適用する(遮音性の等級:)</p> <p>断熱ドアセット、断熱サッシの適用及び断熱性の等級 (16.2.2)</p> <p>・適用する(断熱性の等級:)</p> <p>耐震ドアセットの適用及び面内変形追随性の等級 (16.2.2)</p> <p>・適用する(面内変形追随性の等級:)</p> <p>防虫網 (16.2.3)</p> <p>網の材質 ※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製</p> <p>○ステンレス製(SUS316)</p> <p>線径 ※0.25mm以上</p> <p>網目 ※16~18メッシュ</p> <p>防鳥網 ・適用する</p> <p>建具の枠の見込み寸法(外部に面する建具を除く) (16.2.4)</p> <p>()</p> <p>結露水処理方法 (16.2.4)</p> <p>()</p> <p>アルミニウムの表面処理 (16.2.4)(14.2.2)</p> <p>・BA-1 ・BA-2 ・BB-1 ○BB-2 ・BC-1 ・BC-2</p> <p>水切り板、ぜん板等の加工及び組立 () (16.2.5)</p> <p>・外部に面する内付け建具の止水処理(木下地のみ) (16.2.5)</p>		下地	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	コンクリート系及び鉄骨	・A種	※S-4	※A-3	※W-4	※70	○B種	※S-5			※100	木部	・C種	※S-6	※A-4	※W-5	()	・D種	※S-2	※A-3	※W-3	()		・E種	※S-3	※A-3	※W-3	()
下地	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)																														
コンクリート系及び鉄骨	・A種	※S-4	※A-3	※W-4	※70																														
	○B種	※S-5			※100																														
木部	・C種	※S-6	※A-4	※W-5	()																														
	・D種	※S-2	※A-3	※W-3	()																														
	・E種	※S-3	※A-3	※W-3	()																														

<p>5 樹脂製建具</p> <p>外部に面する建具 (16.3.2) (16.3.4) (表16.3.1) (表16.3.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>下地</th> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>枠見込み (mm)</th> </tr> <tr> <td>コンク</td> <td>・A種</td> <td>※S-4</td> <td>※A-4</td> <td>※W-4</td> <td>・()</td> </tr> <tr> <td>リート系</td> <td>・B種</td> <td>※S-5</td> <td>・</td> <td>※W-5</td> <td>・()</td> </tr> <tr> <td>及び鉄骨</td> <td>・C種</td> <td>※S-6</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・()</td> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>・D種</td> <td>※S-2</td> <td>※A-4</td> <td>※W-3</td> <td>・()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・E種</td> <td>※S-3</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・()</td> </tr> </table> <p>防音ドアセット、防音サッシの適用及び遮音性の等級 (16.3.2)</p> <p>・適用する(遮音性の等級: T-1 ~ T-2)</p> <p>断熱ドアセット、断熱サッシの適用及び断熱性の等級 (16.3.2)</p> <p>・適用する(断熱性の等級: H-4 ~ H-5 ~ H-6 ~ H-7 ~ H-8)</p> <p>外部に面する建具の日射熱取得性の等級 (16.3.2)</p> <p>・適用する(日射熱取得性の等級: N-1 ~ N-2 ~ N-3)</p> <p>防虫網 (16.3.3)</p> <p>網の種類 ※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製</p> <p>・ステンレス製 (SUS316)</p> <p>線径 ※0.25mm以上</p> <p>網目 ※16~18メッシュ</p> <p>防鳥網</p> <p>・適用する</p> <p>ガラス ※複層ガラス (16.3.3)</p> <p>建具の枠の見込み寸法(外部に面する建具を除く) (16.3.4)</p> <p>(mm)</p> <p>表面色 ・標準色 ・特注色 (16.3.4)</p> <p>水切り板、ぜん板等の加工及び組立 (16.3.5)</p> <p>()</p> <p>・外部に面する内付け建具の止水処理(木下地のみ) (16.3.5)</p> <p>6 鋼製建具</p> <p>簡易気密型ドアセット性能値 (16.4.2) (表16.4.1)</p> <p>・A-3 ・W-1</p> <p>外部に面する鋼製建具の耐風圧性 (16.4.2) (表16.2.1)</p> <p>・S-4 ・S-5 ・S-6</p> <p>・等級を超える風圧力の場合 風圧力()</p> <p>防音ドアセット、防音サッシの適用及び遮音性の等級 (16.4.2) (表16.2.2)</p> <p>・適用する(遮音性の等級: T-3)</p> <p>断熱ドアセット、断熱サッシの適用及び断熱性の等級 (16.4.2) (表16.2.2)</p> <p>・適用する(断熱性の等級:)</p> <p>耐震ドアセットの適用及び面内変形追従性の等級 (16.4.2) (表16.2.2)</p> <p>・適用する(面内変形追従性の等級:)</p> <p>点検口の材料 (16.4.3)</p> <p>※図面による</p> <p>鋼板類の厚さ (16.4.4) (表16.4.2)</p> <p>※「標仕」表16.4.2による</p> <p>7 鋼製軽量建具</p> <p>簡易気密型ドアセット性能値 (16.5.2)</p> <p>※A-3(適用場所は建具表による)</p> <p>防音ドアセット、防音サッシの適用及び遮音性の等級 (16.5.2) (表16.2.2)</p> <p>・適用する(遮音性の等級:)</p> <p>断熱ドアセット、断熱サッシの適用及び断熱性の等級 (16.5.2) (表16.2.2)</p> <p>・適用する(断熱性の等級:)</p> <p>耐震ドアセットの適用及び面内変形追従性の等級 (16.5.2) (表16.2.2)</p> <p>・適用する(面内変形追従性の等級:)</p> <p>鋼板 (16.5.3)</p> <p>種類 ・溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯</p> <p>・電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯</p> <p>めっきの付着量 ・Z06 ・F06 ・E24</p> <p>ビニル被覆鋼板 (16.5.3)</p> <p>被覆原板の種類 ・SG ・SE</p> <p>めっきの付着量 ・Z06 ・F06 ・E24</p> <p>カラー鋼板 (16.5.3)</p> <p>種類 ・塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯</p> <p>・溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯</p> <p>・電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯</p> <p>ステンレス鋼板 (16.5.3)</p> <p>・SUS304 ・SUS430JIL ・SUS443J1</p> <p>召合せ、縦小口包み板等の材質 (16.5.3)</p> <p>※鋼板 ・ステンレス鋼板 ・アルミニウム合金押出型材</p> <p>鋼板類の厚さ (16.5.4) (表16.5.1)</p> <p>※「標仕」表16.5.1による</p> <p>8 ステンレス製建具</p> <p>簡易気密型ドアセット性能値 (16.6.2) (表16.4.1)</p> <p>・A-3 ・W-1</p> <p>外部に面する鋼製建具の耐風圧性 (16.6.2) (表16.2.1)</p> <p>・S-4 ・S-5 ・S-6</p> <p>・等級を超える風圧力の場合 風圧力()</p> <p>防音ドアセット、防音サッシの適用及び遮音性の等級 (16.6.2) (表16.2.2)</p> <p>・適用する(遮音性の等級:)</p> <p>断熱ドアセット、断熱サッシの適用及び断熱性の等級 (16.6.2) (表16.2.2)</p> <p>・適用する(断熱性の等級:)</p> <p>耐震ドアセットの適用及び面内変形追従性の等級 (16.6.2) (表16.2.2)</p> <p>・適用する(面内変形追従性の等級:)</p>	下地	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み (mm)	コンク	・A種	※S-4	※A-4	※W-4	・()	リート系	・B種	※S-5	・	※W-5	・()	及び鉄骨	・C種	※S-6	・	・	・()	木部	・D種	※S-2	※A-4	※W-3	・()		・E種	※S-3	・	・	・()	<p>9 木製建具</p> <p>ステンレス鋼板 (16.6.3)</p> <p>・SUS304 ・SUS430JIL ・SUS443J1</p> <p>表面仕上げ ※HL仕上げ ・鏡面仕上げ ・図示 (16.6.4)</p> <p>曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ (16.6.5)</p> <p>建具材の種類 (16.7.2)</p> <p>※A種 ・B種</p> <p>フラッシュ戸の表面材の種類及び品質等 (16.7.2) (表16.7.2)</p> <p>種類 ※図面による</p> <p>品質 ※「標仕」表16.7.2(2)(イ)による</p> <p>・MDF 表裏面の状態 ※図面による</p> <p>曲げ強さ ※図面による</p> <p>接着剤 ※図面による</p> <p>難燃性 ※図面による</p> <p>かまち戸の樹種 (16.7.2)</p> <p>かまち() 鏡板()</p> <p>ふすまの材料種別 ・I型 ・II型 (16.7.2) (表16.7.3)</p> <p>ふすまの上張り (16.7.2) (表16.7.3)</p> <p>※新鳥の子またはビニル紙程度(押入等の裏面は除く)</p> <p>・鳥の子</p> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量 (16.7.2)</p> <p>※F☆☆☆☆</p> <p>枠及びくつずりの材料() (16.7.2)</p> <p>フラッシュ戸の表面材の厚さ (16.7.3) (表16.7.6)</p> <p>※「標仕」表16.7.6による</p> <p>フラッシュ戸及び木製建具の見込み寸法 (16.7.3) (表16.7.7)</p> <p>※「標仕」表16.7.5及び表16.7.7による</p> <p>ふすまの緑の仕上げ () (16.7.4)</p> <p>10 建具用金物</p> <p>※建具金物の種類等は建具表によるほか (16.8.1~16.8.3)</p> <p>「標仕」表16.8.2による</p> <p>マスターキー ・製作する (16.8.4)</p> <p>鍵の本数 ※3本1組 (16.8.4)</p> <p>11 自動ドア開閉装置</p> <p>自動ドア開閉装置 (16.9.2) (表16.9.1) (表16.9.2) (表16.9.3)</p> <p>駆動装置の性能値(一般)</p> <p>※「標仕」表16.9.1による</p> <p>駆動装置の性能値(多機能トイレ出入口)</p> <p>※「標仕」表16.9.2による</p> <p>検出装置の性能値</p> <p>※「標仕」表16.9.3による</p> <p>機構 (16.9.3) (表16.9.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>戸の開閉方式</th> <th>引き戸用検出装置の種類</th> </tr> <tr> <td>※引き戸</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>・凍結防止措置 ()</p> <p>性能 (16.10.3)</p> <p>※「標仕」表16.10.1による</p> <p>12 自閉式上吊り引戸装置</p> <p>13 重量シャッター</p> <p>種類</p> <p>・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター</p> <p>・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター</p> <p>管理用シャッター及び外壁用防火シャッターの耐風圧強度() (16.11.2)</p> <p>開閉方式 (16.11.2) (表16.11.1)</p> <p>※上部電動式(手動併用) ・上部手動式</p> <p>電動式シャッター (16.11.2)</p> <p>急降下停止装置等の設置箇所 ()</p> <p>障害物感知装置の設置箇所 ()</p> <p>感知器運動機構又は手動閉鎖式シャッター等(16.11.2)</p> <p>危害防止機構の設置箇所 ()</p> <p>安全保護装置の設置 (16.11.2)</p> <p>・シャッターケースの設置 (16.11.2) (表16.11.3)</p> <p>鋼板の種類 ・溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯</p> <p>・塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯</p> <p>めっきの付着量 ・Z12 ・F12</p> <p>スラット用鋼板の種類 (16.11.3)</p> <p>鋼板の種類 ・溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯</p> <p>・塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯</p> <p>めっきの付着量 ・Z12 ・F12</p> <p>14 軽量シャッター</p> <p>開閉方式 (16.12.2) (表16.12.1)</p> <p>※手動式 ・上部電動式(手動併用)</p> <p>耐風圧強度 () (16.12.2)</p> <p>スラット</p> <p>材質 (16.12.3)</p> <p>・塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯</p> <p>・塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯</p> <p>・Z06 ・F06 ・A290</p> <p>形状 (16.12.4)</p> <p>・インターロッキング形</p> <p>・オーバーラッピング形</p>	戸の開閉方式	引き戸用検出装置の種類	※引き戸	・	・	・	<p>15 オーバーヘッドドア</p> <table border="1"> <tr> <th>セクション材料</th> <th>開閉方式</th> <th>収納形式</th> <th>ガイドレール</th> </tr> <tr> <td>※スチールタイプ</td> <td>※バラン</td> <td>・スタンダード形</td> <td>※溶融亜鉛め</td> </tr> <tr> <td>・アルミニウムタイプ</td> <td>・チェーン式</td> <td>・ローヘッド形</td> <td>つき鋼板</td> </tr> <tr> <td>・ファイバーグラストタイプ</td> <td>・電動式</td> <td>・ハイリフト形</td> <td>・ステンレス鋼板(SUS304)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・パーチャル形</td> <td></td> </tr> </table> <p>耐風圧性能による区分 ・50 ・75 ・100 ・125</p> <p>16 ガラス</p> <p>17 ガラス留め材及び溝</p> <p>ガラス留め材 (16.14.2) (表9.7.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>材質</th> </tr> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>※シーリング材</td> </tr> <tr> <td>樹脂製</td> <td>・ガスケット(FIX部分はシーリング)</td> </tr> <tr> <td>鋼製及び軽量鋼製</td> <td>※シーリング材</td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>※シーリング材</td> </tr> </table> <p>溝の大きさ (16.14.3) (表16.14.1)</p> <p>※建具の製造所の仕様による</p> <p>・ガラスブロック積み (16.14.5)</p> <p>・図面による</p> <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>種類</th> <th>張り面</th> <th>性能値</th> </tr> <tr> <td>※ガラス飛散防止フィルム止</td> <td>第2種</td> <td>※内張り</td> <td>飛散防止率D1</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td>※外張り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>品質 JIS A 5759 による</p> <p>18 ガラス用フィルム</p> <p>19 1 メタルカーテンウォール</p> <p>設計図書による規定のほか、特記なき事項は一般社団法人日本建築学会JASS14による。 (17.2.2)</p> <p>材料の種類 (17.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>規格等</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製</td> <td>・「標仕」表16.2.3のアルミニウム製建具の材料による</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> </tr> </table> <p>カーテンウォール方式</p> <p>・方立方式</p> <p>シーリング材及びガラス取付け材料</p> <p>下記以外は「標仕」表9.7.1による (17.2.2) (9.7.2) (表9.7.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>被着体の組合せ</th> <th>シーリング材の種類</th> <th>記号</th> <th>主成分による区分</th> <th>耐久性による区分</th> </tr> <tr> <td>金属</td> <td>ガラス</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>石、タイル</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガラス</td> <td>ガラス</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>構造ガスケット (17.2.2)</p> <p>・適用(施工箇所: 図面による)</p> <p>断熱材 (17.2.2)</p> <p>・適用(種類: 厚さ(mm): 施工箇所 図面による)</p> <p>製品の寸法許容差 (17.2.3) (表17.2.1)</p> <p>※「標仕」表17.2.1による</p> <p>見え掛り部分の仕上げ() (17.2.3)</p> <p>ガラス溝の寸法、形状等 (17.2.3)</p> <p>※カーテンウォールの製作所の仕様による</p> <p>躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差 (17.2.5)</p> <p>※「標仕」表17.2.2による</p> <p>カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差 (17.2.5)</p> <p>※「標仕」表17.2.3による</p> <p>ガラスの取付け方法 ※図面による (17.2.6)</p> <p>耐風圧性能 (17.1.3)</p> <p>性能値 ※建築基準法施行令第87条および建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること</p> <p>・正圧1205.5N/m²以上及び負圧784.2N/m²以上に対して安全であること</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="3">主要部材のたわみ (h=支点間距離)</th> </tr> <tr> <th>支点間距離(h)</th> <th>たわみ量</th> <th>状態</th> </tr> <tr> <td>※4m以下</td> <td>※±(1/150)×hかつ絶対値20mm以下</td> <td>※残留変形及び有害な変形が起らないこと</td> </tr> <tr> <td>・4mを超える</td> <td>・1/200×h</td> <td></td> </tr> </table> <p>耐震性能 (17.1.3)</p> <p>設計用震度 水平方向(KH) ※1.0</p> <p>垂直方向(KV) ・0.5</p> <table border="1"> <tr> <th>建物の構造</th> <th>層間変位位置 (h=支点間距離)</th> <th>状態</th> </tr> <tr> <td>鉄骨造</td> <td>※±(1/150)×h以上</td> <td>※部材の脱落、ガラスの破損および主要部材に有害な歪が起らないこと</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート造</td> <td>※±(1/200)×h以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄骨鉄筋コンクリート造</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>シリーングは補修程度</p> <p>・水密性 (17.1.3)</p> <p>・グレード1 ・グレード2 ・グレード3</p> <p>・気密性 (17.1.3)</p> <p>・グレード1 ・グレード2 ・グレード3</p> <p>・耐火性能 (17.1.3)</p> <p>・時間、施工箇所: 図示</p> <p>耐温度差性 (17.1.3)</p> <p>遮音性 (17.1.3)</p> <p>断熱性 (17.1.3)</p>	セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール	※スチールタイプ	※バラン	・スタンダード形	※溶融亜鉛め	・アルミニウムタイプ	・チェーン式	・ローヘッド形	つき鋼板	・ファイバーグラストタイプ	・電動式	・ハイリフト形	・ステンレス鋼板(SUS304)			・パーチャル形		建具の種類	材質	アルミニウム製	※シーリング材	樹脂製	・ガスケット(FIX部分はシーリング)	鋼製及び軽量鋼製	※シーリング材	ステンレス製	※シーリング材	名称	種類	張り面	性能値	※ガラス飛散防止フィルム止	第2種	※内張り	飛散防止率D1	・		※外張り		・				種類	規格等	・アルミニウム製	・「標仕」表16.2.3のアルミニウム製建具の材料による	・		被着体の組合せ	シーリング材の種類	記号	主成分による区分	耐久性による区分	金属	ガラス					石、タイル				ガラス	ガラス				主要部材のたわみ (h=支点間距離)			支点間距離(h)	たわみ量	状態	※4m以下	※±(1/150)×hかつ絶対値20mm以下	※残留変形及び有害な変形が起らないこと	・4mを超える	・1/200×h		建物の構造	層間変位位置 (h=支点間距離)	状態	鉄骨造	※±(1/150)×h以上	※部材の脱落、ガラスの破損および主要部材に有害な歪が起らないこと	鉄筋コンクリート造	※±(1/200)×h以上		鉄骨鉄筋コンクリート造			<p>2 PCカーテンウォール</p> <p>設計図書による規定のほか、特記なき事項は(社)日本建築学会JASS14による (17.3.2)</p> <p>コンクリートの種類 (17.3.2)</p> <p>・普通コンクリート(「標仕」表6.3.1による)</p> <p>・軽量コンクリート(「標仕」表6.10.1の1種)</p> <p>コンクリートの品質 (17.3.2)</p> <p>※「標仕」表17.3.2による</p> <p>・下表による。下表以外は「標仕」表17.3.2による</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度(Fc)</th> <th>所要スランプ</th> <th>単位水量</th> </tr> <tr> <td>※30N/mm²</td> <td>※12cm</td> <td>※180kg/m³以下</td> </tr> </table> <p>鉄筋 ※SD295A (17.3.2)</p> <p>補強鉄線の寸法 径() 網目() (17.3.2)</p> <p>シーリング材料 (17.3.2) (9.7.2) (表9.7.1)</p> <p>下記以外は「標仕」表9.7.1による</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類</th> </tr> <tr> <td>カーテンウォール板間目地</td> <td>記号</td> </tr> <tr> <td></td> <td>主成分による区分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>耐久性による区分</td> </tr> </table> <p>耐火材料</p> <table border="1"> <tr> <th>施工部位</th> <th>種別</th> <th>規格等</th> </tr> <tr> <td>・ファスナー部</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・取付けブラケット</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・パネル目地部</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・層間ふさぎ</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>断熱材 (17.3.2)</p> <p>・適用(種類: 厚さ(mm): 施工箇所 図面による)</p> <p>仕上げ材、建具枠、ゴンドラ用ガイドレール等 (17.3.2)</p> <p>()</p> <p>製品見え掛り部の寸法許容差 (17.3.3) (表17.3.1)</p> <p>※「標仕」表17.3.1による</p> <p>・製造所標準製作規定寸法許容差</p> <p>仕上げ () (17.3.3)</p> <p>構造ガスケットを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差() (17.3.3)</p> <p>鉄筋の配筋 ※計算書による (17.3.4)</p> <p>躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差 (17.3.5) (表17.2.5)</p> <p>※「標仕」表17.2.2による</p> <p>カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差 (17.3.5)</p> <p>※「標仕」表17.3.2による</p> <p>構造ガスケットを用いるガラスの取付け (17.3.6)</p> <p>()</p> <p>3 その他</p> <p>18 1 ①材料</p> <p>ホルムアルデヒド放散量</p> <p>※F☆☆☆☆</p> <p>・防火材料</p> <p>・指定する 施工箇所() (図面による) (18.1.3)</p> <p>2 ②素地ごしらえ</p> <p>木部の素地ごしらえの種類 (18.2.2)</p> <p>・A種 ・B種</p> <p>鉄鋼面の素地ごしらえの種類 (18.2.3)</p> <p>・A種 ・B種 ※C種 ただしDPの場合はB種</p> <p>亜鉛めっき面の素地ごしらえの種類 (18.2.4) (表18.2.3) (表18.3.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工部位</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>鋼製建具等</td> </tr> </table> <p>その他の素地ごしらえの種類</p> <p>※「標仕」表18.2.2から18.2.7(18.2.4除く)による。</p> <p>・施工箇所()</p> <p>下地材()</p> <p>種別() (種)</p> <p>モルタル面及びせつこうプラスター面の素地ごしらえの種類 (18.2.5) (表18.2.4)</p> <p>※B種 ・A種</p> <p>コンクリート面及びALCパネル面の素地ごしらえの種類 (18.2.6)</p> <p>※B種 ・A種 (表18.2.5) (表18.2.6)</p> <p>せつこうボード面及びその他のボード面の素地ごしらえ(18.2.7)の種類 (表18.2.7)</p> <p>※A種 ・B種</p>	設計基準強度(Fc)	所要スランプ	単位水量	※30N/mm ²	※12cm	※180kg/m ³ 以下	施工箇所	シーリング材の種類	カーテンウォール板間目地	記号		主成分による区分		耐久性による区分	施工部位	種別	規格等	・ファスナー部			・取付けブラケット			・パネル目地部			・層間ふさぎ			種別	施工部位	・A種		・B種	鋼製建具等	<p>横浜市建築局</p> <p>工事名 (仮称)舞岡墓園納骨堂その他新築工事</p> <p>図面名称 建築工事特記仕様書(その5)</p> <p>年月日 R7.03 縮尺 NO.SCALE</p> <p>設 計 者 有限会社 協和建築設計事務所</p> <p>1級建築士登録 第282011号 見崎 為一</p> <p>棟番号 完成年度 図面種類 固有番号 図面番号</p> <p>A-06</p>
下地	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み (mm)																																																																																																																																																																												
コンク	・A種	※S-4	※A-4	※W-4	・()																																																																																																																																																																												
リート系	・B種	※S-5	・	※W-5	・()																																																																																																																																																																												
及び鉄骨	・C種	※S-6	・	・	・()																																																																																																																																																																												
木部	・D種	※S-2	※A-4	※W-3	・()																																																																																																																																																																												
	・E種	※S-3	・	・	・()																																																																																																																																																																												
戸の開閉方式	引き戸用検出装置の種類																																																																																																																																																																																
※引き戸	・																																																																																																																																																																																
・	・																																																																																																																																																																																
セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール																																																																																																																																																																														
※スチールタイプ	※バラン	・スタンダード形	※溶融亜鉛め																																																																																																																																																																														
・アルミニウムタイプ	・チェーン式	・ローヘッド形	つき鋼板																																																																																																																																																																														
・ファイバーグラストタイプ	・電動式	・ハイリフト形	・ステンレス鋼板(SUS304)																																																																																																																																																																														
		・パーチャル形																																																																																																																																																																															
建具の種類	材質																																																																																																																																																																																
アルミニウム製	※シーリング材																																																																																																																																																																																
樹脂製	・ガスケット(FIX部分はシーリング)																																																																																																																																																																																
鋼製及び軽量鋼製	※シーリング材																																																																																																																																																																																
ステンレス製	※シーリング材																																																																																																																																																																																
名称	種類	張り面	性能値																																																																																																																																																																														
※ガラス飛散防止フィルム止	第2種	※内張り	飛散防止率D1																																																																																																																																																																														
・		※外張り																																																																																																																																																																															
・																																																																																																																																																																																	
種類	規格等																																																																																																																																																																																
・アルミニウム製	・「標仕」表16.2.3のアルミニウム製建具の材料による																																																																																																																																																																																
・																																																																																																																																																																																	
被着体の組合せ	シーリング材の種類	記号	主成分による区分	耐久性による区分																																																																																																																																																																													
金属	ガラス																																																																																																																																																																																
	石、タイル																																																																																																																																																																																
ガラス	ガラス																																																																																																																																																																																
主要部材のたわみ (h=支点間距離)																																																																																																																																																																																	
支点間距離(h)	たわみ量	状態																																																																																																																																																																															
※4m以下	※±(1/150)×hかつ絶対値20mm以下	※残留変形及び有害な変形が起らないこと																																																																																																																																																																															
・4mを超える	・1/200×h																																																																																																																																																																																
建物の構造	層間変位位置 (h=支点間距離)	状態																																																																																																																																																																															
鉄骨造	※±(1/150)×h以上	※部材の脱落、ガラスの破損および主要部材に有害な歪が起らないこと																																																																																																																																																																															
鉄筋コンクリート造	※±(1/200)×h以上																																																																																																																																																																																
鉄骨鉄筋コンクリート造																																																																																																																																																																																	
設計基準強度(Fc)	所要スランプ	単位水量																																																																																																																																																																															
※30N/mm ²	※12cm	※180kg/m ³ 以下																																																																																																																																																																															
施工箇所	シーリング材の種類																																																																																																																																																																																
カーテンウォール板間目地	記号																																																																																																																																																																																
	主成分による区分																																																																																																																																																																																
	耐久性による区分																																																																																																																																																																																
施工部位	種別	規格等																																																																																																																																																																															
・ファスナー部																																																																																																																																																																																	
・取付けブラケット																																																																																																																																																																																	
・パネル目地部																																																																																																																																																																																	
・層間ふさぎ																																																																																																																																																																																	
種別	施工部位																																																																																																																																																																																
・A種																																																																																																																																																																																	
・B種	鋼製建具等																																																																																																																																																																																

3 錆止め塗料塗り	(18.3.2~18.3.3) (表18.3.1~18.3.6)			
	塗装面	塗料種別	工程種別	備考
鉄鋼面	屋外	※A種	・A種	・B種
	屋内	※A種	・B種	
DP	1回目	C種	(標18.3.4)	
	2・3回目	D種		
EP-G	・A種	※B種		
	・B種			
亜鉛めっき面	屋外	※A種	・B種	・A種
	屋内	※A種	・B種	・A種
DP	※B種	(標18.3.6)		
	※C種	・A種	・B種	
鋼製	・A種	・B種	※A種	・B種
	建具面			

耐火材吹付けなど、被覆材が接着する面への塗装 (7.8.3)
 ・行わない
 ・行う
 適用箇所 図面による ()
 塗料の種類 「標仕」18.3.2表18.3.1()種
 「標仕」18.3.2表18.3.1()種

4 塗装	合成樹脂調合ペイント塗りの塗料の種類 (18.4.2)			
	※1種 (18.4.2~18.12.2) (表18.4.1~18.12.1)			
塗装の種類	塗装面	種別		
	・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部	・A種	・B種
・クリアラッカー塗り(GL)	鉄鋼面	・A種	※B種	
	木部	・A種	※B種	
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)	コンクリート面	・A種	※B種	
	モルタル面	・A種	※B種	
・耐候性塗料塗り(DP)	コンクリート面、押出成形セメント板面	・A種	・B種	・C種
	コンクリート面、モルタル面、せっこうプラスター面、せっこうボード面、その他ボード面	・A種	※B種	
・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	鉄鋼面	・A種	※B種	
	コンクリート面、モルタル面、せっこうプラスター面、せっこうボード面、その他ボード面	・A種	※B種	
・合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)	コンクリート面、モルタル面、せっこうプラスター面、せっこうボード面、その他ボード面	・A種	※B種	
	鉄鋼面	・A種	※B種	
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)	木部(屋内)	・A種	※B種	
	木部	(表18.11.1)		
・ビグメントステイン塗り(OS)	木部			
	木部			
・オイルステイン塗り(OS)	木部			
	木部(屋外)	・A種	※B種	
・木材保護塗料塗り(WP)	木部(屋外)	・A種	※B種	
	木部			

材質 水性アクリル樹脂塗料
 水性ウレタン樹脂塗料
 表面仕上げ ○平滑 ・防滑

6 その他

1 内装工事	11 ビニル床シート張り (19.2.2)			
	種類	JISの記号	色柄	厚さ(mm)
※発泡層のないもの	※FS	※無地	※2.0	
	・	・マーブル柄	・	
・発泡層のあるもの	・	・柄物	・	
	・	・	・	
工法 ※熱溶接工法 ・突付け工法 (19.2.3) (施工箇所:)				

2 ビニル床タイルおよびゴム床タイル張り	種類 (19.2.2)			
	種類	JISの記号	厚さ(mm)	備考
※コンポジションビニル床タイル(半硬質)	KT	※2.0		
・コンポジションビニル床タイル(軟質)	KT	・		
・単層ビニル床タイル	TT	・		
・複層ビニル床タイル	FT	・		
・ゴム床タイル	・	・		
ホルムアルデヒド放散量(接着剤含む) ※F☆☆☆☆ (19.2.2)				

3 特殊機能床材張り	常電防止床シート、床タイル (19.2.2)			
	種類	厚さ(mm)	性能	
※コンポジションビニル床タイル	※2	体積抵抗値(JIS K6911による)1.0×10 ⁹ Ω以下または漏洩抵抗値(JIS A1454による)1.0×10 ¹⁰ Ω未満		
・単層ビニル床タイル	※4.0			
・複層ビニル床タイル	又は4.5			

4 ビニル幅木	・視覚障害者誘導用床タイル (19.2.2)			
	箇所	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)
屋内	・塩化ビニル製	・磁器又はせり器質タイル	※300×300	※7
	・レジンコンクリート製		※300×300	※30
ブロックパターンは JIS T9251による。				
・耐動荷重性床シート (19.2.2)				
種類	厚さ(mm)	備考		
・	・	・		
・	・	・		

5 カーペット敷き	・防滑性床シート、床タイル (19.2.2)			
	種類	厚さ(mm)	性能	
・	・	・		
・	・	・		

6 合成樹脂塗床	・タフテッドカーペット (19.3.1) (19.3.2) (表19.3.2)			
	パイル形状	パイル(mm)長	帯電性	工法
・カットパイル	※5~7	人体帯電圧 ※3kV以下	※全面接着工法	※グリッパー工法(下敷き材共)
	・マルテレ	※4~6	・	・
・レベール	※4	・	・	・
	・パイル	・	・	・
・カット、ループ併用	・	・	・	・
	・	・	・	・

7 フローリング張り	・タイルカーペット (19.3.2) (表19.3.2)			
	種類	パイル形状	電気抵抗値(Ω)	寸法
※第一種	※ループパイル	※適用しない	※500mm角	※6.5mm
・第二種	・カットパイル	・10 ⁹ Ω以下	・	・

8 畳敷き	・タイルカーペットの敷き方 (19.3.3)			
	平場	※市松敷き	・	
9 せっこうボードその他ボードおよび合板張り	階段部分	※模様流し	・	
	・	・	・	

下敷き材(JIS L 3204) (19.3.2)
 ※第2種2号 ※呼び厚さ 8mm

見切り、押え金物の材質、種類及び形状 (19.3.2)
 ※図面による

ホルムアルデヒド放散量(接着剤含む) ※F☆☆☆☆ (19.3.2)

厚膜型塗床材	種類	仕上げの種類
	・弾性ウレタン樹脂系塗床材	※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂系塗床材	・	・薄膜流しのべ仕上げ(※平滑・防滑)
	・	・厚膜流しのべ仕上げ(※平滑・防滑)
・樹脂モルタル仕上げ(※平滑・防滑)	・	・
	・	・

薄膜型塗床材	・エポキシ樹脂系塗床材			
	・薄膜流しのべ仕上げ(※平滑)			
8 フローリング張り	・単層フローリング (19.5.2~19.5.6) (表19.5.1~19.5.6)			
	品名	樹種	厚さ(mm)	大きさ(mm)
・フローリングボード1等	※なら	15	幅75 長さ400以上	・乾式 ・釘留め工法(根太張り工法)
・フローリングボード1等	※なら	※15	※303×303	・釘留め工法(直張り工法) ・接着工法

9 ユニットおよびその他工事	・天然木化粧複合フローリング (19.5.2~19.5.5) (表19.5.1~19.5.6)			
	品名	樹種	防湿処理	工法
・複合フローリング	※なら	・行う	・乾式 ・釘留め工法(根太張り工法) ・釘留め工法(直張り工法) ・接着工法	・A種 ・B種 ・C種

10 壁紙張り	・フローリング裏面の緩衝材(接着工法) (19.5.5)			
	※合成樹脂発泡シート			
11 断熱・防露	置の (19.6.2) (表19.6.1)			
	種類	・A種	・B種	・C種
12 その他	・衝撃緩和型畳量畳表区分 (19.6.2)			
	種類	・C1	・C2	

13 フリーアクセスフロア	種類 (19.7.2) (表19.7.1)			
	種類	JISの記号	厚さ(mm)、規格等	
・硬質木毛セメント板	HW	・15	・20	・25
	・普通木毛セメント板	NW	・15	・20
・けい酸カルシウム板		タイプ2(無石綿)	・5	・6
		・8	・10	・12
・ロックウール化粧吸音板	DR	※フラットタイプ(※9・12)		
		・凹凸タイプ(※12・15・19)		
・ロックウール化粧吸音板(軒天井用)		※フラットタイプ((個)不燃)		
		・凹凸タイプ(※12・15)		
・せっこうボード	GB-R	12.5(不燃)		
	GB-NC	9.5(不燃)		
・不燃積層せっこうボード		化粧無(下地張り用)		
		化粧有(トラバーチン模様)		
・シーリングせっこうボード	GB-S	12.5(不燃)		
	GB-F	・12.5(不燃)	・15.0(不燃)	・21.0(不燃)
・強化せっこうボード	GB-L	9.5		
	GB-D	12.5(不燃)	幅440mm程度	
・化粧せっこうボード(木目)		JIS K 6903による	厚さ1.2	
・メラミン樹脂化粧板	MDF			
・パーティクルボード				

14 断熱材打込み工法	種類 (19.9.2) (19.9.3)			
	種類	施工箇所	厚さ(mm)	品質等
・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温板	・1号	・	・25	特定フロンを使用しないもの
	・2号	・	・	・
・押出法ポリスチレンフォーム保温板	※2種b	※一般部	・25	特定フロンを使用しないもの
	※3種b(スキン層付)	◎接合部分	◎25	◎50
・硬質ウレタンフォーム保温板	・1種	・	・25	特定フロンを使用しないもの
	・2種2号	・	・	・
・フェノールフォーム保温板	・1種	号	・25	特定フロンを使用しないもの
	・	・	・	・

15 断熱材現場発泡工法	種類 (19.9.3)			
	種類	施工箇所	厚さ(mm)	品質等
・吹付け硬質ウレタンフォーム	・A種1 ・A種1H	※一般部	・15	特定フロンを使用しないもの 難燃性 ※3級・2級

16 フリーアクセスフロア	種類 (20.2.2)			
	種類	化粧加工の方法	表面性能	防虫処理
・張付け(・A種 ※B種)	・	・	・	・
	・	・	・	・
・特殊加工化粧合板	・オーバーレイ	・	・	・
	・プリント	・塗装	・	・
・その他(・難燃処理・防炎処理)				

17 ユニットおよびその他工事	軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材 (19.7.2) (表9.7.1)			
	・アクリル系 ・ウレタン系 ・ジョイントコンパウンド せっこうボードの目地工法等 (表19.7.5)			
目地工法の種類	せっこうボードの目地工法の種類			
	・縫目処理工法	・テーパーエッジ、ペベルエッジ		
・突付け工法				
・目透し工法	ペベルエッジ、スクエアエッジ			

18 フリーアクセスフロア	目地工法の種類 (表19.7.5)			
	種類	厚さ(mm)	接着の程度	
・特殊加工化粧合板	・	・5.5	・1類	・2類
・	・	・	・	・

19 断熱・防露	種類 (19.9.2) (19.9.3)			
	種類	施工箇所	厚さ(mm)	品質等
・吹付け硬質ウレタンフォーム	・A種1 ・A種1H	※一般部	・15	特定フロンを使用しないもの 難燃性 ※3級・2級

20 ユニットおよびその他工事	種類 (20.2.2)			
	施工箇所	構法	仕上り高(mm)	適用地震時水耐力
・パネル工法	・	・	・1.0G	・3000N
	・	・	・0.6G	・5000N
・パネル工法	・	・	・1.0G	・3000N
	・	・	・0.6G	・5000N
・パネル工法	・	・	・1.0G	・3000N
	・	・	・0.6G	・5000N

表面仕上げ材の品質・規格等は、「標仕」19章内装工事によるスロープおよびポーター ※製造所の標準仕様 図面によるコンセント等の取付け対応 ※製造所の標準仕様(コンセント本体は別途設備工事) ・コンセントの箇所数は図面による

配線用取り出しパネル
 配線取り出し開口: パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1か所以上
 フリーアクセスフロア全表面積に対する設置割合 ※20~30パーセント

空調用吹き出しパネル
 ※無し
 ・あり(※固定式 ・可変式 : 施工箇所は図面による)

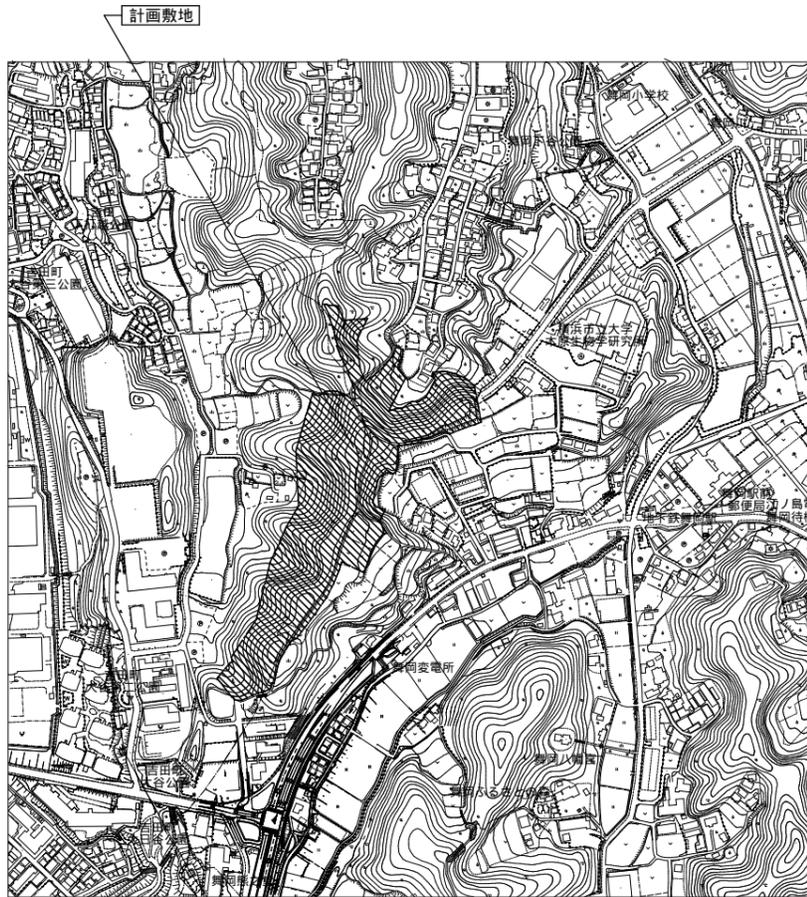
横浜市建築局		工事名 (仮称)舞岡墓園納骨堂その他新築工事	
年月日 R7.03	縮尺 NO.SCALE	図面名称 建築工事特記仕様書(その6)	
設	計	施設番号	棟番号
者		完成年度	図面種類
有限会社 協和建築設計事務所		固有番号	固有番号
1級建築士登録 第282011号 児嶋 為一			A-07

2 可動間仕切 (20.2.3)	<table border="1"> <tr> <th>構造形式</th> <th>パネル部の総厚さ(mm)</th> <th>表面材種厚さ(mm)</th> <th>表面仕上げ</th> <th>不燃材の認定</th> </tr> <tr> <td>・パネル式 ・スタッド式 ・スタッドパネル式</td> <td>・</td> <td>※鋼板 ※0.6 ・0.8</td> <td>※焼付塗装</td> <td>・あり</td> </tr> </table> <p>品質 JIS A 6512によるもの ・製造所の仕様による ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p>	構造形式	パネル部の総厚さ(mm)	表面材種厚さ(mm)	表面仕上げ	不燃材の認定	・パネル式 ・スタッド式 ・スタッドパネル式	・	※鋼板 ※0.6 ・0.8	※焼付塗装	・あり	14 カーテンレール (20.2.16)	<p>レール及びブラケットの強さ ※10-90 (20.2.16)</p> <p>材種 ※アルミニウム製 ・ステンレス製</p> <p>形式 ・片引き ・引分け(暗幕用は300mm以上の召合せ重ね掛け)</p> <p>仕上げ ※アルマイト・図面による ()</p> <p>形状 ※角形 ・図面による ()</p> <p>フック (ひるかん) ※鋼製 ・樹脂製</p>	22 1 盛土に用いる材料 (22.2.3) (表3.2.1)	<p>・A種 ※B種 ・C種 ・D種 (22.2.3) (表3.2.1)</p>	23 1 植木の植栽基盤整備 (23.2.2) (23.2.3) (表23.2.1) (表23.2.2)	<p>芝および地被類 (23.2.2) (23.2.3) (表23.2.1) (表23.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>適用</th> <th>有効土層の厚さ(cm)</th> <th>工法</th> <th>整備範囲</th> </tr> <tr> <td>※行う</td> <td>※20</td> <td>※B種</td> <td>※図面による</td> </tr> <tr> <td>・行わない</td> <td>・30</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>樹木 (23.2.2) (23.2.3) (表23.2.1) (表23.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>樹木の樹高(m)</th> <th>有効土層の厚さ(cm)</th> <th>工法</th> <th>整備範囲</th> </tr> <tr> <td>・12以上</td> <td>※100</td> <td>※A種</td> <td>※図面による</td> </tr> <tr> <td>・7以上~12未満</td> <td>※80</td> <td>※A種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・3以上~7未満</td> <td>※60</td> <td>※A種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・3未満</td> <td>※50</td> <td>※A種</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高から有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。</p>	適用	有効土層の厚さ(cm)	工法	整備範囲	※行う	※20	※B種	※図面による	・行わない	・30	・	・	樹木の樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	工法	整備範囲	・12以上	※100	※A種	※図面による	・7以上~12未満	※80	※A種	・	・3以上~7未満	※60	※A種	・	・3未満	※50	※A種	・					
構造形式	パネル部の総厚さ(mm)	表面材種厚さ(mm)	表面仕上げ	不燃材の認定																																																		
・パネル式 ・スタッド式 ・スタッドパネル式	・	※鋼板 ※0.6 ・0.8	※焼付塗装	・あり																																																		
適用	有効土層の厚さ(cm)	工法	整備範囲																																																			
※行う	※20	※B種	※図面による																																																			
・行わない	・30	・	・																																																			
樹木の樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	工法	整備範囲																																																			
・12以上	※100	※A種	※図面による																																																			
・7以上~12未満	※80	※A種	・																																																			
・3以上~7未満	※60	※A種	・																																																			
・3未満	※50	※A種	・																																																			
3 移動間仕切(上吊パネル式間仕切) (20.2.4)	<table border="1"> <tr> <th>遮音性能による区分</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表面材</th> <th>表面仕上げ</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・一般タイプ</td> <td>・</td> <td>※鋼板</td> <td>※焼付塗装 ・壁紙張り</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・遮音タイプ</td> <td>・</td> <td>※鋼板</td> <td>※焼付塗装 ・壁紙張り</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>・製造所の仕様による</p>	遮音性能による区分	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	施工箇所	・一般タイプ	・	※鋼板	※焼付塗装 ・壁紙張り	・	・遮音タイプ	・	※鋼板	※焼付塗装 ・壁紙張り	・	15 プレキャストコンクリート工事 (20.3.2) (20.3.3)	<p>補強鉄線の径 (mm) (20.3.2)</p> <p>コンクリートの設計基準強度 (20.3.3)</p> <p>※「標仕」20.3.3による</p> <p>・設計基準強度 F_c (N/mm²)</p> <p>配筋 ※図面による (20.3.4)</p> <p>取付け方法 ※図面による</p>	2 路床材料 (22.2.2) (22.2.3) (表22.2.1)	<p>・凍上抑制層 厚さ mm</p> <p>・透水性舗装 フィルター層の厚さ0.5mm</p> <p>※添加材料による路床安定処理</p> <p>種類 ※高炉セメントB種 ・普通ポルトランドセメント</p> <p>・フライアッシュセメントB種</p> <p>・生石灰 () ・消石灰 ()</p> <p>添加量 kg/m³ (目標CBR ※5以上)</p>	2 植込み用土 (23.2.3)	<p>・現場発生土の良質土 (23.2.3)</p> <p>・客土(・黒土 ・真砂土)</p>																																
遮音性能による区分	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	施工箇所																																																		
・一般タイプ	・	※鋼板	※焼付塗装 ・壁紙張り	・																																																		
・遮音タイプ	・	※鋼板	※焼付塗装 ・壁紙張り	・																																																		
4 トイレブース (20.2.5)	<table border="1"> <tr> <th>表面仕上げ材</th> <td>・メラミン樹脂系化粧板(アルミ製コーナーエッジ付き) ・ポリエステル樹脂系化粧板(アルミ製コーナーエッジ付き)</td> </tr> <tr> <th>脚部</th> <td>※幅木タイプ ・足金物タイプ</td> </tr> </table> <p>・製造所の仕様による ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p>	表面仕上げ材	・メラミン樹脂系化粧板(アルミ製コーナーエッジ付き) ・ポリエステル樹脂系化粧板(アルミ製コーナーエッジ付き)	脚部	※幅木タイプ ・足金物タイプ	16 間知石およびコンクリート間知ブロック積み (20.4.2)	<p>間知石の材種 ・間知石 (20.4.2)</p> <p>・コンクリート間知ブロック (種類及び質量区分 ※図面による)</p> <p>地業 ※砂地業 (4.6.3)</p> <p>積み方 ※谷積み ・布積み (20.4.3)</p> <p>・目塗りを行う</p> <p>伸縮調整目地</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <td>・エラストイト</td> </tr> <tr> <th>厚さ(mm)</th> <td>・10</td> </tr> </table>	材質	・エラストイト	厚さ(mm)	・10	3 路床土の支持力比(CBR)試験 (22.2.5)	<p>・行う (※乱した土 ・乱さない土) (22.2.5)</p>	3 土壌改良材 (23.2.2) (23.2.3) (23.2.4)	<p>適用する (23.2.2) (23.2.3) (23.2.4)</p> <p>施工箇所 ※図面による</p> <p>土壌改良材 ※下水汚泥コンポスト ・バーク堆肥</p>																																							
表面仕上げ材	・メラミン樹脂系化粧板(アルミ製コーナーエッジ付き) ・ポリエステル樹脂系化粧板(アルミ製コーナーエッジ付き)																																																					
脚部	※幅木タイプ ・足金物タイプ																																																					
材質	・エラストイト																																																					
厚さ(mm)	・10																																																					
5 手すり (20.2.6)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材料の種類</th> <th>表面処理</th> </tr> <tr> <td>手すり</td> <td>・ステンレス SUS304 ・鉄 ・アルミ</td> <td>・HL程度 ・鏡面程度 ・亜鉛めっき 外部 ※C種</td> </tr> </table>	種類	材料の種類	表面処理	手すり	・ステンレス SUS304 ・鉄 ・アルミ	・HL程度 ・鏡面程度 ・亜鉛めっき 外部 ※C種	17 その他	21 ①屋外雨水排水工事 (21.2.1) (21.2.2)	7 コンクリート舗装 (22.5.2) (22.5.3)	<p>コンクリートの種類 (22.5.2) (22.5.3)</p> <p>※普通コンクリート 厚さ ※70mm mm</p> <p>※「標仕」22.5.5による</p> <p>・寒冷期の施工 ・早強セメントを用いる</p> <p>注入目地材料 (22.5.3) (表22.5.2)</p> <p>※低弾性タイプ ・高弾性タイプ</p> <p>溶接金網 (22.5.3) (22.5.4)</p> <p>※あり 径 ※6mm mm 網目寸法 ※150mm mm</p> <p>・無し</p>	4 樹木 (23.3.2)	<p>樹木の樹種、寸法、株立数及び刈込みの並びに数量 (23.3.2)</p> <p>※図面による</p>																																									
種類	材料の種類	表面処理																																																				
手すり	・ステンレス SUS304 ・鉄 ・アルミ	・HL程度 ・鏡面程度 ・亜鉛めっき 外部 ※C種																																																				
6 階段滑り止め (20.2.7)	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <td>○ステンレスSUS304</td> </tr> <tr> <th>形状</th> <td>ビニルタイヤ (○有 ・無)</td> </tr> <tr> <th>幅(mm)</th> <td>約35mm</td> </tr> <tr> <th>取付け工法</th> <td>※ 接着工法 ・埋込み工法</td> </tr> </table>	材種	○ステンレスSUS304	形状	ビニルタイヤ (○有 ・無)	幅(mm)	約35mm	取付け工法	※ 接着工法 ・埋込み工法	21 ②排水管材料 (21.2.1) (21.2.2)	<p>※図面および横浜市環境創造局「横浜市排水設備要覧」による (21.2.1) (21.2.2)</p> <p>・マンホール側塊</p> <p>○排水柵</p> <p>○柵ふた</p> <p>○グレーチング(ボルト固定 ○有 ・無)</p> <p>※材質、寸法、適用荷重、その他の仕様は図示による</p> <p>○現場打ちコンクリート(※普通コンクリート)</p>	8 カラー舗装 (22.6.2) (22.6.3)	<p>車道部の基層 (22.6.2) (22.6.3)</p> <p>※無し ・あり</p> <p>カラー舗装の種類</p> <p>・加熱系混合物</p> <p>・構成 ・厚さ ・種類</p> <p>・常温系混合物</p> <p>・着色部の下部(・アスファルト舗装・コンクリート舗装)</p> <p>・工法(・ニード工法 ・塗布工法)</p>	5 支柱材 (23.3.2)	<p>※丸太() ・竹 (23.3.2)</p> <p>防腐処理方法は、加圧式防腐処理とする。</p>																																							
材種	○ステンレスSUS304																																																					
形状	ビニルタイヤ (○有 ・無)																																																					
幅(mm)	約35mm																																																					
取付け工法	※ 接着工法 ・埋込み工法																																																					
7 黒板 (20.2.9)	<p>・黒板 JIS S 6007 (20.2.9)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <td>※焼付け</td> </tr> <tr> <th>色</th> <td>※緑</td> </tr> </table>	種類	※焼付け	色	※緑	21 ③排水管の布設 (21.2.2)	<p>・鉄筋コンクリート管 (21.2.1) (21.2.2)</p> <p>・硬質ポリ塩化ビニル管(・VP ・VU)</p> <p>○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管(RS-VU)</p> <p>○塩化ビニル管の基礎指定 ※有 () (21.2.2)</p>	9 透水性アスファルト舗装 (表22.7.1) (表22.7.2)	<p>※再生アスファルト ・ストレートアスファルト (表22.7.1) (表22.7.2)</p> <p>・アスファルト混合物の抽出試験を行う (22.7.6) (22.4.6)</p>	6 幹巻き用材料 (23.3.2)	<p>※幹巻き用テープ ・わら ・こも (23.3.2)</p>																																											
種類	※焼付け																																																					
色	※緑																																																					
8 表示標識 (20.2.11)	<p>・衝突防止表示 (20.2.11)</p> <p>※図面による (市販品 ※ステンレス製 径約30mm)</p> <p>・誘導標識 ・図面による</p> <p>・非常用進入口表示 ・図面による</p> <p>・室名札 ・ピクトグラフ ・案内板</p> <p>形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付形式 (※図面による)</p>	21 ④排水管の地業材料 (21.2.1)	<p>○砂地業の砂 (21.2.1)</p> <p>・シルト ・川砂 ・砕砂</p> <p>※再生クラッシュラン ・切込砂利 ・切込碎石</p> <p>・粒度</p> <p>○C-40 ・C-30 ・C-20</p>	10 ブロック系舗装 (22.8.2) (22.8.3) (表22.8.1)	<p>・コンクリート平板舗装 (22.8.2) (22.8.3) (表22.8.1)</p> <p>(施工箇所：図面による)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>目地材</th> </tr> <tr> <td>・普通平板(N)</td> <td>・300角</td> <td>※60</td> <td>※砂</td> </tr> <tr> <td>・カラー平板(G)</td> <td></td> <td></td> <td>・モルタル</td> </tr> <tr> <td>・流出平板(W)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・擬石平板(S)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・インターロッキングブロック舗装(22.8.2) (22.8.3) (表22.8.1)</p> <p>(施工箇所：図面による)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>色彩及び表面加工等</th> </tr> <tr> <td>※標準ブロック</td> <td>車道部 ※80</td> <td>※標準品</td> </tr> <tr> <td>・透水性ブロック</td> <td>歩道部 ※60</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・誘導、注意喚起用ブロック</td> <td></td> <td>誘導、注意喚起用は黄色とする</td> </tr> <tr> <td>・植生ブロック</td> <td>※80 ・100</td> <td></td> </tr> </table> <p>製造所 ※監督員の承諾する製造所 (22.8.2) (22.8.3) (表22.8.1)</p> <p>・舗石舗装 (22.8.2) (22.8.3) (表22.8.1)</p> <p>(施工箇所：図面による)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工方法</th> <th>基層</th> </tr> <tr> <td>※小舗石(花こう岩)</td> <td>※80-100</td> <td></td> <td>※コンクリート舗装</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・アスファルト舗装</td> </tr> </table>	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	・普通平板(N)	・300角	※60	※砂	・カラー平板(G)			・モルタル	・流出平板(W)				・擬石平板(S)				種類	厚さ(mm)	色彩及び表面加工等	※標準ブロック	車道部 ※80	※標準品	・透水性ブロック	歩道部 ※60	・	・誘導、注意喚起用ブロック		誘導、注意喚起用は黄色とする	・植生ブロック	※80 ・100		種類	厚さ(mm)	施工方法	基層	※小舗石(花こう岩)	※80-100		※コンクリート舗装				・アスファルト舗装	7 新植樹木の枯補償期間 (23.3.4)	<p>引渡しの日から ※1年 年 (23.3.4)</p>
種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材																																																			
・普通平板(N)	・300角	※60	※砂																																																			
・カラー平板(G)			・モルタル																																																			
・流出平板(W)																																																						
・擬石平板(S)																																																						
種類	厚さ(mm)	色彩及び表面加工等																																																				
※標準ブロック	車道部 ※80	※標準品																																																				
・透水性ブロック	歩道部 ※60	・																																																				
・誘導、注意喚起用ブロック		誘導、注意喚起用は黄色とする																																																				
・植生ブロック	※80 ・100																																																					
種類	厚さ(mm)	施工方法	基層																																																			
※小舗石(花こう岩)	※80-100		※コンクリート舗装																																																			
			・アスファルト舗装																																																			
9 タラップ (20.2.12)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材料の種類</th> <th>表面処理</th> </tr> <tr> <td>タラップ</td> <td>※ステンレス SUS304 ・鉄</td> <td>※研磨なし ・亜鉛めっき 内外部 ※C種</td> </tr> </table>	種類	材料の種類	表面処理	タラップ	※ステンレス SUS304 ・鉄	※研磨なし ・亜鉛めっき 内外部 ※C種	21 ⑤街きよ、縁石及び側溝 (21.3.1) (表21.3.1)	<p>・プレキャスト製品 (21.3.1) (表21.3.1)</p> <p>・縁石 ・L型側溝(・無筋 ・有筋)</p> <p>・U型側溝 ・U型側溝ふた</p> <p>・現場打ちコンクリート (※普通コンクリート)</p>	11 砂利敷き (22.9.2) (表22.9.1)	<p>・通路 ※A種 ・B種 (22.9.2) (表22.9.1)</p> <p>・建物周囲 ・A種 ※B種</p>	8 移植樹木の枯損処置 (23.3.6)	<p>引渡しの日から ※1年 年 (23.3.6)</p>																																									
種類	材料の種類	表面処理																																																				
タラップ	※ステンレス SUS304 ・鉄	※研磨なし ・亜鉛めっき 内外部 ※C種																																																				
10 煙突ライニング (20.2.13)	<p>煙突用成形ライニング材 (20.2.13)</p> <p>安全使用温度 ※650℃</p> <p>製造所 評価名簿による</p> <p>キャスト耐火材 (20.2.13)</p> <p>安全使用温度 ※400℃</p> <p>製造所 監督員の承諾する製造所</p> <p>工法 ※図面による (20.2.13)</p>	21 ⑥その他	6 その他	12 その他	11 その他	9 芝張り (23.4.2)	<p>種類 ※コウライシバ ・ノシバ (23.4.2)</p> <p>吹付けは種用種子</p> <p>・種子の種類</p> <p>※洋芝類</p> <p>・種子の量 ()</p>																																															
11 ブラインド (20.2.14)	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>種類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラットの幅(mm)</th> <th>ヘッドボックス、ボトムレールの材質</th> </tr> <tr> <td>・横型</td> <td>※ギア式 ・コード式 ・操作棒式</td> <td>※アルミニウム合金製</td> <td>※25</td> <td>※鋼製</td> </tr> <tr> <td>・縦型</td> <td>・1本操作コード ※2本操作コード</td> <td>・アルミスラット ・クロススラット</td> <td>・</td> <td>・アルミニウム合金製</td> </tr> </table>	形式	種類	スラットの材質	スラットの幅(mm)	ヘッドボックス、ボトムレールの材質	・横型	※ギア式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25	※鋼製	・縦型	・1本操作コード ※2本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・	・アルミニウム合金製	21 ⑦その他	21 ⑦その他	12 その他	12 その他	10 芝張り (23.4.3)	<p>芝張りの工法 (23.4.3)</p> <p>・目地張り ・べた張り</p>																																
形式	種類	スラットの材質	スラットの幅(mm)	ヘッドボックス、ボトムレールの材質																																																		
・横型	※ギア式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25	※鋼製																																																		
・縦型	・1本操作コード ※2本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・	・アルミニウム合金製																																																		
12 ロールスクリーン (20.2.15)	<p>※防炎性能表示あり (20.2.15)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>操作方法</th> <th>幅</th> <th>高さ</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	操作方法	幅	高さ	その他						21 ⑦その他	21 ⑦その他	12 その他	12 その他	10 芝張り (23.4.4)	<p>芝張りの工法 (23.4.4)</p> <p>・目地張り ・べた張り</p>																																					
施工箇所	操作方法	幅	高さ	その他																																																		
13 カーテン (20.2.16) (表20.2.1)	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形式</th> <th>装置</th> <th>生地の種類、品質、特殊加工等</th> <th>ひだの種類</th> </tr> <tr> <td></td> <td>片引 引分</td> <td>電動 ひも 手引</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>・図面による</p>	施工箇所	形式	装置	生地の種類、品質、特殊加工等	ひだの種類		片引 引分	電動 ひも 手引				・	・	・	・		・	・	・	・		・	・	・	・	21 ⑦その他	21 ⑦その他	12 その他	12 その他	10 芝張り (23.4.5)	<p>芝張りの工法 (23.4.5)</p> <p>・目地張り ・べた張り</p>																						
施工箇所	形式	装置	生地の種類、品質、特殊加工等	ひだの種類																																																		
	片引 引分	電動 ひも 手引																																																				
	・	・	・	・																																																		
	・	・	・	・																																																		
	・	・	・	・																																																		

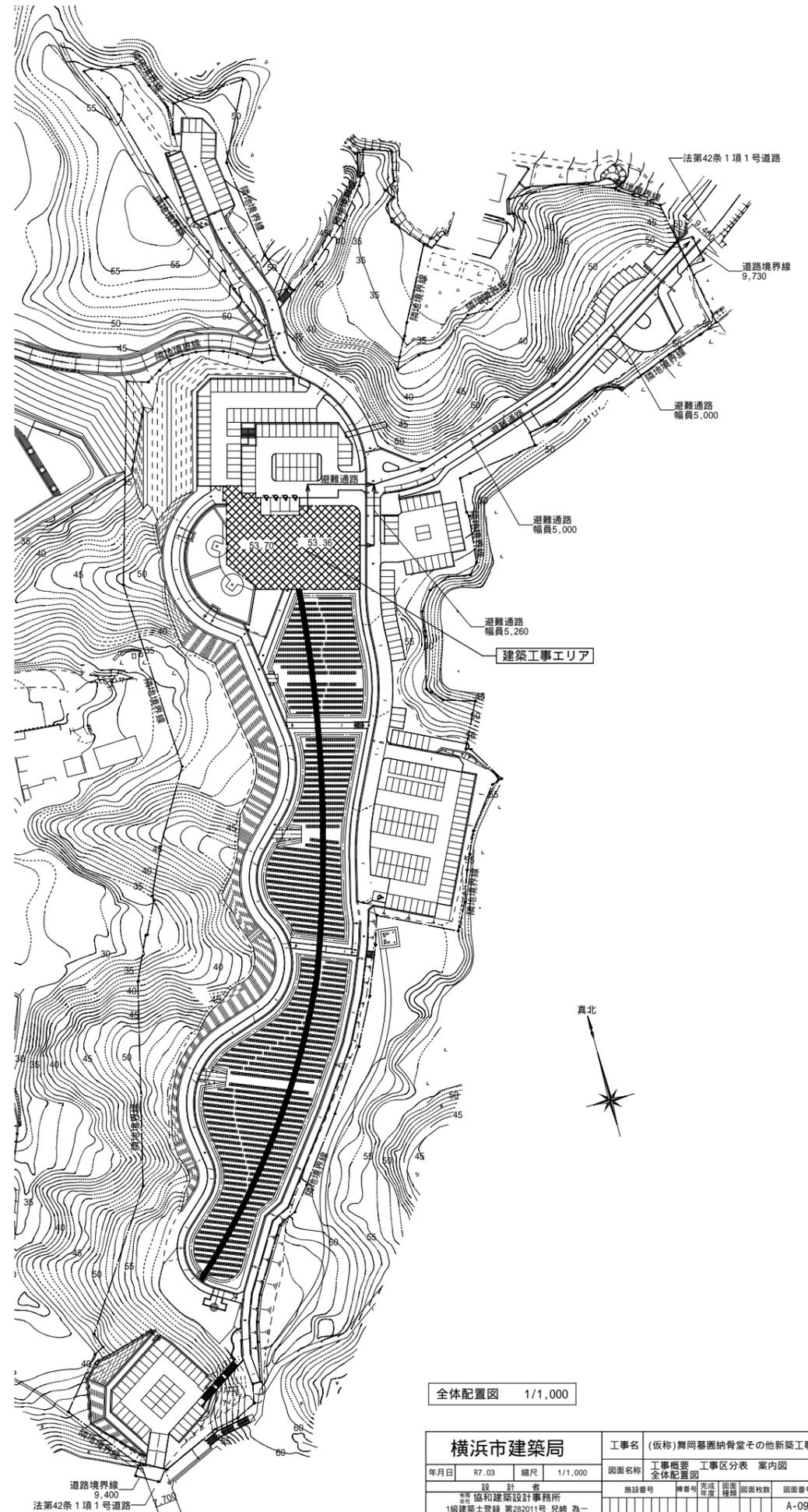
工事概要	敷地概要
納骨堂新築工事	所在地 戸塚区吉田町1653番1ほか
上記に伴う電気設備工事	主要用途 納骨堂
上記に伴う衛生設備工事	用途地域 市街化調整区域
上記に伴う空調設備工事	防火地域 指定無し
	高度地区
	敷地面積 46,920.93㎡
	建築面積 406.03㎡
	延床面積 593.98㎡
	建ぺい率 0.86% < 50.00%
	容積率 1.27% < 80.00%

建物概要		構造	耐火性能	建築面積 (㎡)	床面積 (㎡)			最高高さ (m)	最高軒高さ (m)
建物用途					地階	1階	延床面積		
納骨堂	納骨堂	鉄筋コンクリート造	耐火建築物	59.63	260.90	33.86	294.76	4.815	4.315
管理棟	管理事務所	鉄骨造	その他	346.40		299.22	299.22	6.641	5.773
合計				406.03			593.98		
敷地面積 (㎡)							容積率 (%)		
				46920.93			0.87		1.27

工事区分表					
工事項目	建築工事	電気設備工事	換気衛生設備工事	別途	備考
(外構工事関係)					
雨水排水経路(U字溝・集水溝)					蓋共
雨水排水最終排出暗渠工事					接続側の雨水井は別途工事
雨水縦工事					
雨水縦槽からU字溝への配管接続工事					
屋外排水工事(汚水系統)					最終接続側の汚水井は別途工事
汚水用化粧蓋			位置確認		樹本体の防臭蓋は空調衛生設備工事
献花台用排水金物(共栓付)及び、オーバーフロー配管					
献花台用給水栓及び給排水配管工事					
(設備配管関係)					
配管、ダクト施工時の下地補強		位置要出	位置要出		
空調換気機器設置用補強工事			位置要出		
点検口取付		位置要出	位置要出		
同上補強					
ベントキャップ(換気用・通気用)					
同上開口部シーリング					
スリーブ入れ(本工事分)					
スリーブ入れ(別途散水設備工事分)					
スリーブ補強工事					
(衛生設備関係)					
給排水配管の新設					
衛生器具類の新設		位置要出			
別途工事直結給水管からの取出し、延長配管工事					
散水設備配管・自動給水ポンプ共					
散水設備受水槽築造					
散水設備用直結給水配管、器具類					
直結給水管引込工事					
量水器築造工事					
基礎系統給水設備(配管、器具とも)					
(空調・換気設備関係)					
EHP空調機器					
空調屋外機コンクリート基礎工事					
空調配管工事(冷媒管・ドレン管)					
空調用二次側配線工事					
空調用屋内機コントローラー用配線					
空調用屋内機コントローラー配線用配管工事					
空調機用一時電源供給					
密付換気扇・有圧換気扇(付属品共)					
同上電源供給					スイッチ共
全熱交換形換気扇					
同上電源供給					
外壁取付ガラリ(給気・排気共)			位置確認		
ドアガラリ等(給気用)			位置確認		
吹出、吸込、給排気口(取付ボックス共)		位置確認			
(電気設備関係)					
照明器具、電灯分電盤、動力制御盤の新設					
埋込照明器具設置用補強工事		位置要出			
配線器具、弱電機器の新設					
非常警報設備の新設					
自動ドア 操作器及び二次側配管配線					
同上用一時電源工事					
散水ポンプ制御盤の新設及び二次側配管配線工事					
同上用一時電源工事					
機械警備機器の取付及び配線工事					
同上配管工事					
事務室組合屋の新設					
電力及び電話引込工事					
(その他)					
消火器					設置位置、数量は所轄消防署との協議とする。
発生源処分					
内外足場及び安全設備					共通仮設
仮設電源設備・同保守					

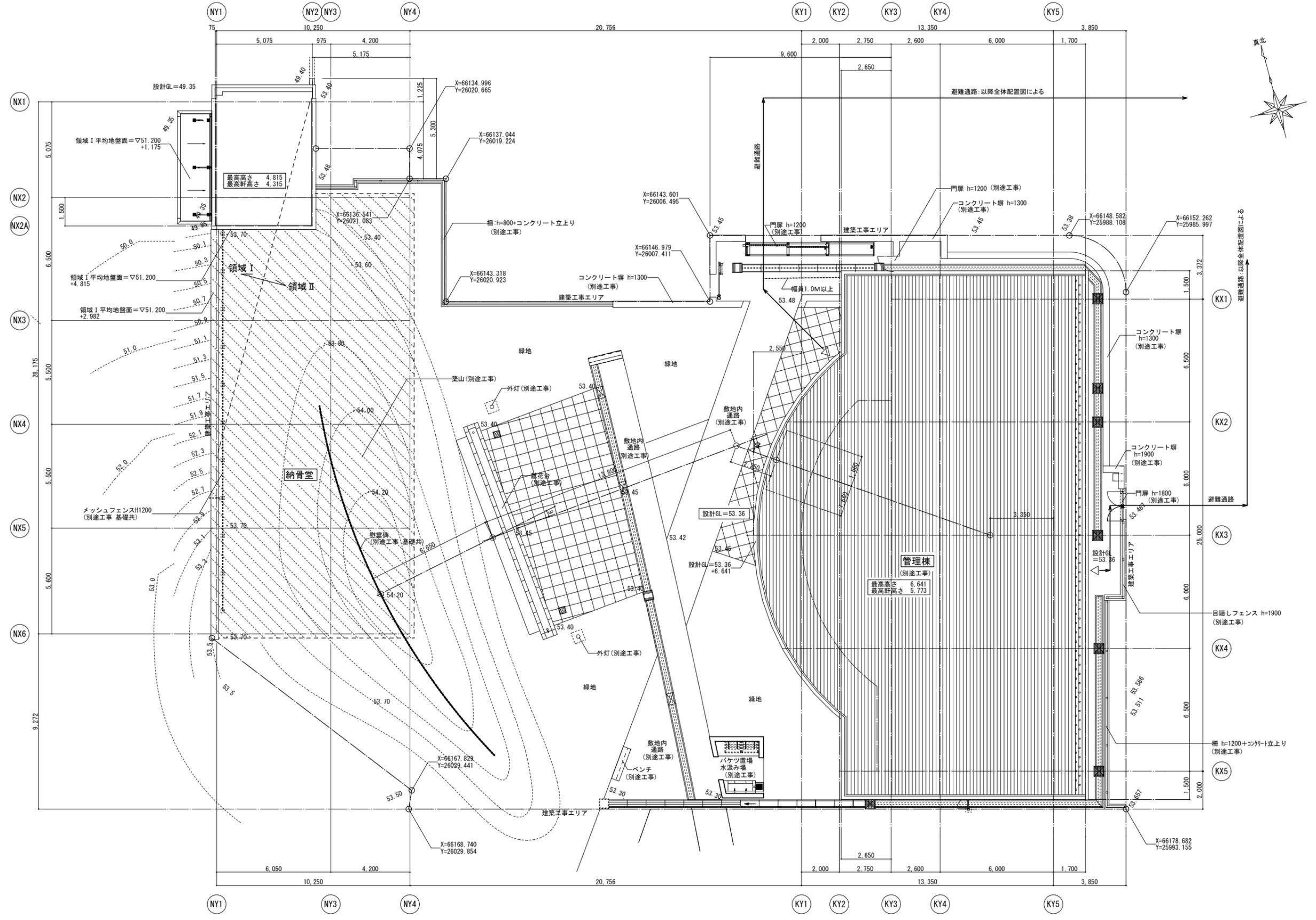


案内図 © 横浜市(加工) 縮尺: NS



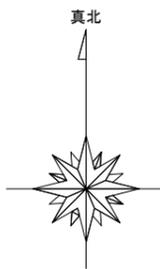
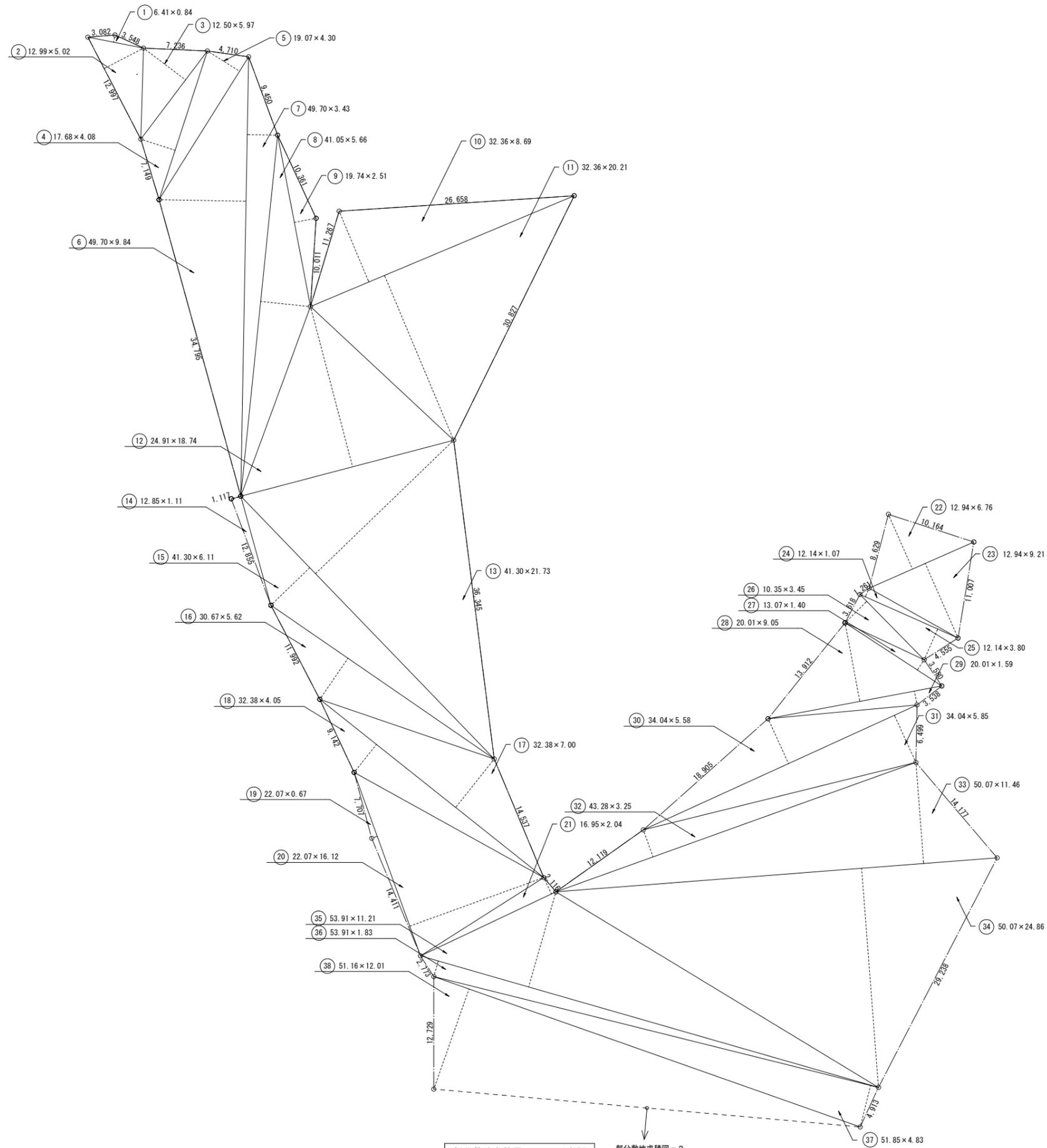
全体配置図 1/1,000

横浜市建築局			工事名 (仮称)舞岡墓園納骨堂その他新築工事		
年月日	R7.03	縮尺	1/1,000	図面名称	工事概要 工事区分表 案内図
設計者	協和建築設計事務所		図面枚数	図面番号	
1級建築士登録 第282011号 児嶋 為一	地設番号	標準	完成	図面種類	図面番号
					A-09



建築工事エリア配置図 1/100

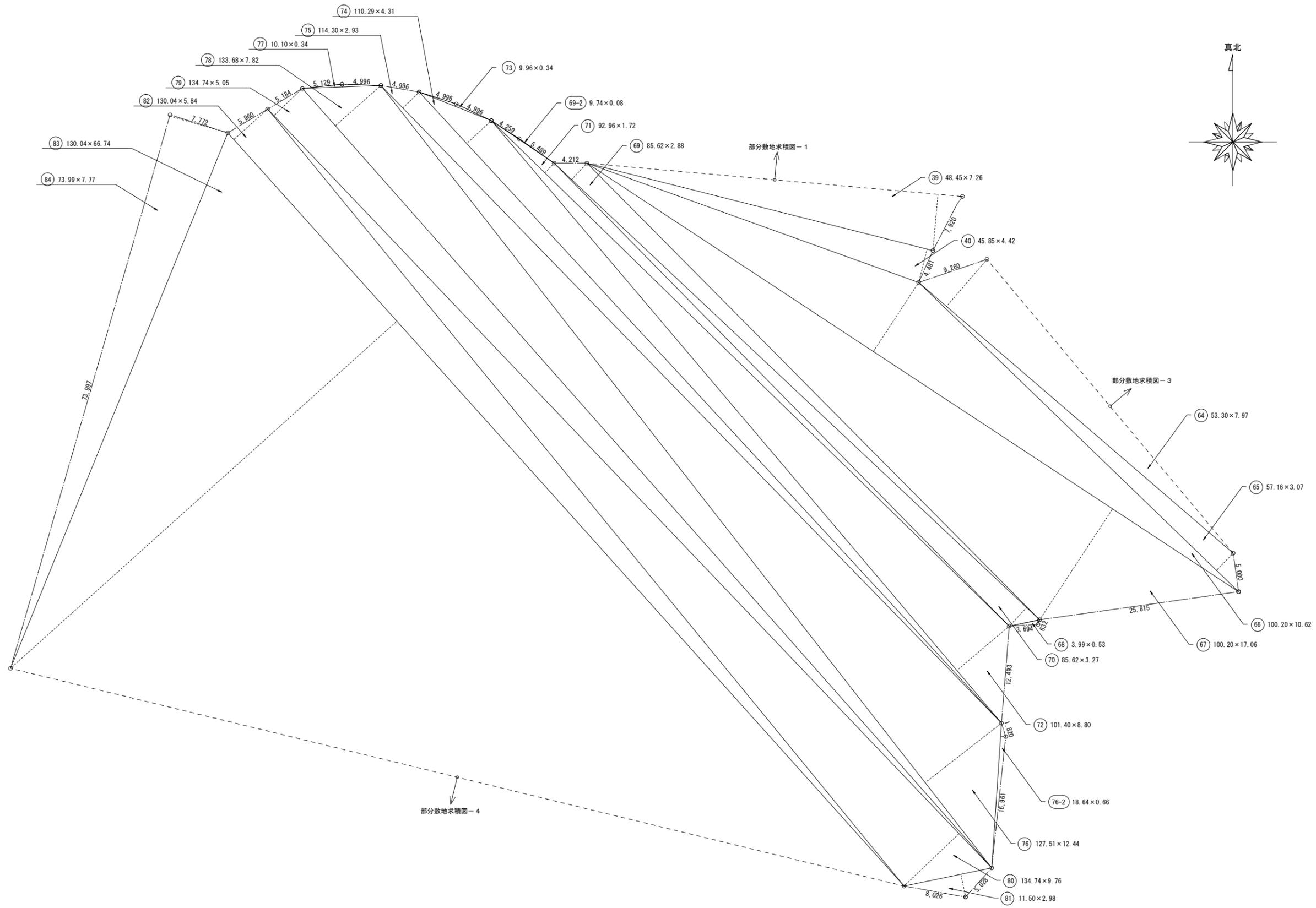
横浜市建築局		工事名 (仮称) 舞岡墓園納骨堂その他新築工事	
年月日	R7.03	縮尺	1/100
図面名称	建築工事エリア配置図		
設計者	協和建築設計事務所	図面枚数	図面番号
1級建築士登録 第282011号 現地 為一			A-10



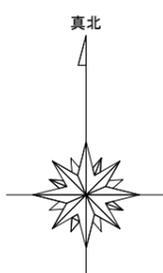
部分敷地求積図-1 1/250

部分敷地求積図-2

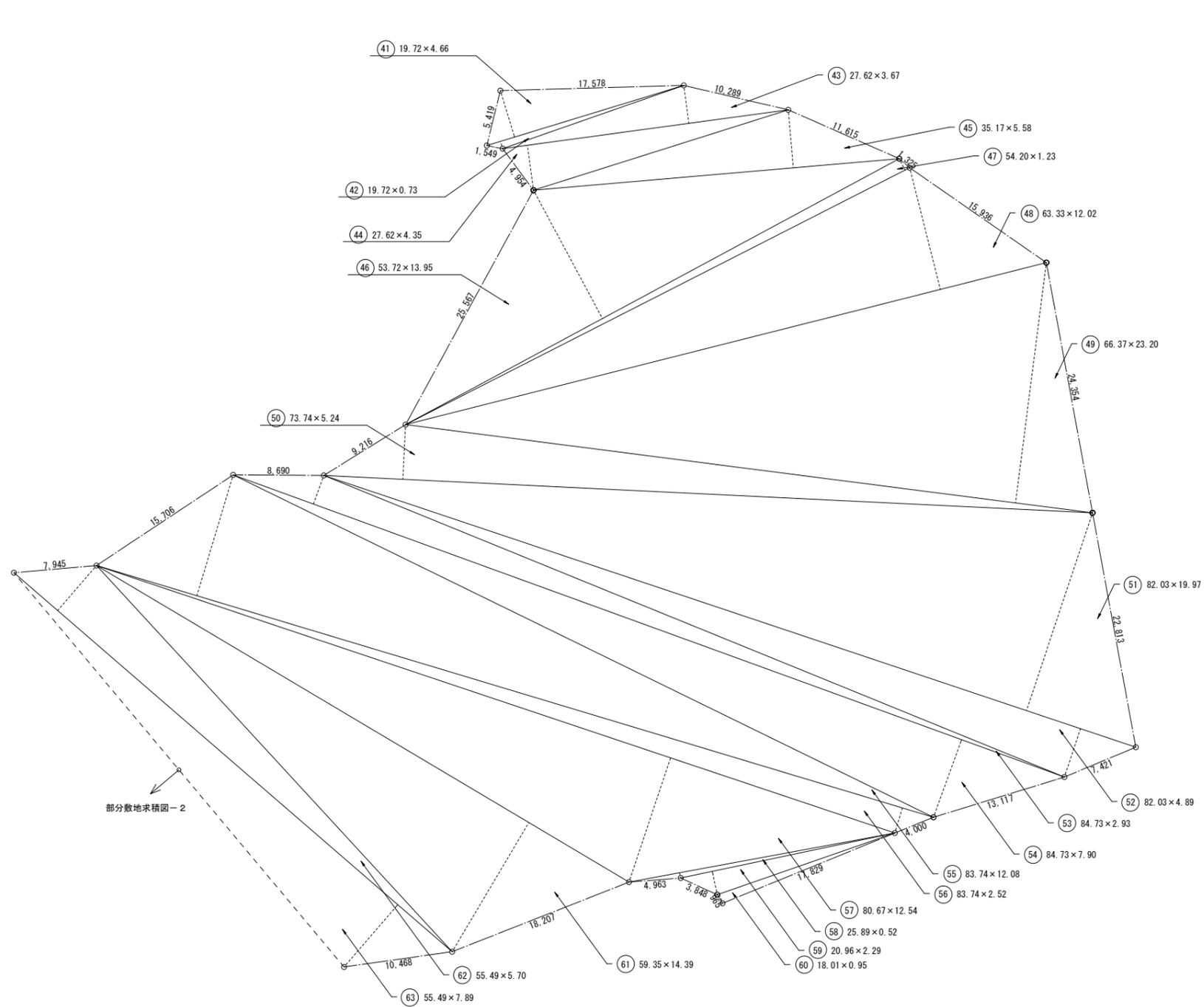
横浜市建築局				工事名	(仮称)舞岡墓園納骨堂その他新築工事			
年月日	R7.03	縮尺	1/250	図面名称	部分敷地求積図-1			
設計者	協和建築設計事務所			施設番号	棟番号	完成年度	図面枚数	図面番号
1級建築士登録 第282011号 野崎 為一								
								A-12



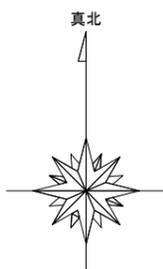
部分敷地求積図-2 1/250



横浜市建築局				工事名	(仮称)舞岡墓園納骨堂その他新築工事			
年月日	R7.03	縮尺	1/250	図面名称	部分敷地求積図-2			
設計者	協和建築設計事務所			地積番号	種別	完成年度	図面枚数	図面番号
1級建築士登録 第282011号 野崎 為一								A-13

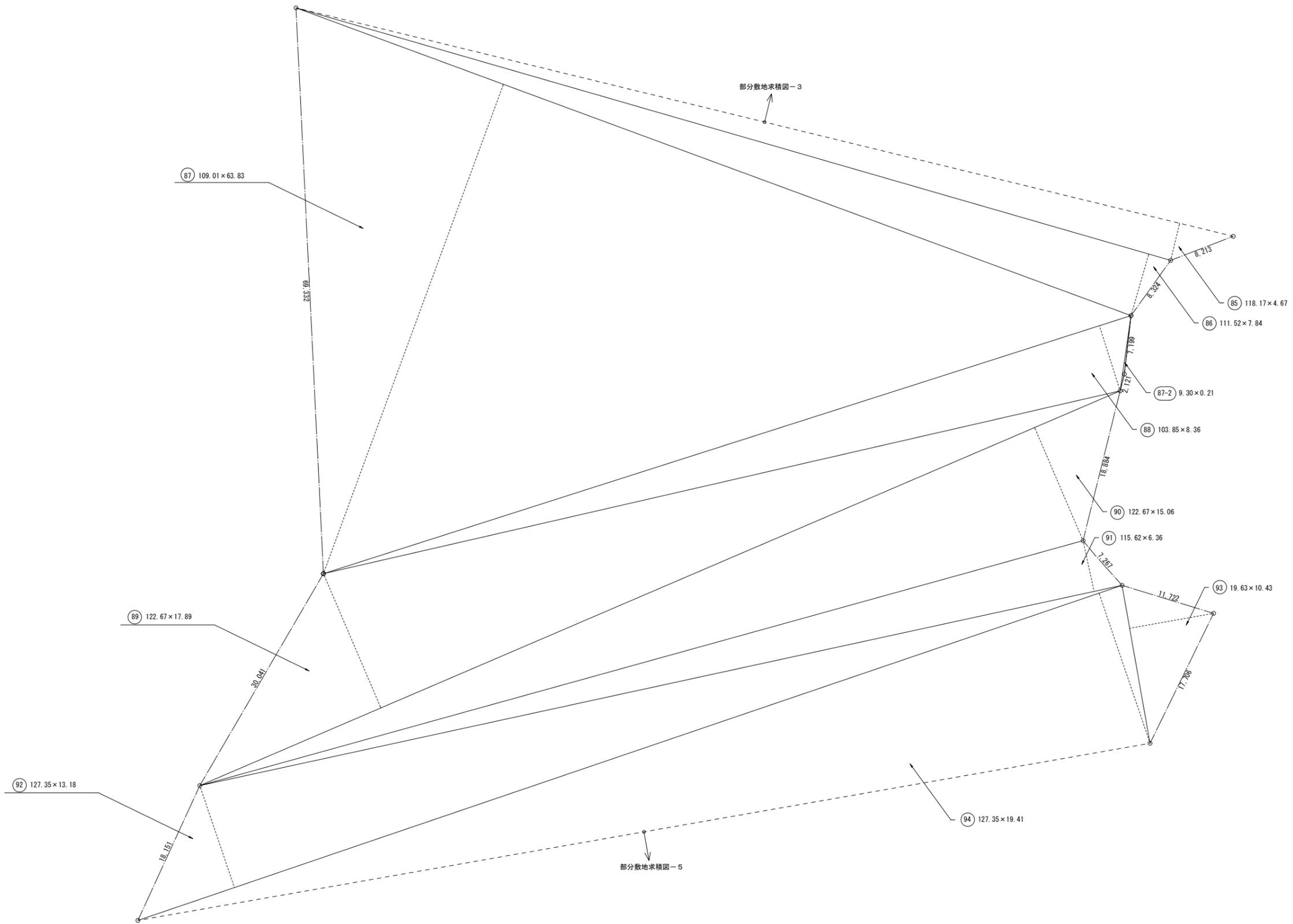
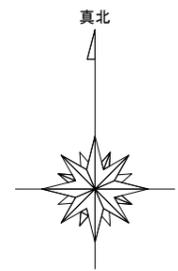


部分敷地積図-3 1/250



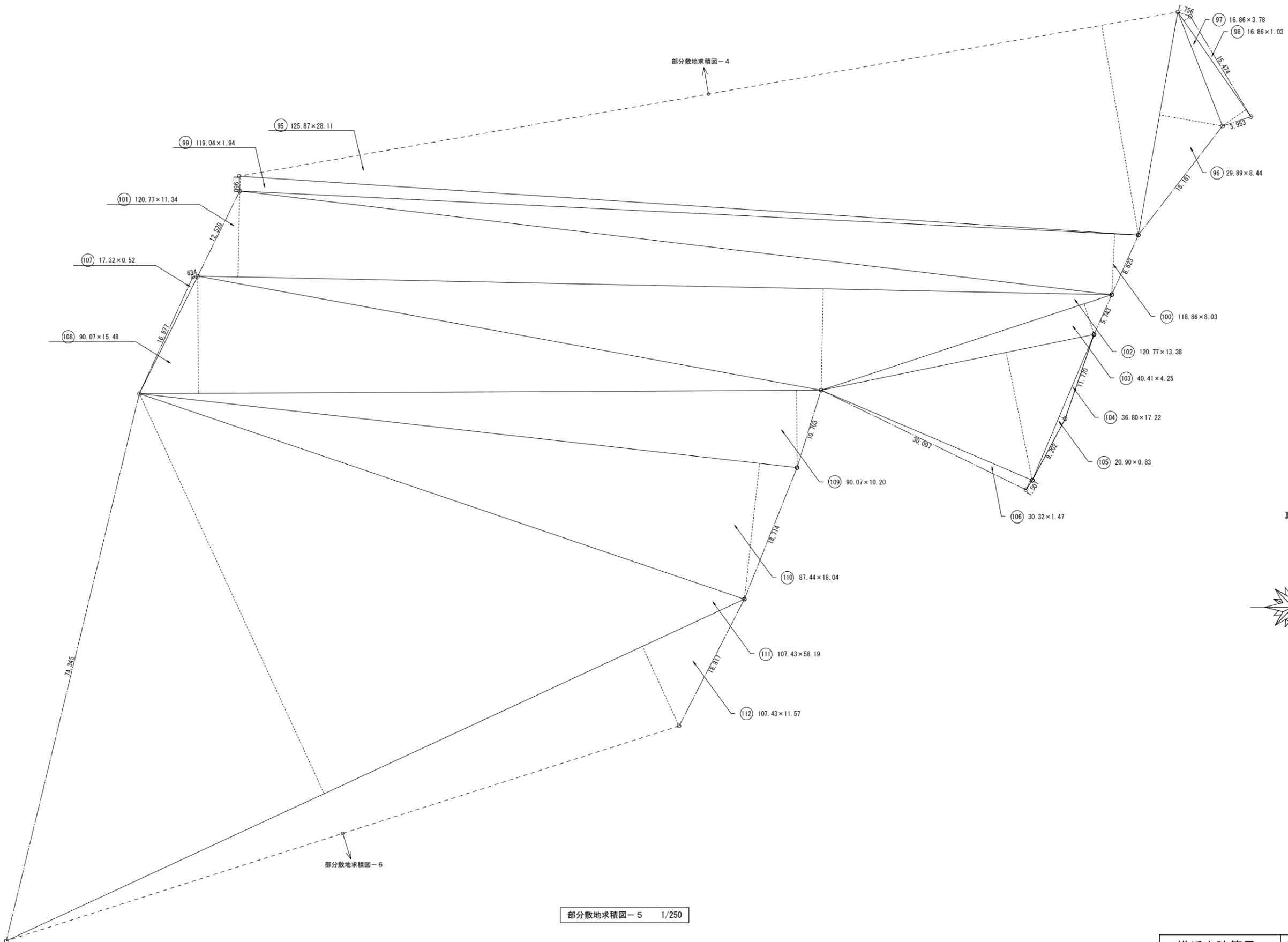
部分敷地積図-2

横浜市建築局				工事名 (仮称) 舞岡墓園納骨堂その他新築工事			
年月日	R7.03	縮尺	1/250	図面名称 部分敷地積図-3			
設計者	協和建築設計事務所			施設番号	種別	図面枚数	図面番号
1級建築士登録 第282011号 野崎 為一							A-14



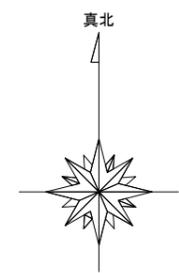
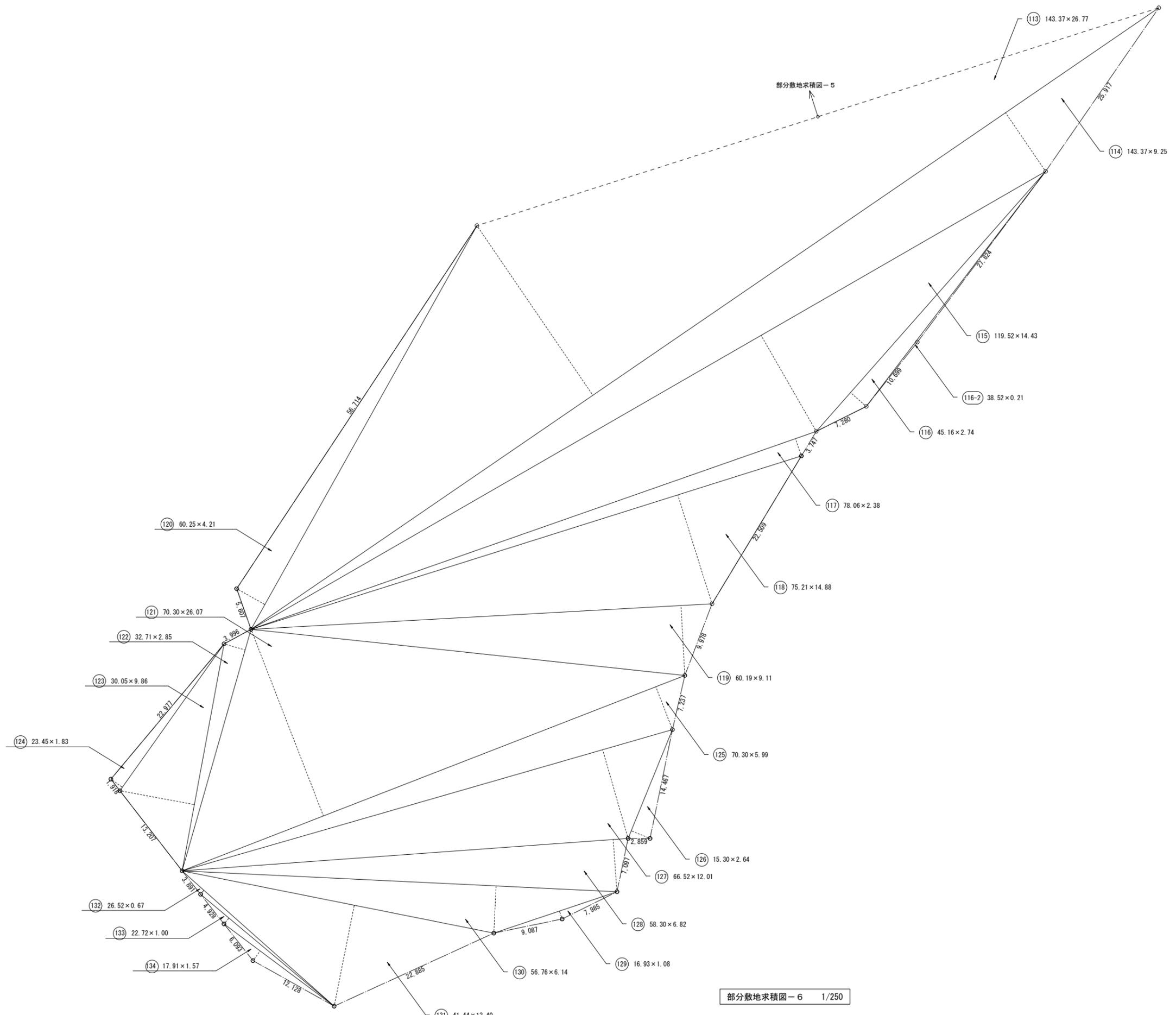
部分敷地求積図-4 1/250

横浜市建築局				工事名 (仮称) 舞岡墓園納骨堂その他新築工事			
年月日	R7.03	縮尺	1/250	図面名称	部分敷地求積図-4		
設計者	協和建築設計事務所			地積番号	種別	完成年度	図面枚数
1級建築士登録 第282011号 野崎 為一				図面種類	図面枚数	図面番号	
						A-15	



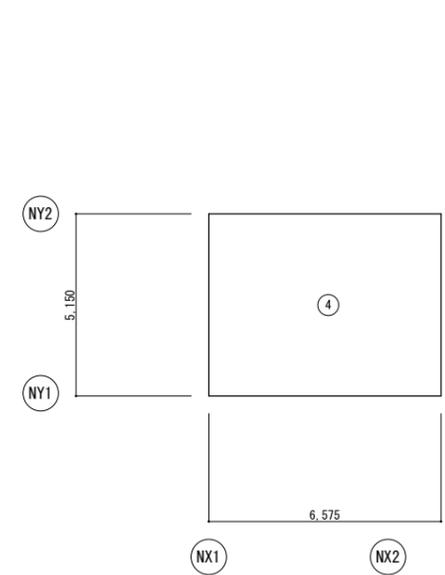
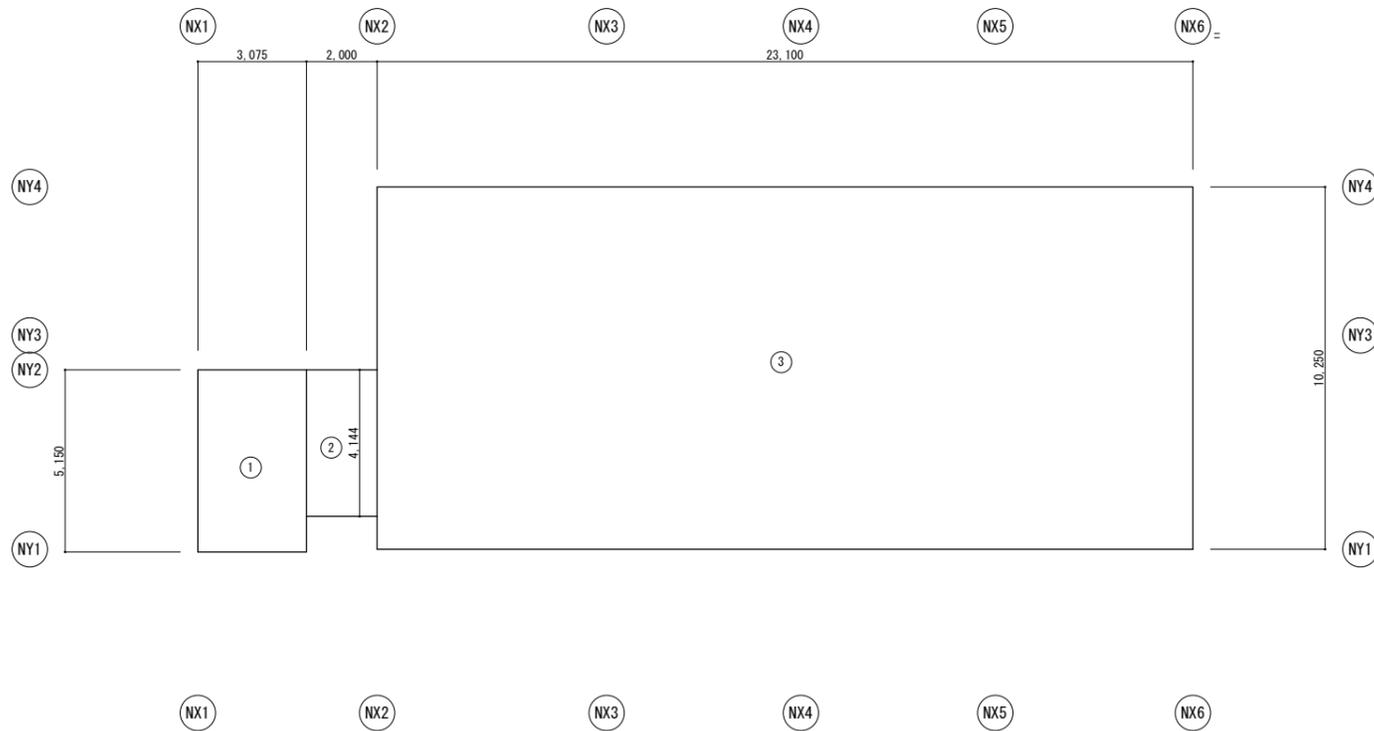
部分敷地求積図-5 1/250

横浜市建築局				工事名 (仮称)舞岡墓園納骨堂その他新築工事			
年月日	R7.03	縮尺	1/250	図面名称	部分敷地求積図-5		
設計者	協和建築設計事務所			地積番号	種別	図面枚数	図面番号
1級建築士登録 第282011号 野崎 為一							A-16



部分敷地求積図-6 1/250

横浜市建築局				工事名	(仮称)舞岡墓園納骨堂その他新築工事			
年月日	R7.03	縮尺	1/250	図面名称	部分敷地求積図-6			
設計者	協和建築設計事務所			施設番号	種別	完成年度	図面枚数	図面番号
1級建築士登録 第282011号 野崎 為一								A-17

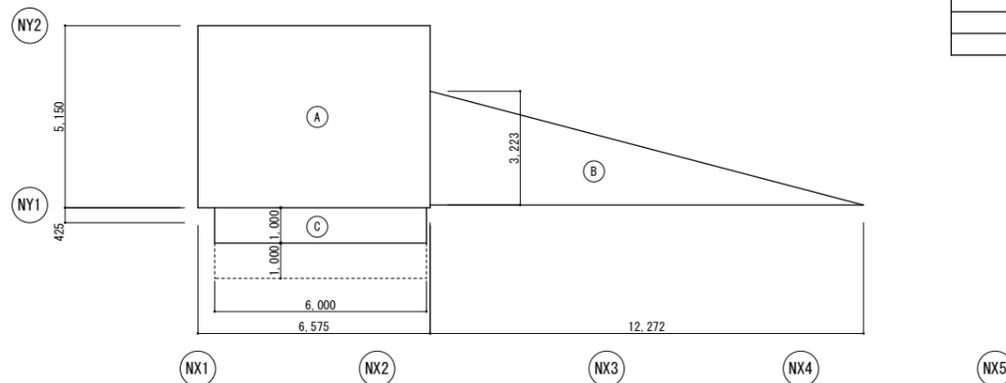


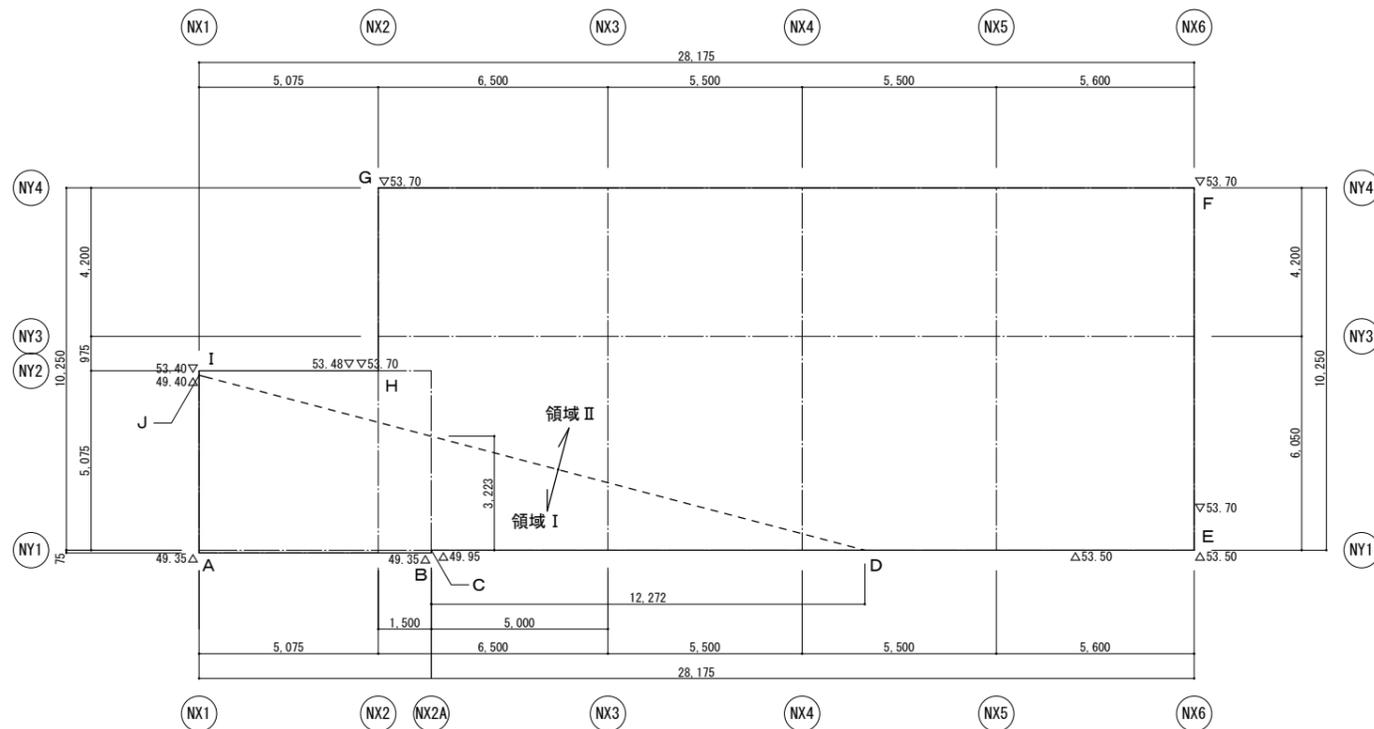
納骨堂 床面積求積表

1	3.075 ×	5.150	=	15.836	
2	2.000 ×	4.144	=	8.288	
3	23.100 ×	10.250	=	236.775	
					地階床面積 260.90
4	5.150 ×	6.575	=	33.861	
					1階床面積 33.86
					延床面積 294.76

納骨堂 建築面積求積表

A	6.575 ×	5.150	=	33.861
B	12.272 ×	3.223 /2	=	19.776
C	6.000 ×	1.000	=	6.000
				59.63

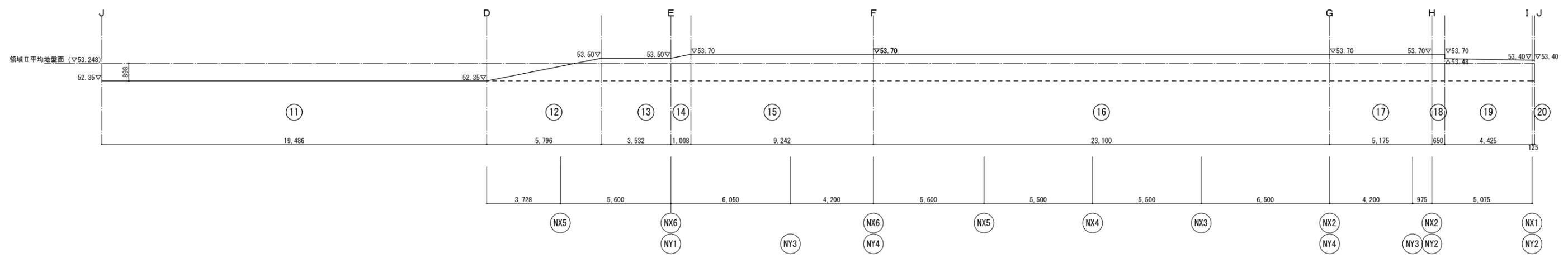




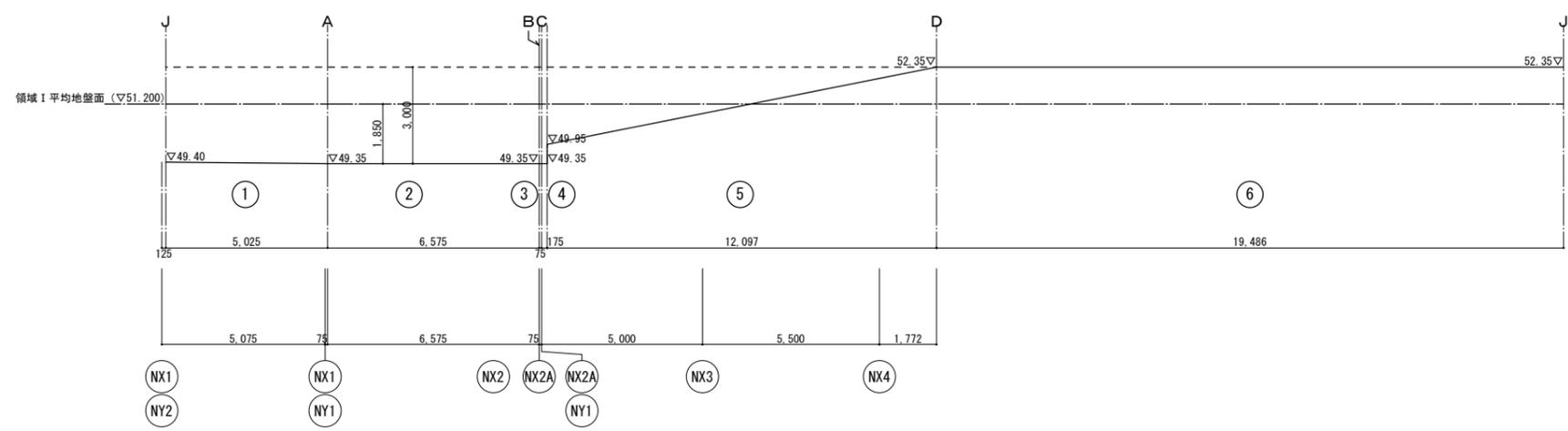
平均地盤面算定図 1/200

領域 II 平均地盤面算定表

(高さ-1 + 高さ-2) × 長さ / 2 = 面積	
⑪ (52.350 + 52.350) × 19.486 / 2 = 1020.092	
⑫ (52.350 + 53.500) × 5.796 / 2 = 306.753	
⑬ (53.500 + 53.500) × 3.532 / 2 = 188.962	
⑭ (53.500 + 53.700) × 1.008 / 2 = 54.029	
⑮ (53.700 + 53.700) × 9.242 / 2 = 496.295	
⑯ (53.700 + 53.700) × 23.100 / 2 = 1240.470	
⑰ (53.700 + 53.700) × 5.175 / 2 = 277.898	
⑱ (53.700 + 53.700) × 0.650 / 2 = 34.905	
⑲ (53.480 + 53.400) × 4.425 / 2 = 236.472	
⑳ (53.400 + 53.400) × 0.125 / 2 = 6.675	
A B	
72.539 3862.551	
B/A= 53.247	



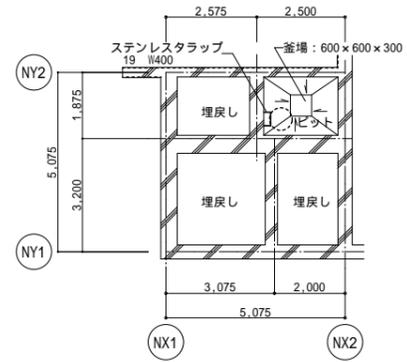
領域 II 展開図 1/200



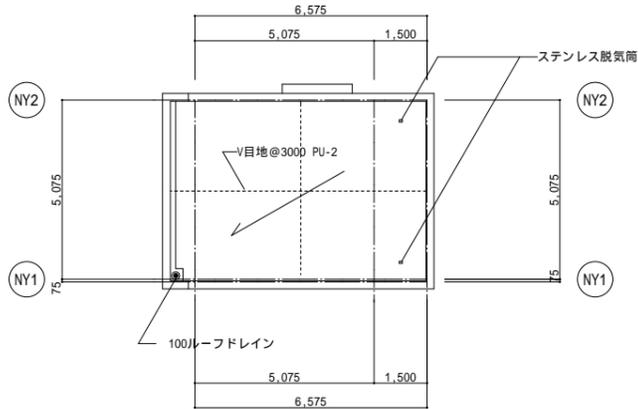
領域 I 展開図 1/200

領域 I 平均地盤面算定表

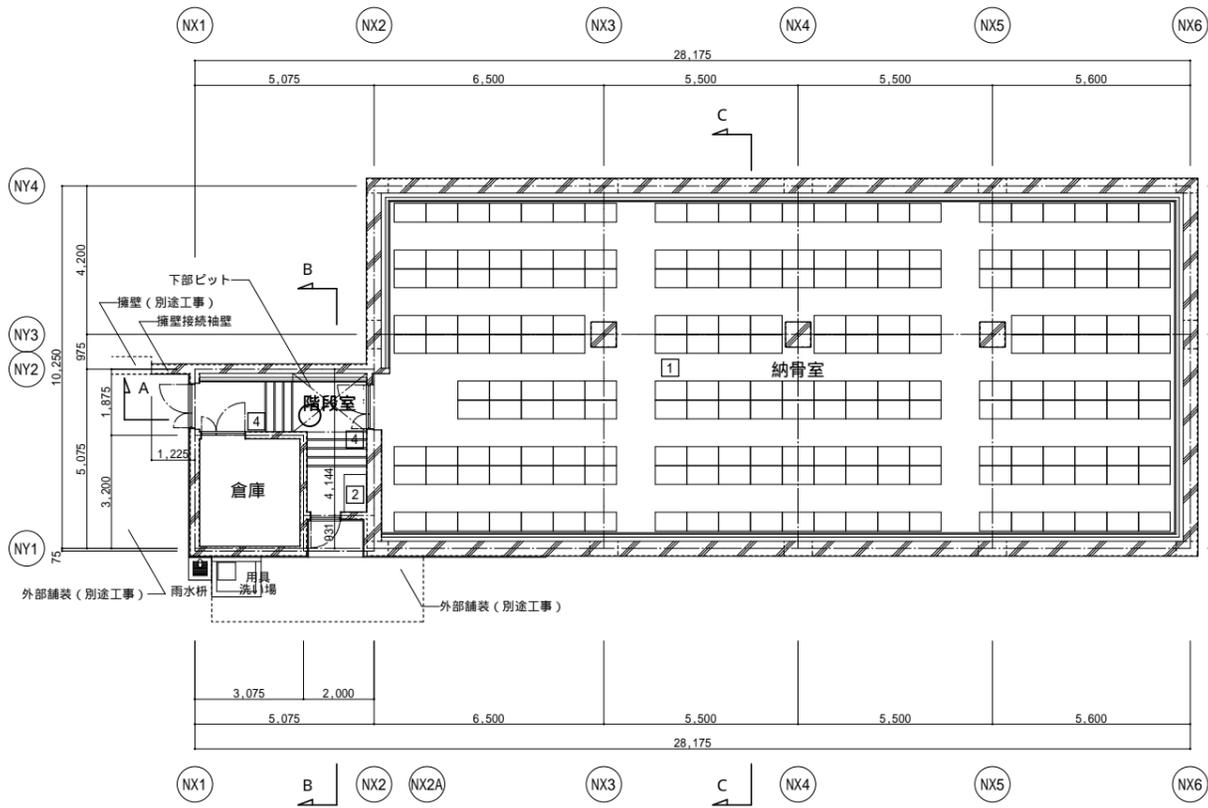
(高さ-1 + 高さ-2) × 長さ / 2 = 面積	
① (49.400 + 49.350) × 5.025 / 2 = 248.109	
② (49.350 + 49.350) × 6.575 / 2 = 324.476	
③ (49.350 + 49.350) × 0.075 / 2 = 3.701	
④ (49.350 + 49.350) × 0.175 / 2 = 8.636	
⑤ (49.950 + 52.350) × 12.097 / 2 = 618.762	
⑥ (52.350 + 52.350) × 19.486 / 2 = 1020.092	
A B	
43.433 2223.776	
B/A= 51.200	



基礎平面図 1/100



屋根伏図 1/100



地階平面図 1/100

納骨堂 仕上表

外部仕上表			
1階屋根	t15モルタル金ゴテ下地(V目地@3000 PU-2)、100ルーフトレイン アルミ笠木#225 ステンレス脱気筒	外壁	せつ器質二丁掛タイル(目地詰工法)モルタル下地 コンクリート面:誘発目地w20@3000 PU-2
地階屋根	コンクリート金ゴテ(誘発目地w20@3000 PU-2)、アスファルト防水(標準耐用年数:80年)、自着層付耐根シート+耐根補助シート	地中壁	地下防水用アスファルトシート防水材(後やり工法)、自着層付耐根シート+耐根補助シート(範囲は図示による) t25ポリスチレンフォーム張、埋戻し、コンクリート面:誘発目地w20@3000 PU-2
玄関庇	t104減圧接着アルミニウムパネル SUSフレック入りアッ素樹脂焼付塗装	外巾木	複層塗材RE(トップコート) コンクリート打ち出し補修下地(誘発目地w20@3000 PU-2)
縦樋	100 塩ビ製 VP【指定色】(取付金物:ステンレス@1,200以下)	外巾木(地下防水部分)	コンクリート打ち出し(誘発目地w20@3000 PU-2)、地下防水用アスファルトシート防水材(後やり工法)、自着層付耐根シートの上保護塗装
軒先	コンクリート打ち出し補修の上層塗り材RE		
軒裏	コンクリート打ち出し補修の外装薄塗材E		

タイル特記事項
・外壁 t13 227x60(二丁掛) うわぐすり:無ゆう 役物:あり 色:標準 (目地詰工法)

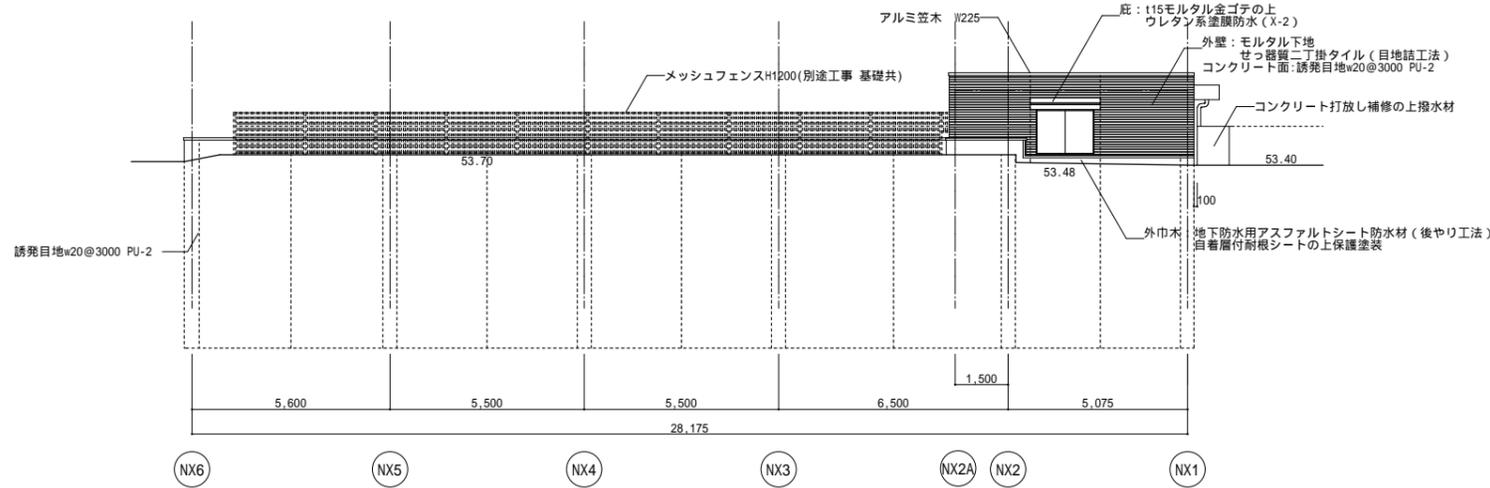
内部仕上表						
室名	床	幅木	H	壁	天井	備考
玄関 階段室	モルタル金ゴテ 防塵塗装			コンクリート打ち出し補修 二重壁部分:t140押出成形セメント板	コンクリート打ち出し補修	
納骨室	t100~220押入コンクリート金ゴテ 防塵塗装 t50沸水フォーム (t100~150 6@100溶接金網) (t150~220 6@100溶接金網+D10@200タテヨコ共)	コンクリート打ち出し補修	200	コンクリート打ち出し補修 二重壁部分:t140押出成形セメント板	コンクリート打ち出し補修(誘発目地w20@3000 PU-2)	
倉庫	モルタル金ゴテ 防塵塗装			コンクリート打ち出し補修	コンクリート打ち出し補修	
ファンルーム	モルタル金ゴテ 防塵塗装	コンクリート打ち出し補修	100	t50' スクム(32kg品)、g' スクム被覆紙押入 (土に接する部分はコンクリート打ち出し補修)	t50' スクム(32kg品)、g' スクム被覆紙押入	
消音室(給気、排気)	モルタル金ゴテ ウレタン塗膜防水密着工法 X-2	ウレタン塗膜防水密着工法	100	t50' スクム(32kg品)、g' スクム被覆紙押入 (土に接する部分はコンクリート打ち出し補修)	t50' スクム(32kg品)、g' スクム被覆紙押入	

t140押出成形セメント板は不燃材料NM-1240とする

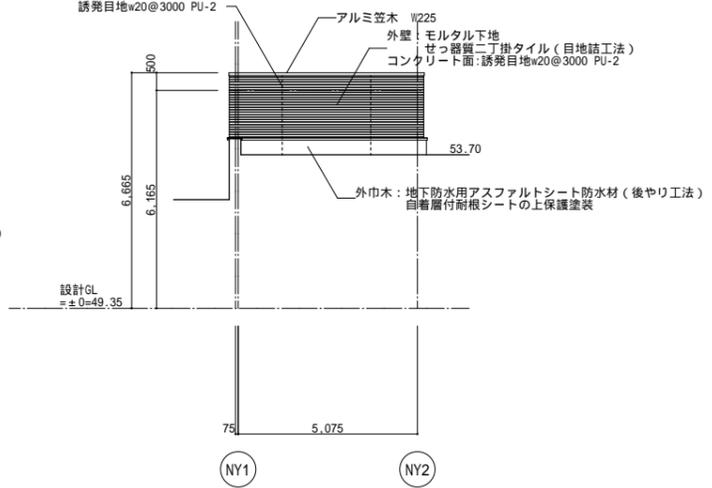
備品リスト				
1	納骨機	210台	図面による	建築工事
2	机	1台		別途
3	消火器(粉末10型)	1台	各階歩行距離 20m以内に設置する	別途 (図面表記無し)
4	室名札(平付、P7#製SUS枠)	2カ所	300x80	建築工事

1階平面図 1/100

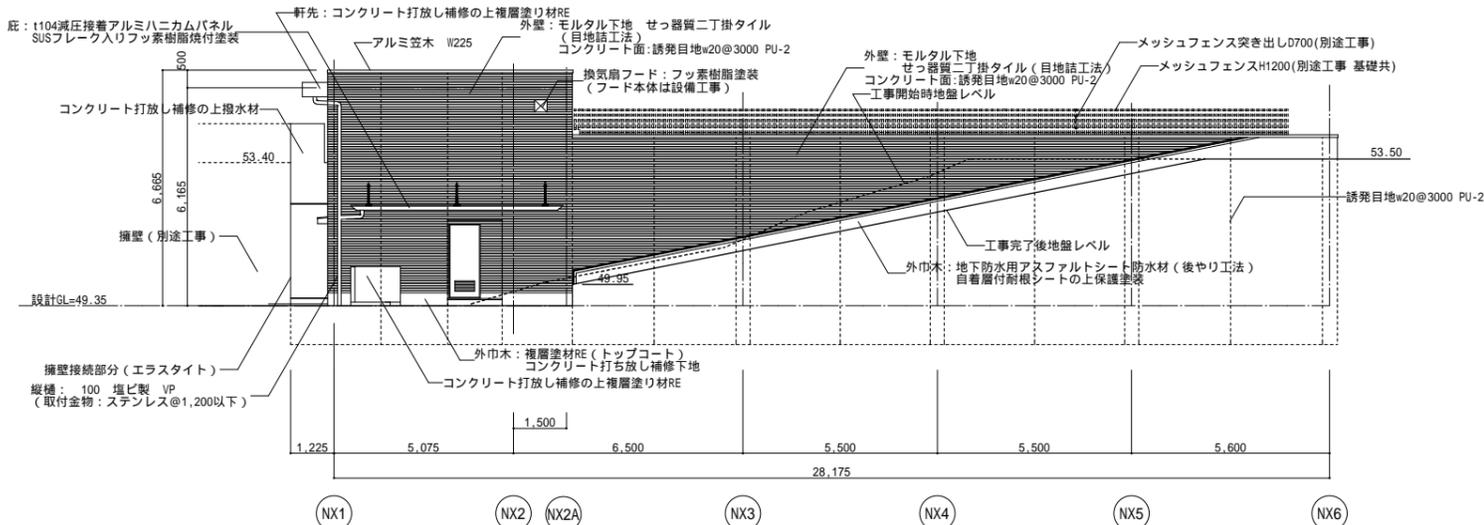
横浜市建築局			工事名 (仮称)舞岡墓園納骨堂その他新築工事		
年月日	R7.03	縮尺	1/100	図面名称	【納骨堂】仕上表 各階平面図
設計	協和建築設計事務所	審査	完成	図面枚数	図面番号
1級建築士登録 第282011号 児嶋 為一			A-20		



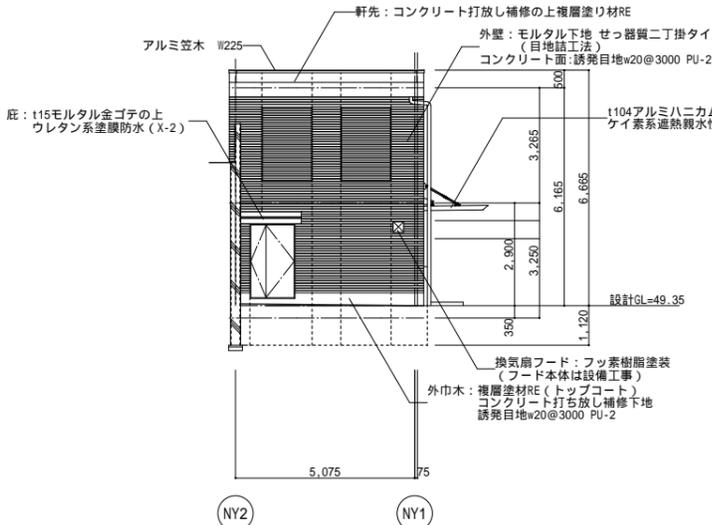
東側立面図 1/100



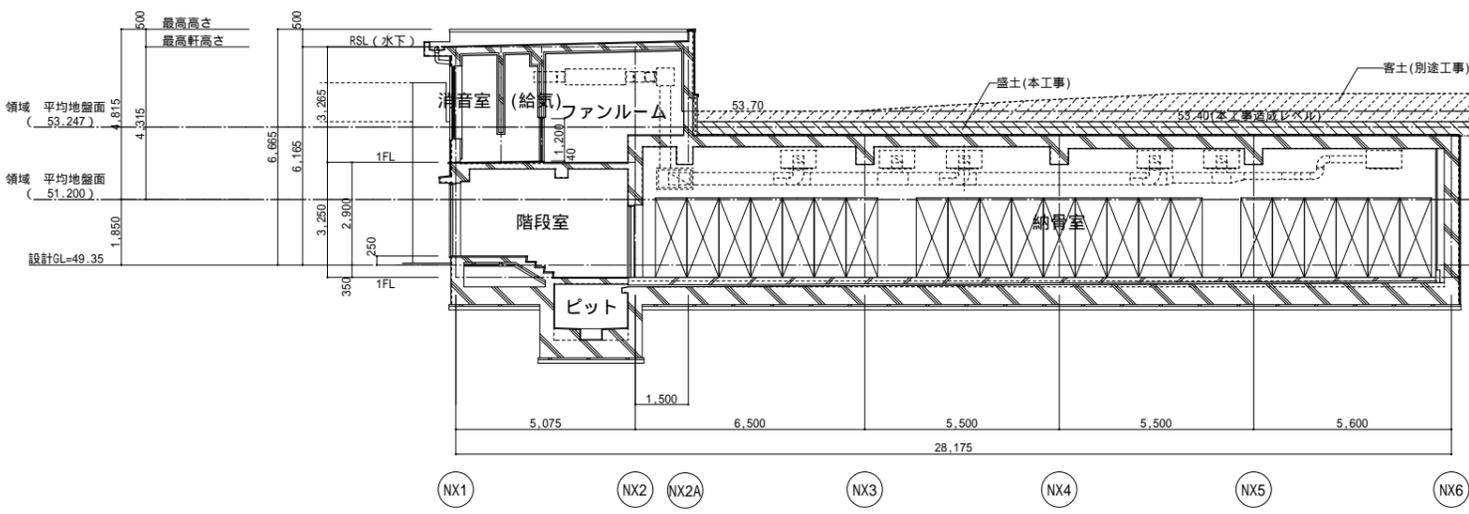
南側立面図 1/100



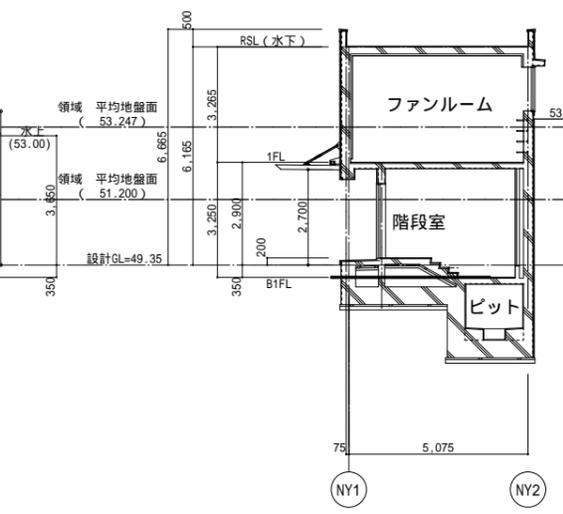
西側立面図 1/100



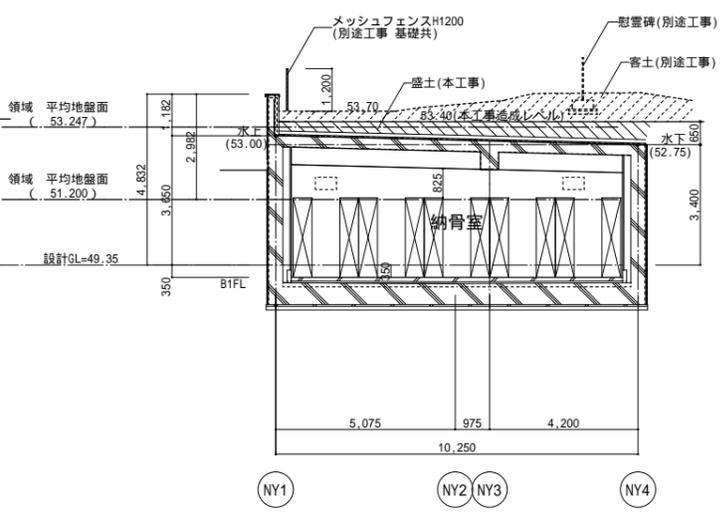
北側立面図 1/100



A - A断面図 1/100



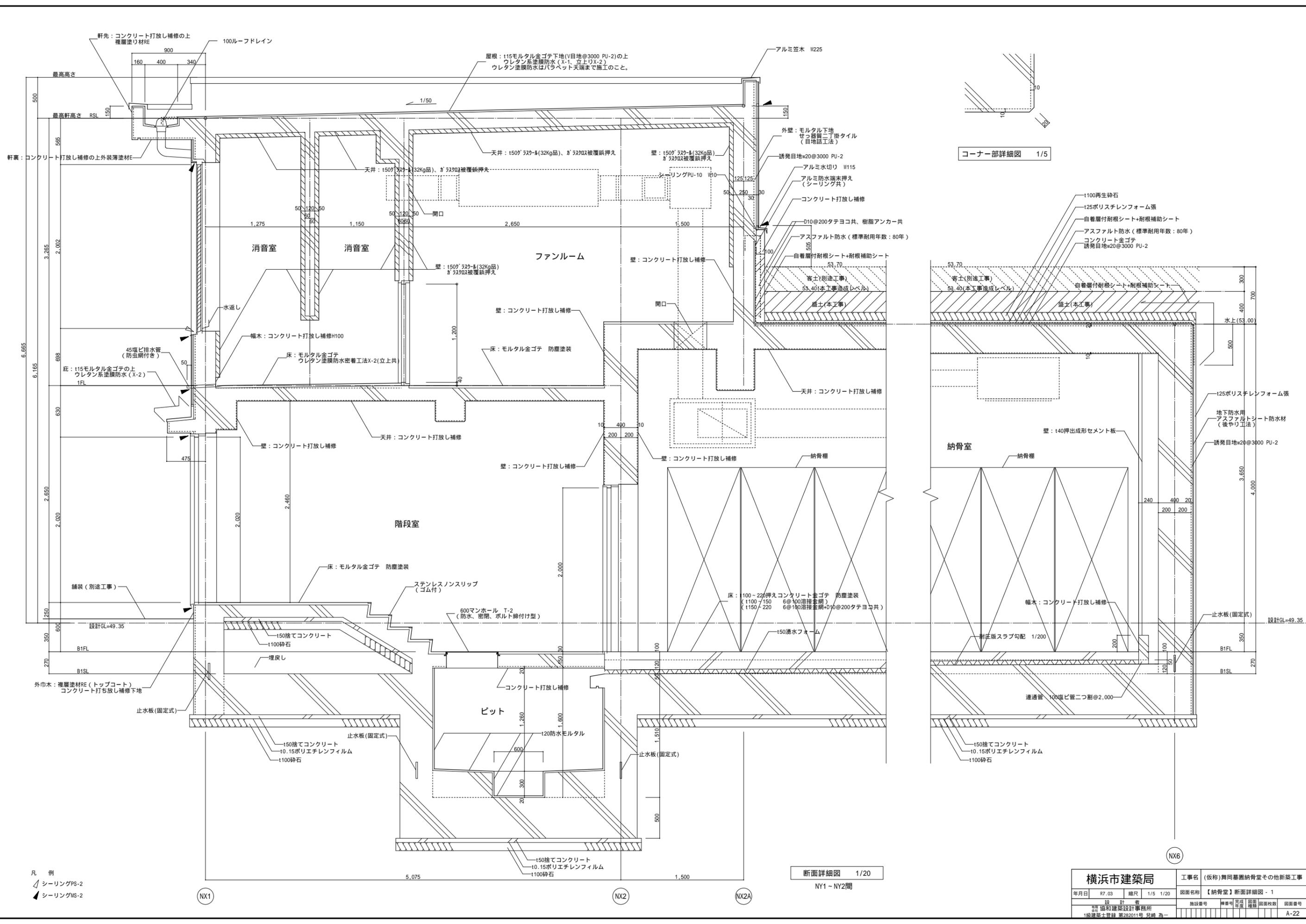
B - B断面図 1/100



C - C断面図 1/100

道路斜線：支障無し
北側斜線：支障無し

横浜市建築局		工事名 (仮称)舞岡墓園納骨堂その他新築工事	
年月日	R7.03	縮尺	1/100
設計	協和建築設計事務所	図面名称	【納骨堂】立面図 断面図
1級建築士登録 第282011号 児嶋 為一		施設番号	
		標準	完成
		図面枚数	図面番号
			A-21

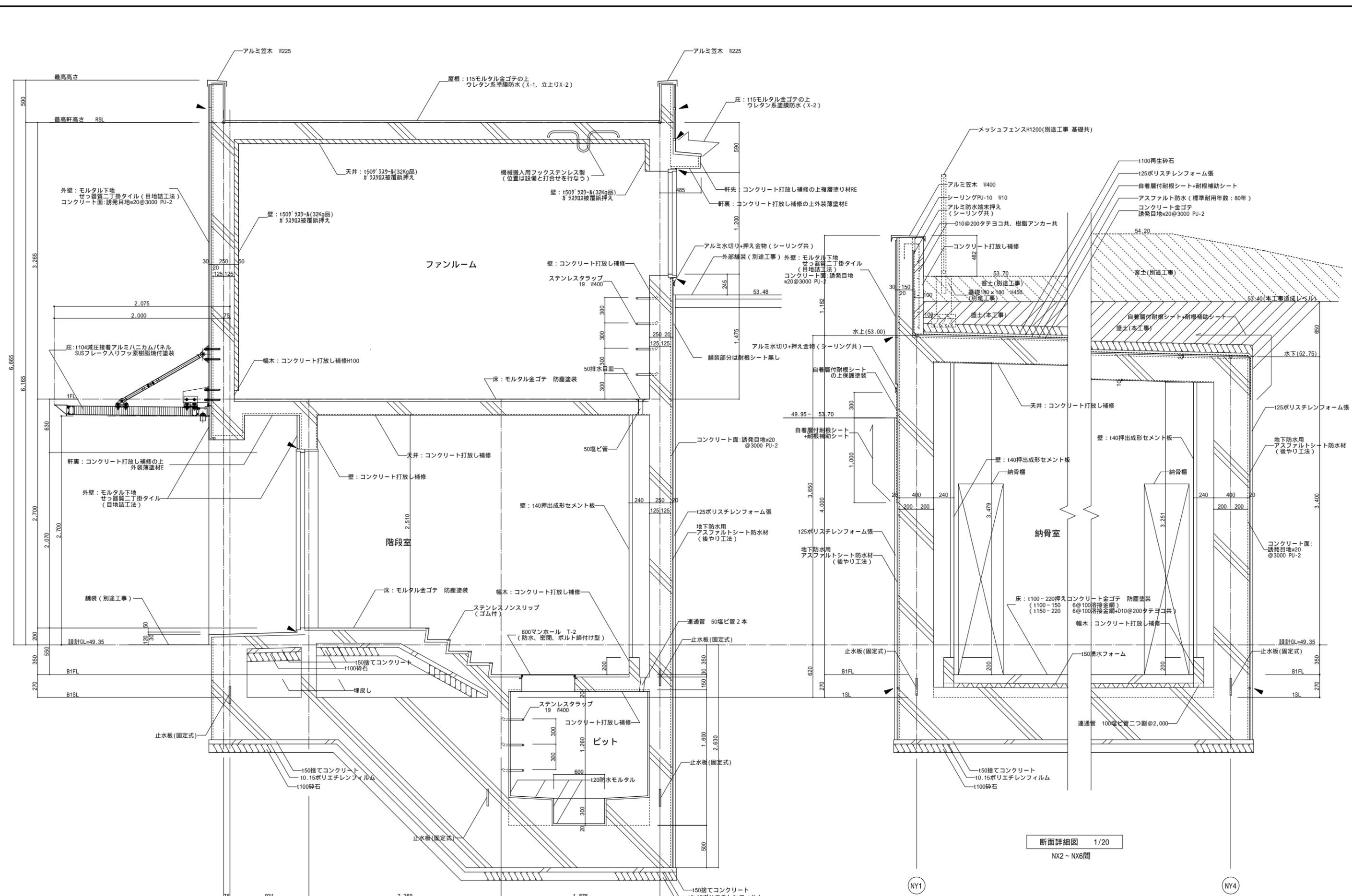


コーナー部詳細図 1/5

断面詳細図 1/20
NY1 - NY2間

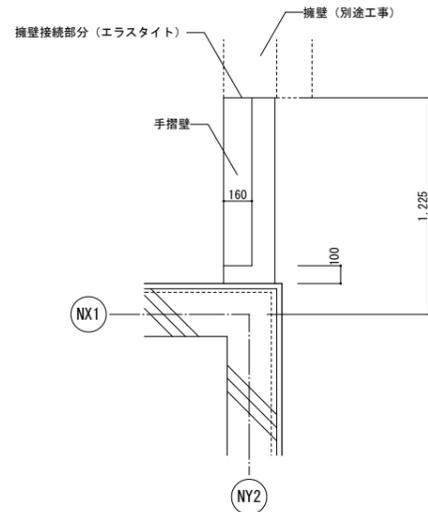
凡例
 シーリングPS-2
 シーリングMS-2

横浜市建築局		工事名 (仮称)舞岡墓園納骨堂その他新築工事	
年月日	R7.03	縮尺	1/5 1/20
図面名称	【納骨堂】断面詳細図 - 1		
設計者	協和建築設計事務所	図面枚数	図面番号
1級建築士登録 第282011号 児嶋 為一			A-22

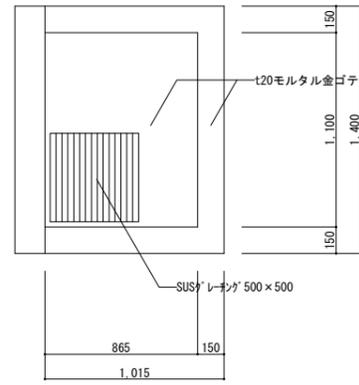


- 凡例
- ▲ シーリングPS-2
 - ▲ シーリングMS-2

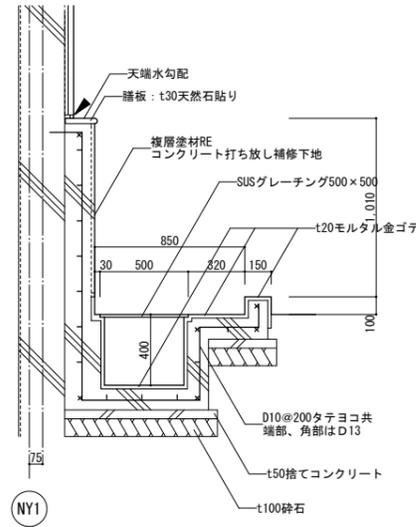
横浜市建築局		工事名 (仮称)舞岡墓園納骨堂その他新築工事	
年月日	R7.03	縮尺	1/20
図面名称 【納骨堂】断面詳細図 - 2		施設番号	
設計	協和建築設計事務所	標準	
監理	1級建築士登録 第282011号 児嶋 為一	完成	
図面種類		図面枚数	
図面番号		図面枚数	A-23



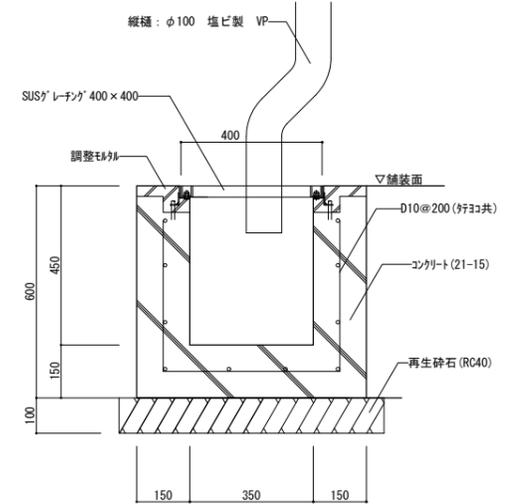
擁壁接続袖壁平面詳細図 1/20



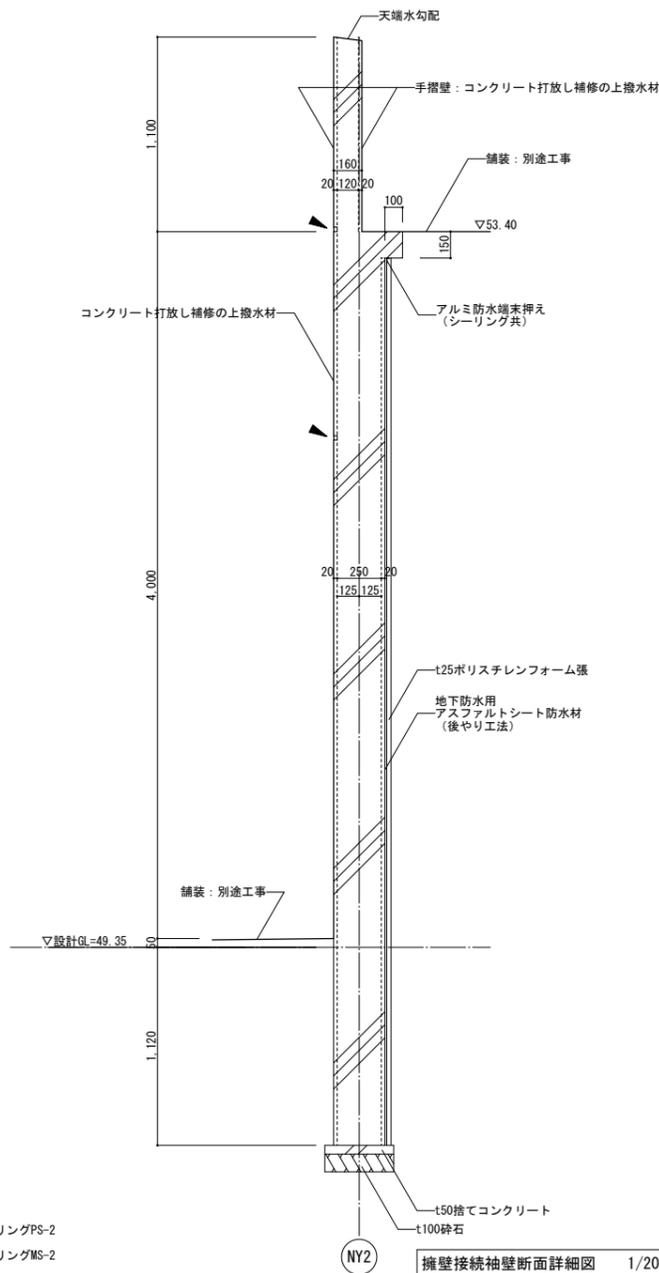
用具洗い場平面図 1/20



用具洗い場断面図 1/20



雨水枡詳細図 1/10

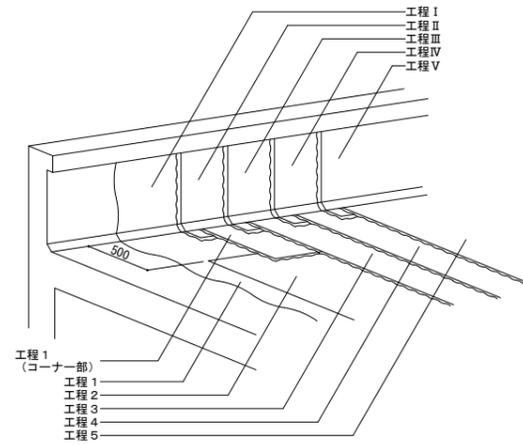


擁壁接続袖壁断面詳細図 1/20

アスファルト防水 (標準耐用年数: 80年) 仕様

平面部	
工程 1	ゴムアスエマルジョン系プライマー 0.2kg/m ²
工程 2	t1.4通気絶縁用改質アスファルトルーフィング (粘着層付) コーナー部: t1.7高級改質アスファルトルーフィング (最高級クリーンタイプ改質アスファルト・流し張り 1.2kg/m ²)
工程 3	t1.7高級改質アスファルトルーフィング (最高級クリーンタイプ改質アスファルト・流し張り 1.2kg/m ²)
工程 4	t1.7高級改質アスファルトルーフィング (最高級クリーンタイプ改質アスファルト・流し張り 1.2kg/m ²)
工程 5	t1.8中張り用改質アスファルトルーフィング (最高級クリーンタイプ改質アスファルト・流し張り 1.2kg/m ²)

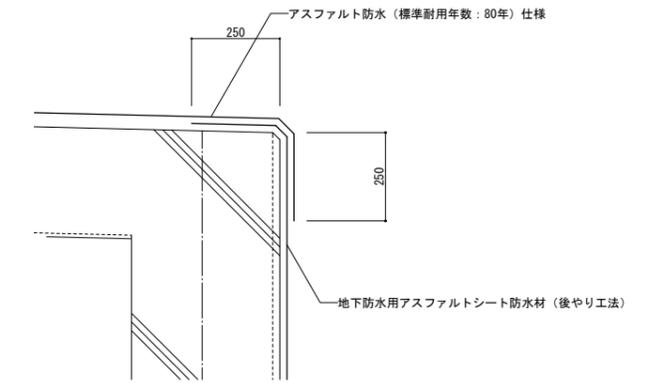
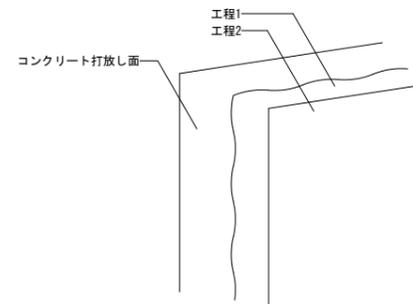
立上り部	
工程 I	ゴムアスエマルジョン系プライマー 0.2kg/m ²
工程 II	t1.7高級改質アスファルトルーフィング (最高級クリーンタイプ改質アスファルト・流し張り 1.2kg/m ²)
工程 III	t1.7高級改質アスファルトルーフィング (最高級クリーンタイプ改質アスファルト・流し張り 1.2kg/m ²)
工程 IV	t1.7高級改質アスファルトルーフィング (最高級クリーンタイプ改質アスファルト・流し張り 1.2kg/m ²)
工程 V	t1.8中張り用改質アスファルトルーフィング (最高級クリーンタイプ改質アスファルト・流し張り 1.2kg/m ²)



アスファルト防水 (標準耐用年数: 80年) 仕様図

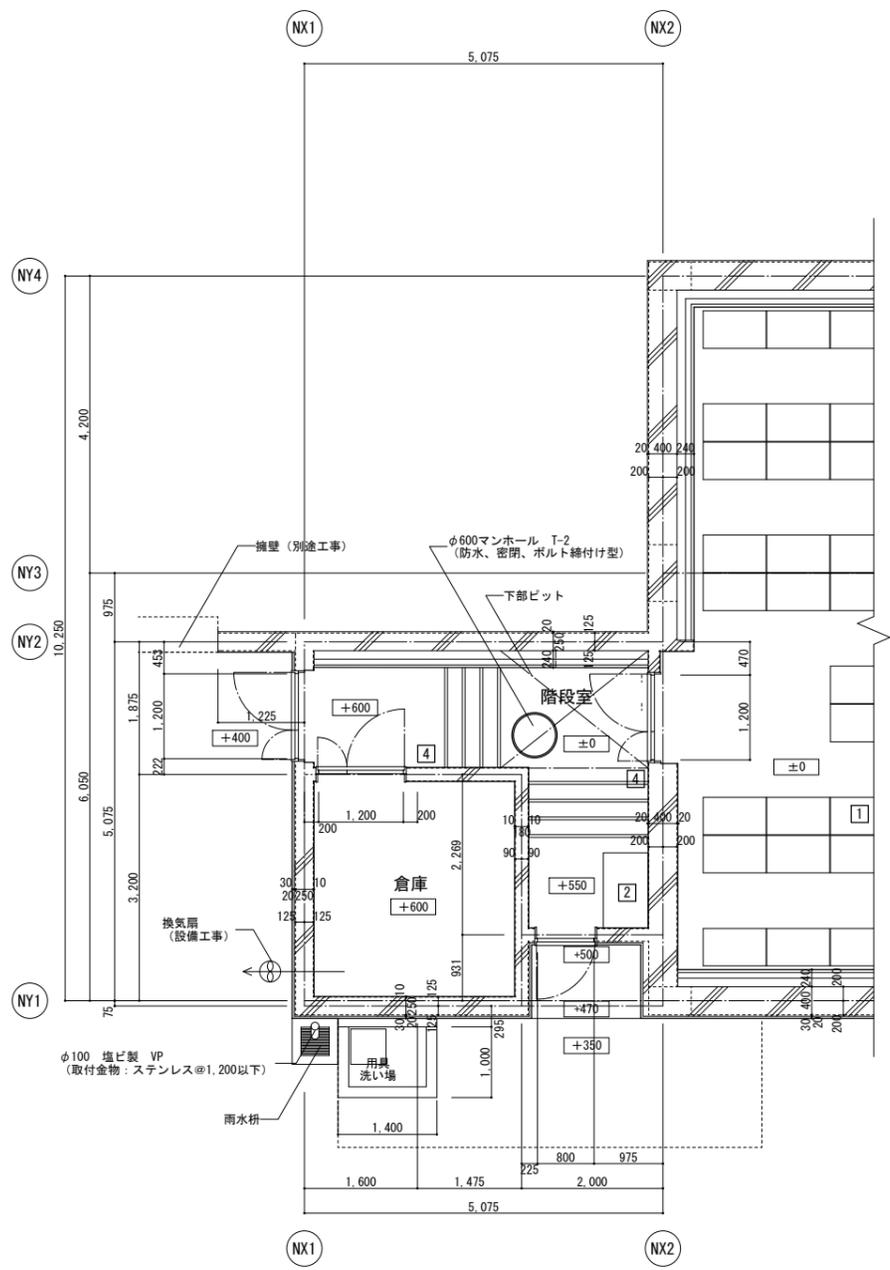
地下防水用アスファルトシート防水材 (後やり工法) 仕様

外壁部	
工程 1	ゴムアスエマルジョン系プライマー 0.2kg/m ²
工程 2	t3.2地下防水用改質アスファルトシート (粘着層付)

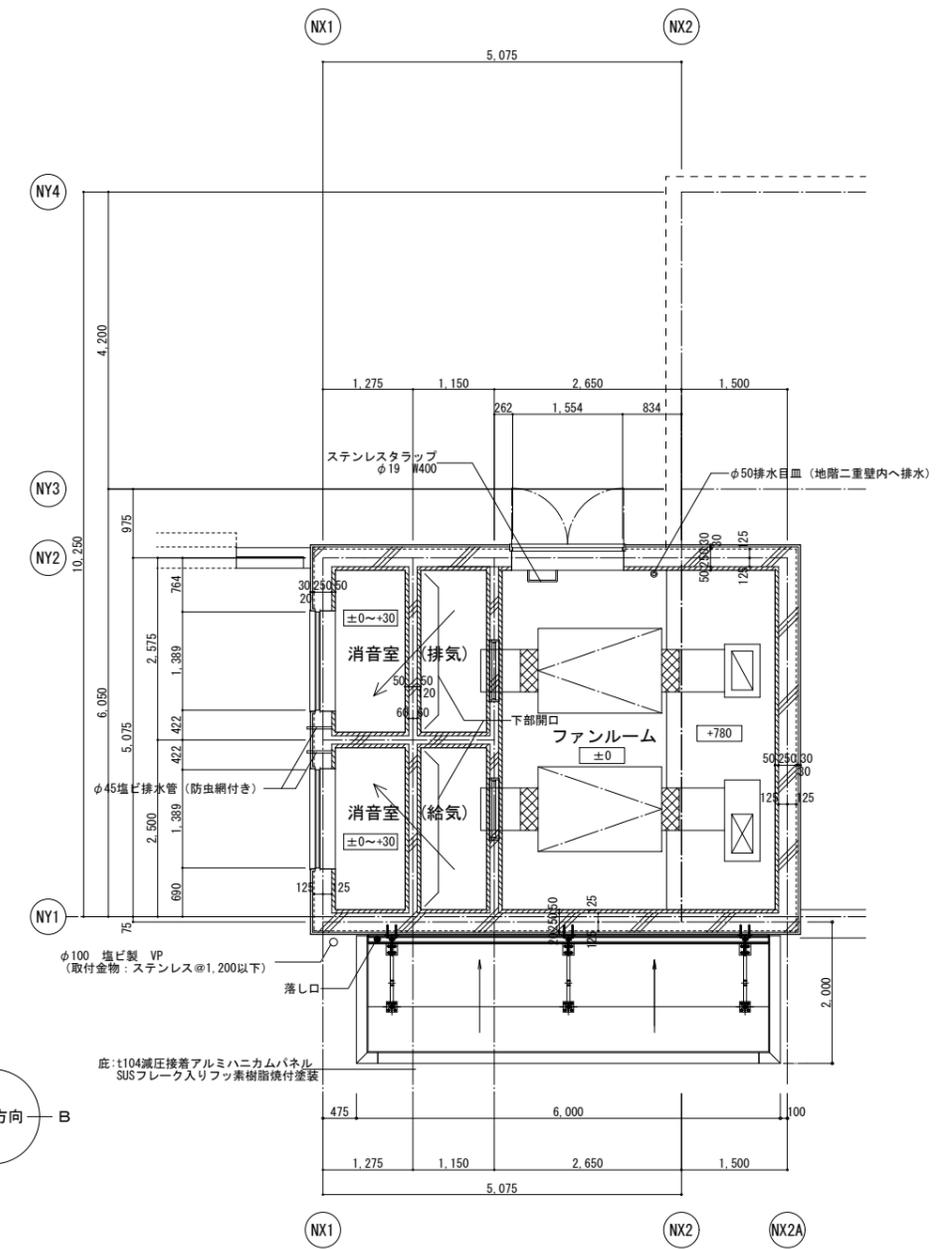
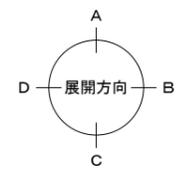
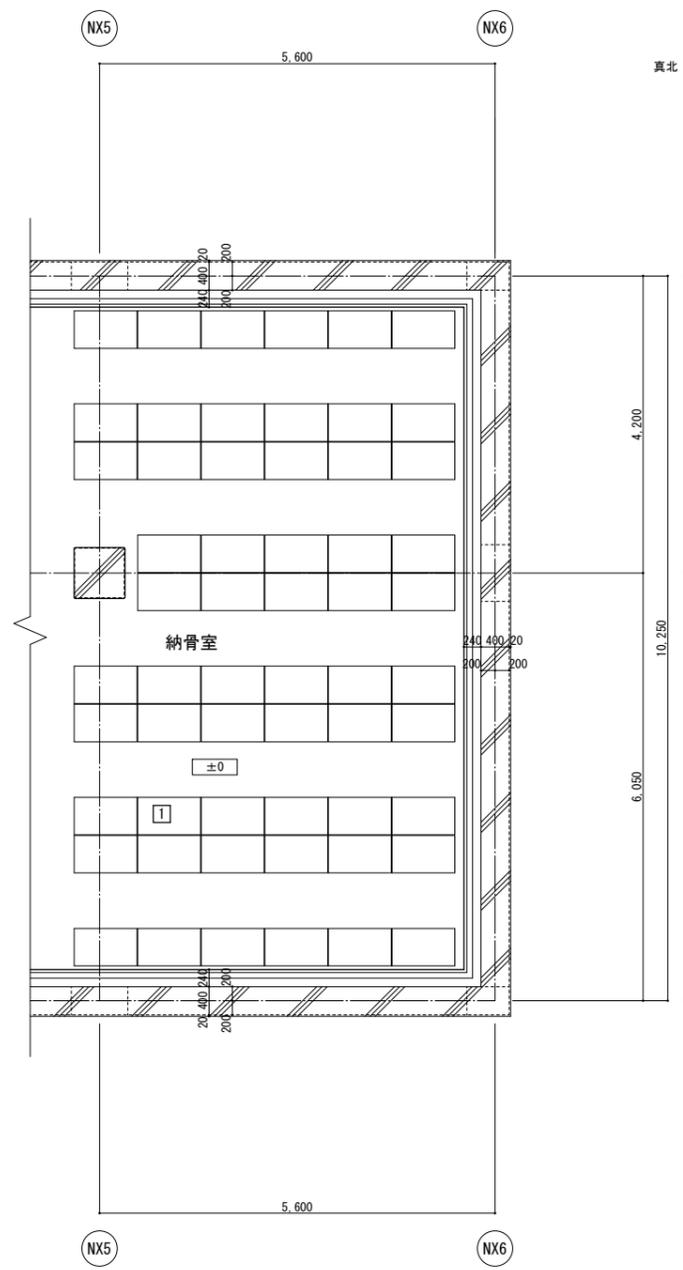


屋根防水～外壁防水 取合い部 1/10

凡例
 ▲ シーリングPS-2
 ▼ シーリングMS-2

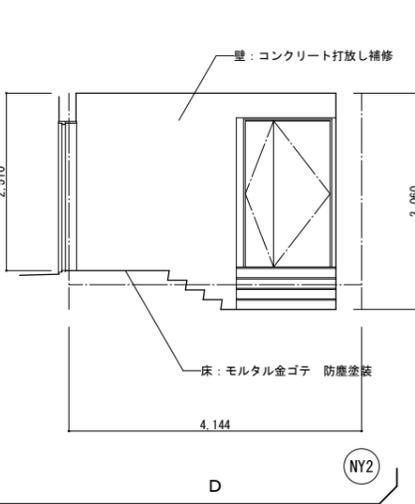
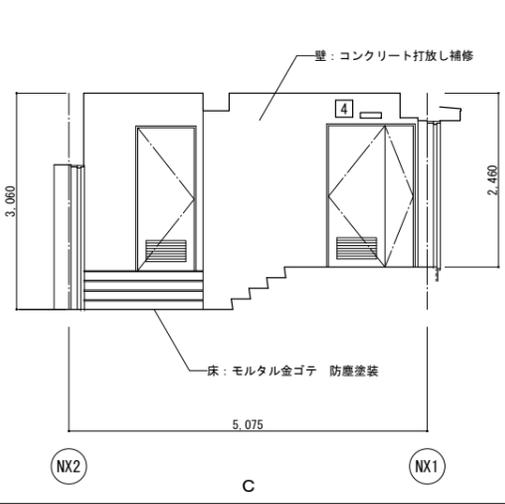
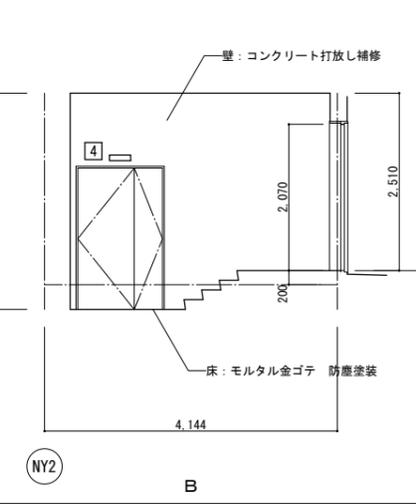
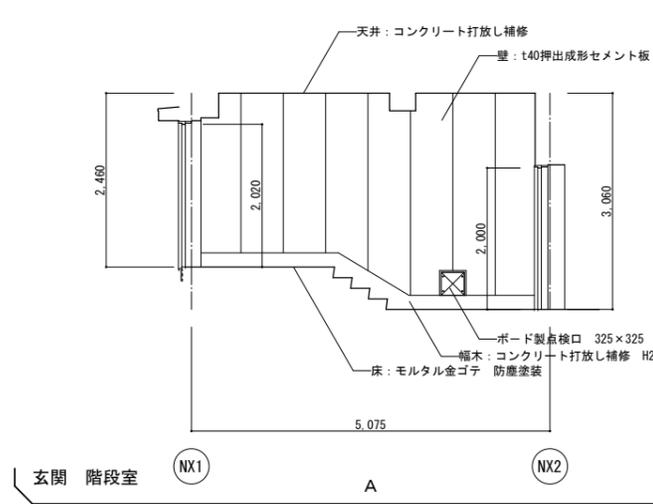
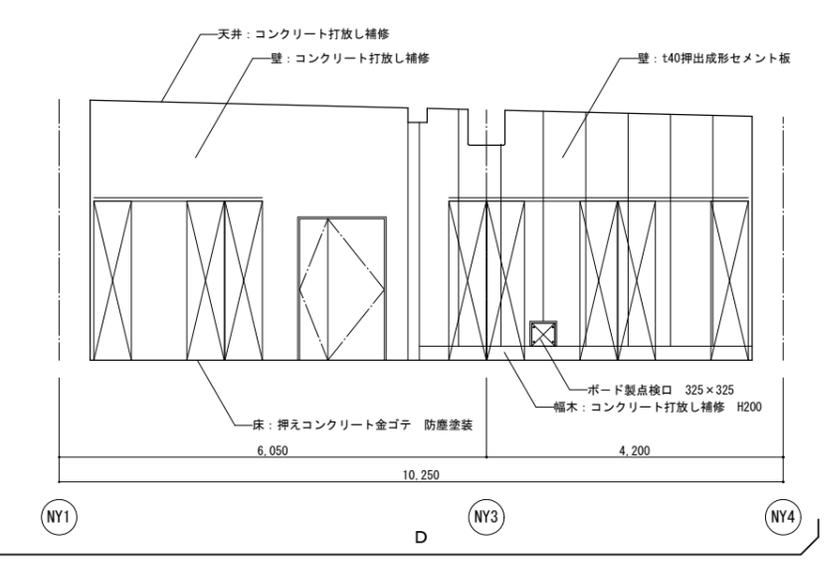
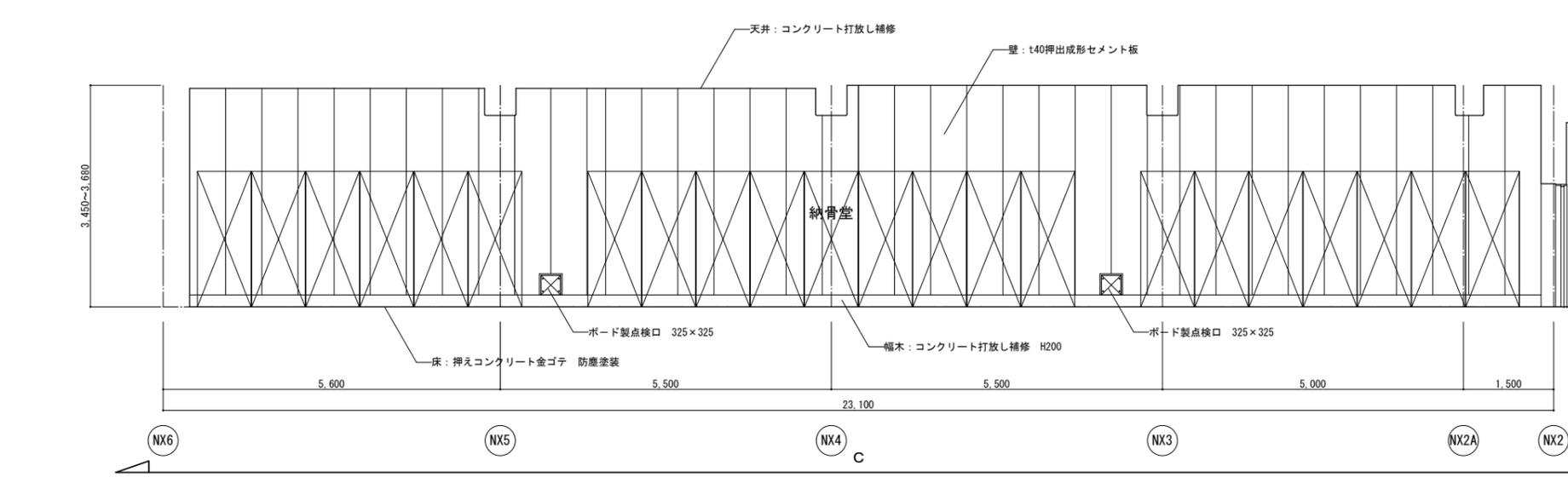
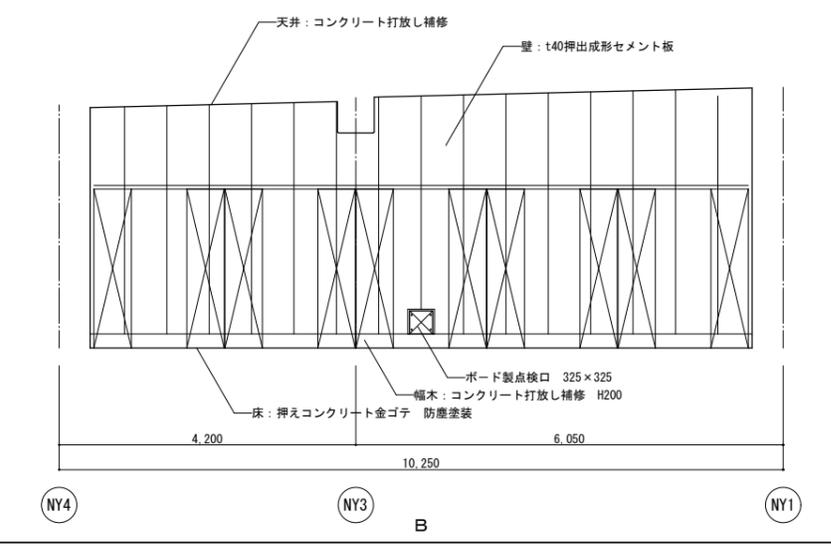
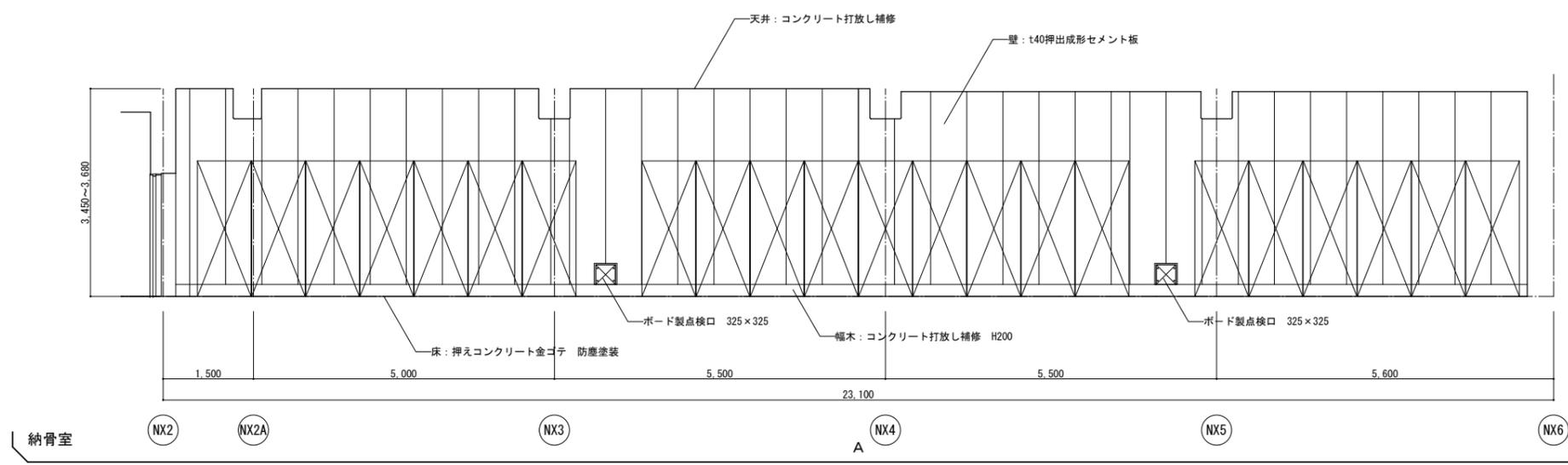


地階平面詳細図 1/50



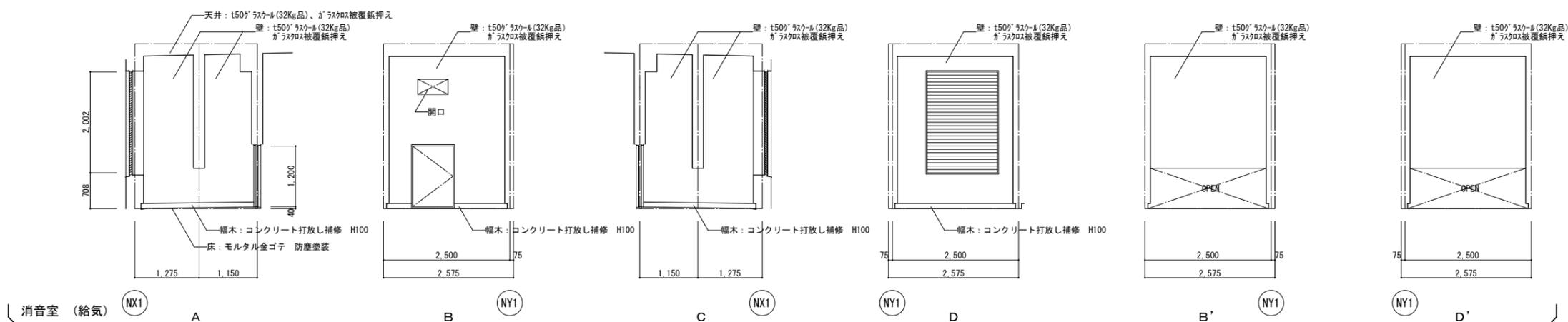
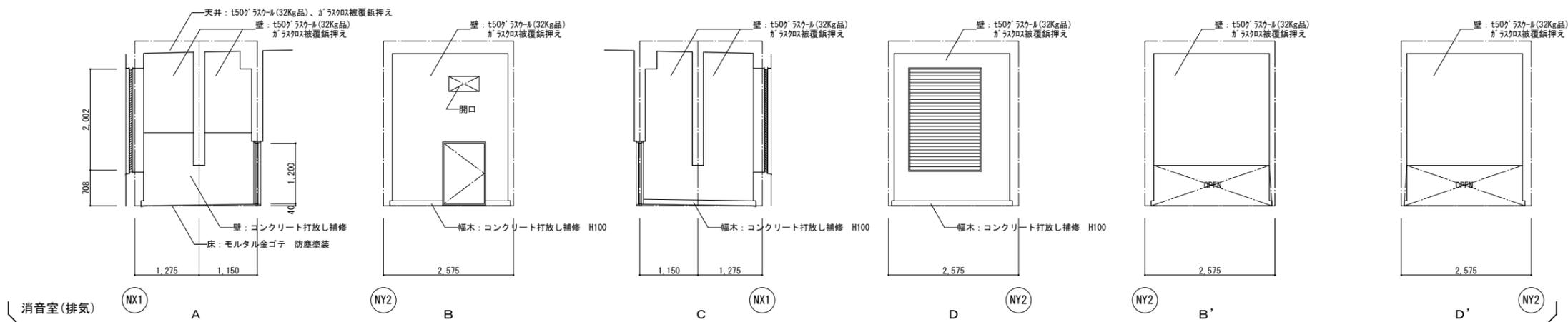
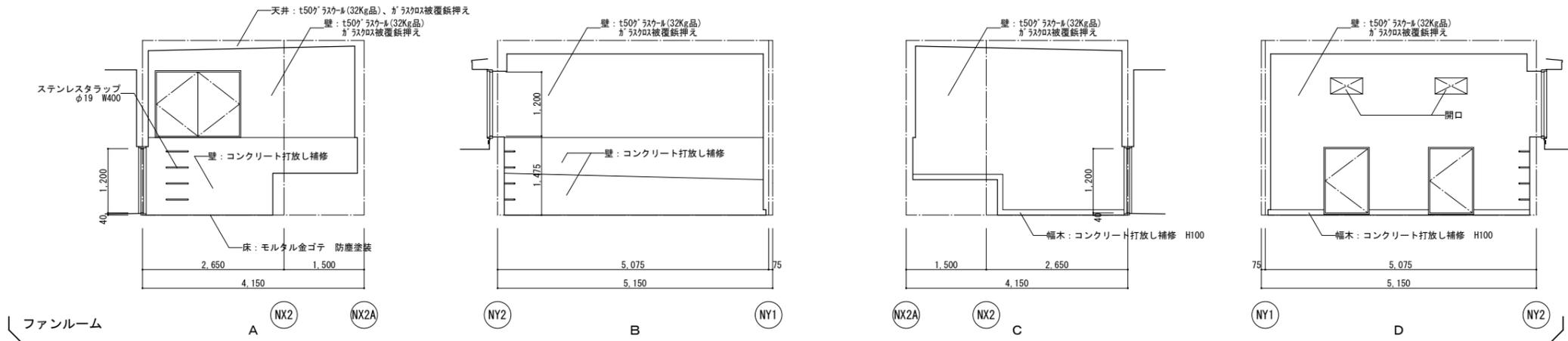
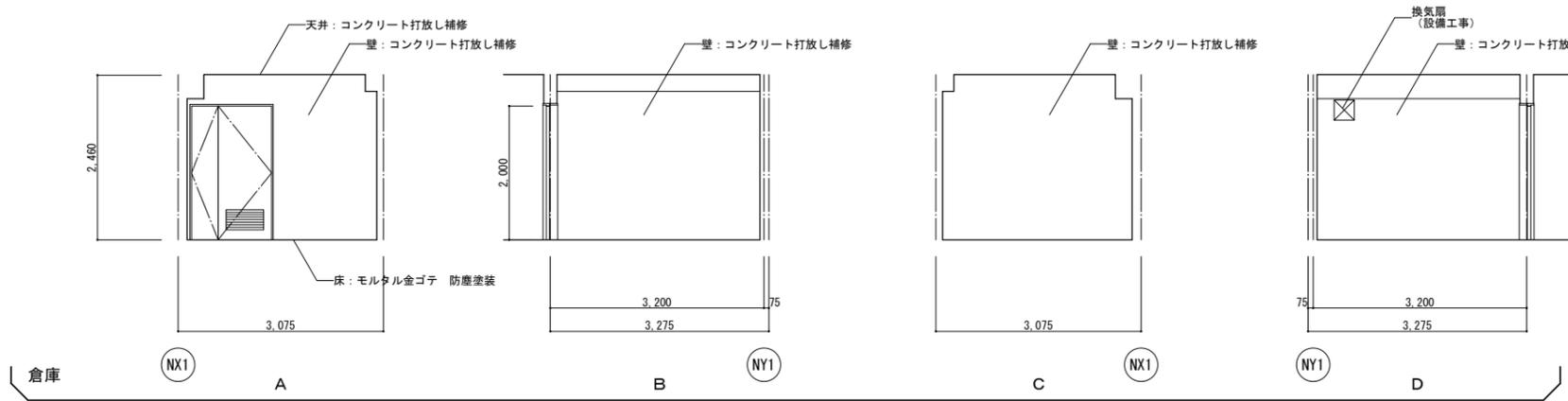
1階平面詳細図 1/50

横浜市建築局			工事名	(仮称)舞岡墓園納骨堂その他新築工事		
年月日	R7.03	縮尺	1/50	図面名称	【納骨堂】平面詳細図	
設計	者		地設番号	欄番号	完成年度	図面枚数
協和建築設計事務所			1級建築士登録 第282011号 野崎 為一			図面番号
						A-25

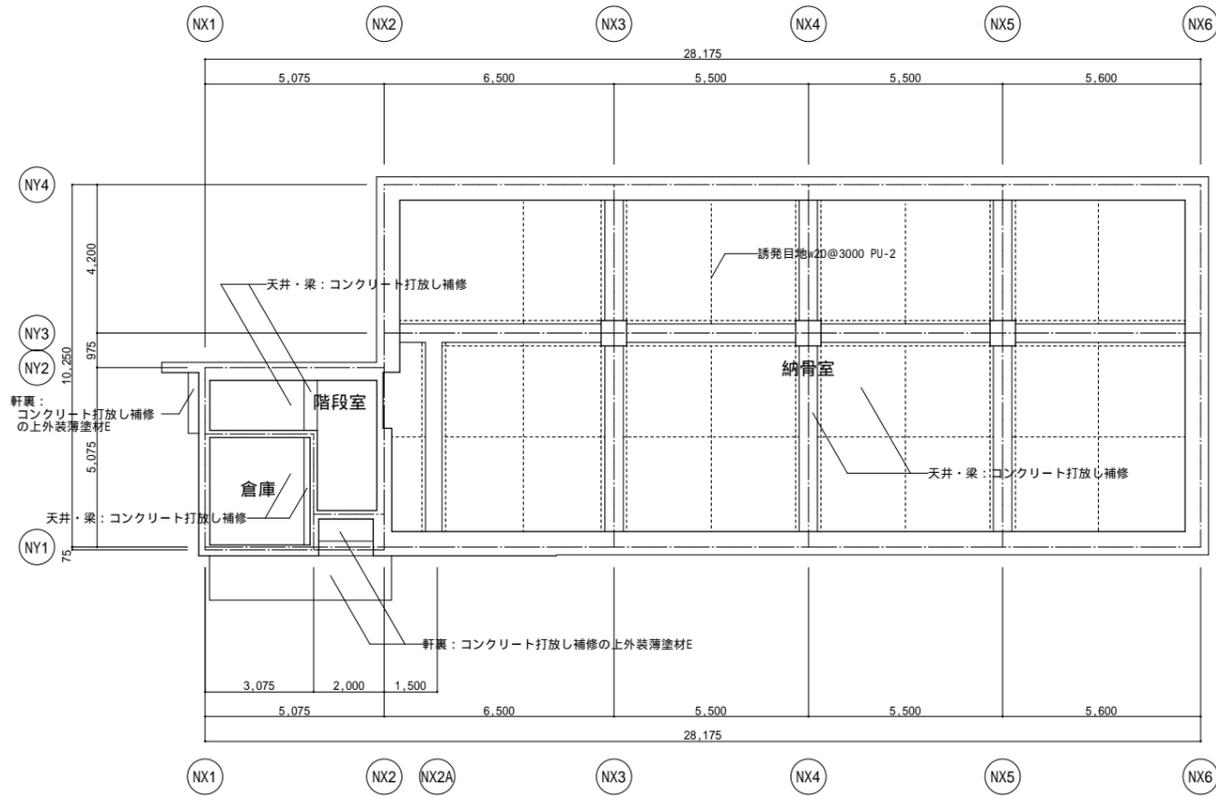


玄関 階段室

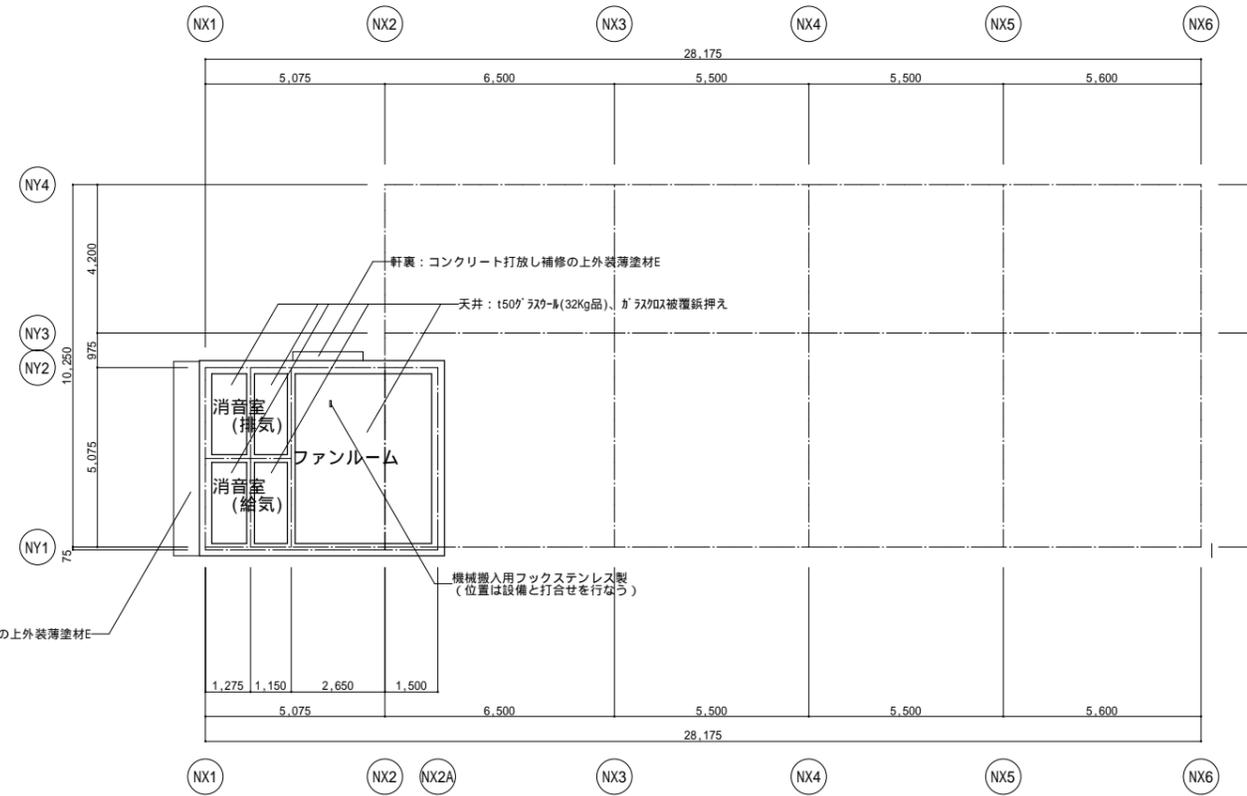
横浜市建築局				工事名 (仮称) 舞岡墓園納骨堂その他新築工事			
年月日	R7.03	縮尺	1/50	図面名称	【納骨堂】展開図-1		
設計者	協和建築設計事務所			施設番号	種別	完成年度	図面枚数
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 協和ビル				1級建築士登録 第282011号 野崎 為一			図面番号 A-26



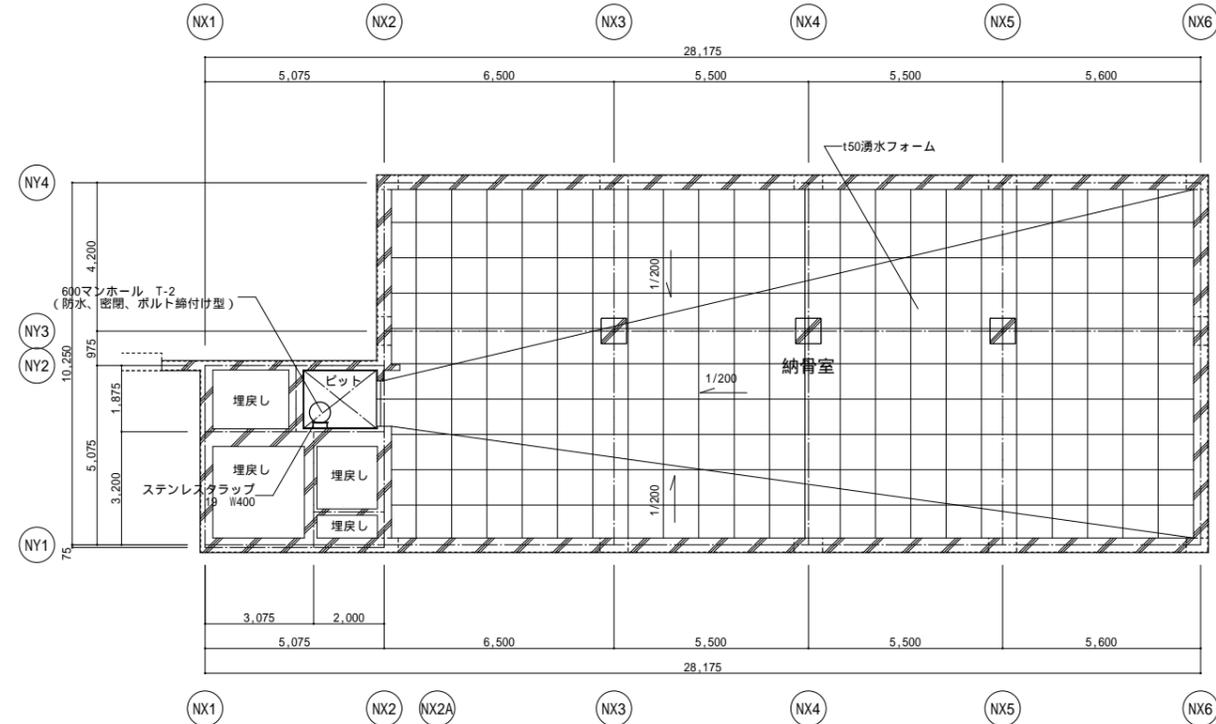
横浜市建築局				工事名	(仮称)舞岡墓園納骨堂その他新築工事			
年月日	R7.03	縮尺	1/50	図面名称	【納骨堂】展開図-2			
設計者	協和建築設計事務所			地盤番号	補遺	完成	図面枚数	図面番号
1級建築士登録 第282011号 野崎 為一								A-27



地階天井伏図 1/100

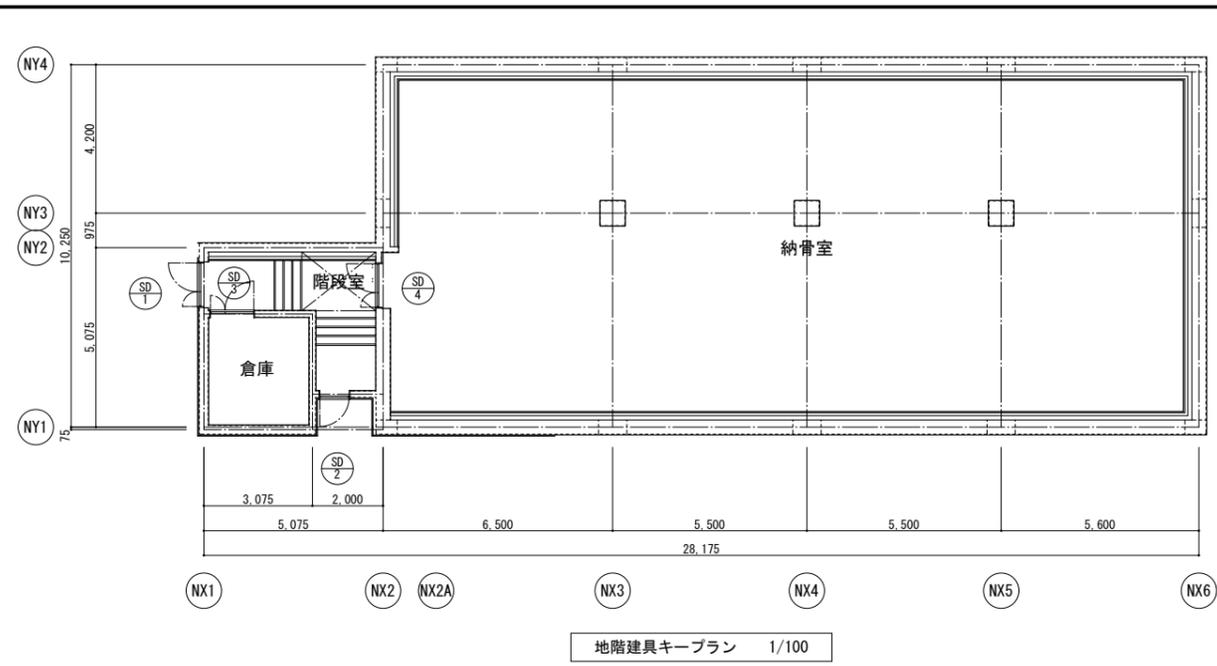


1階天井伏図 1/100

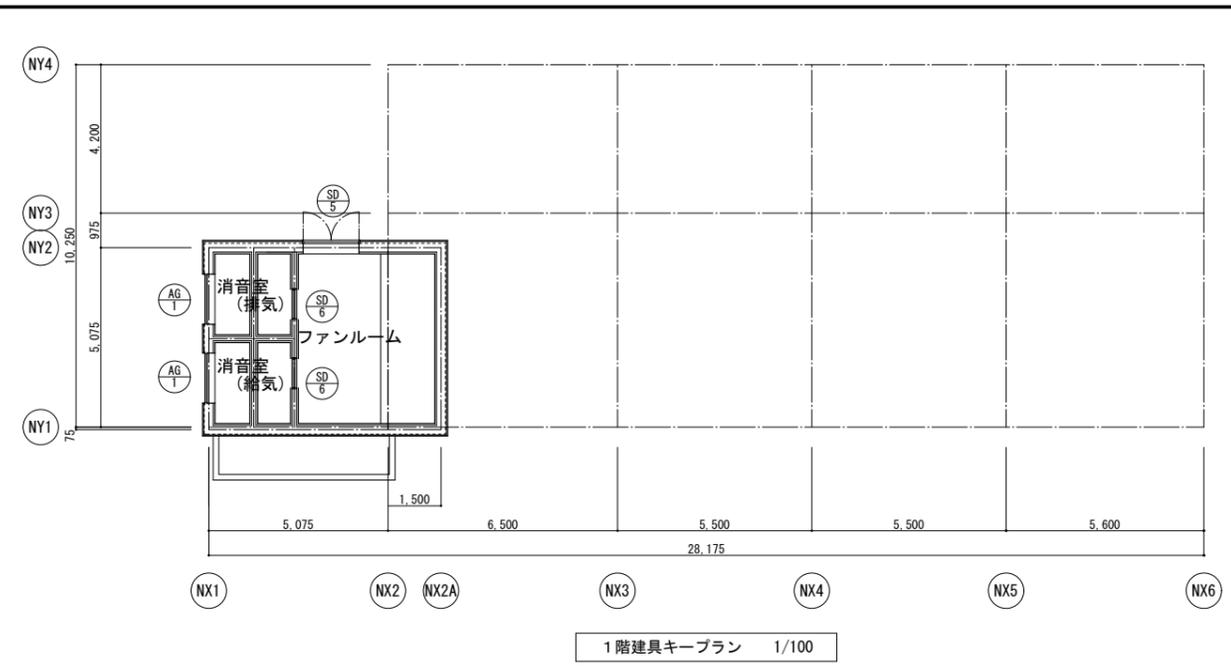


ピット平面図 1/100

横浜市建築局			工事名 (仮称)舞岡墓園納骨堂その他新築工事		
年月日	R7.03	縮尺	1/100	図面名称	【納骨堂】天井伏図
設計	協和建築設計事務所	構造	1級建築士登録 第282011号 児嶋 為一	図面枚数	図面枚数
図面番号	A-28	図面種類		図面枚数	



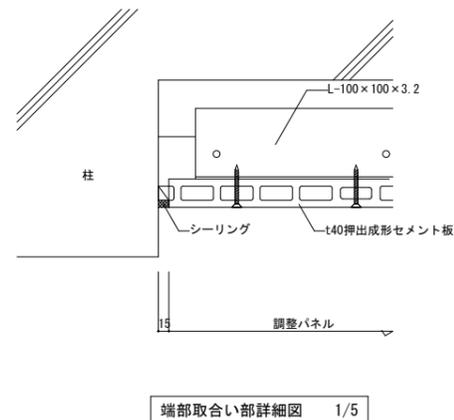
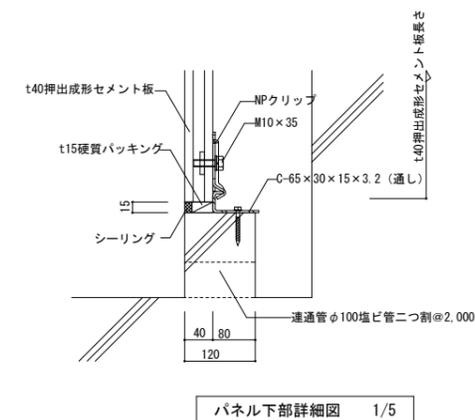
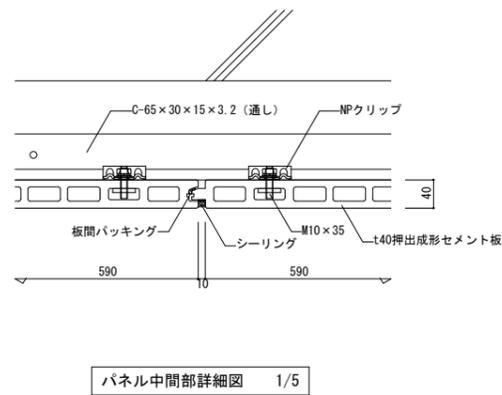
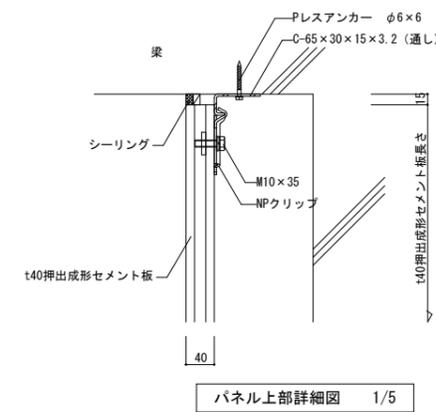
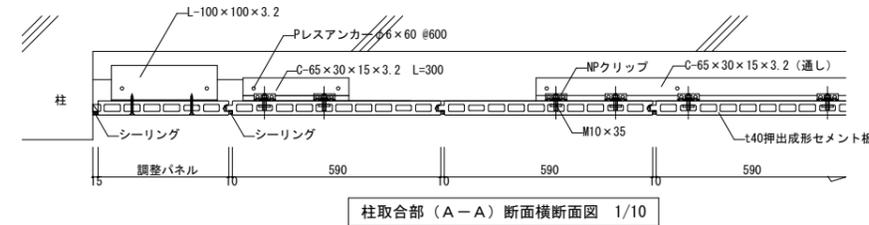
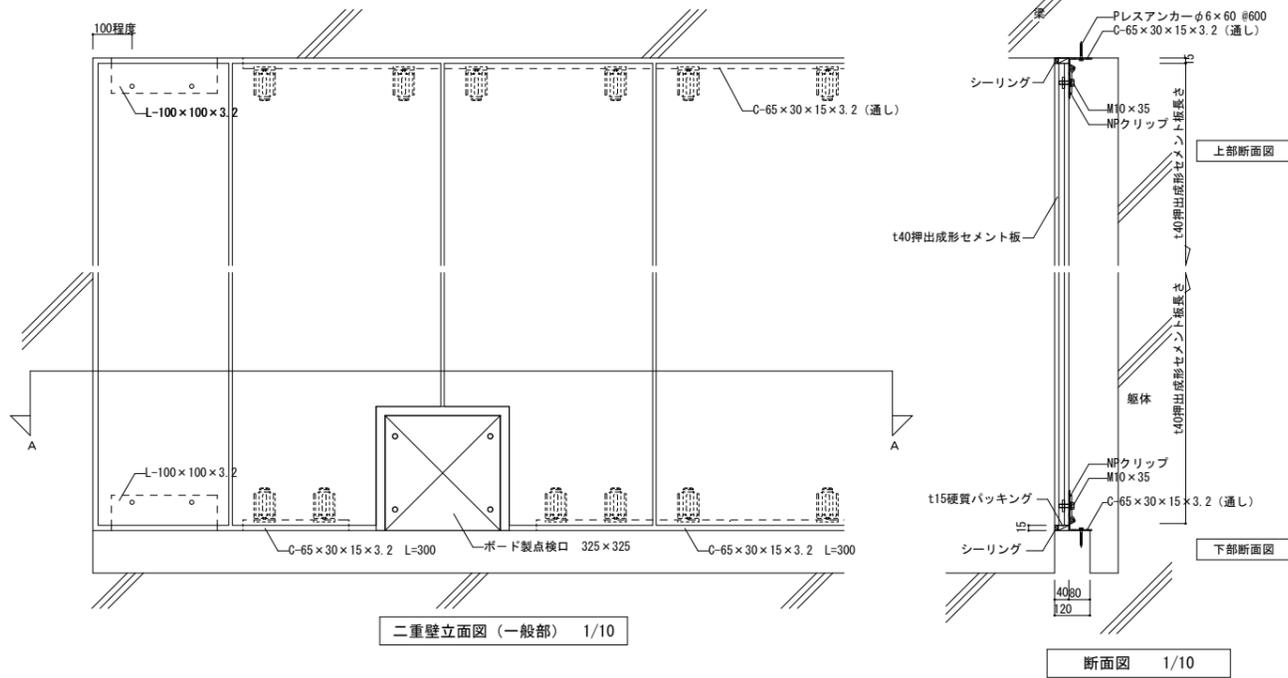
地階建具キープラン 1/100



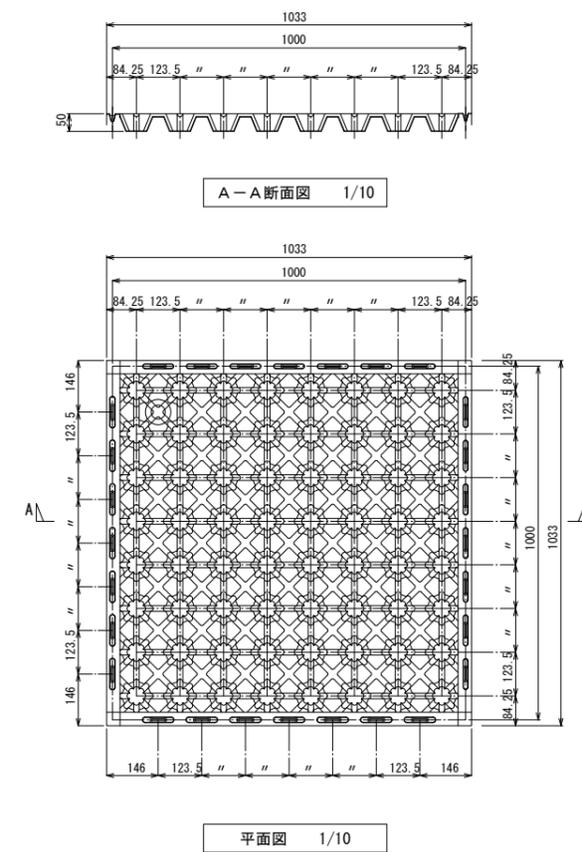
1階建具キープラン 1/100

記号・数量	SD 1	SD 2	SD 3	SD 4	SD 5	SD 6
名称	親子開き戸	片開き戸	親子開き戸	親子開き戸	高開き戸 ※防音 T-3	片開き戸 ※防音 T-3
数量	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	2か所
取付場所	搬入用出入口	玄関	倉庫	納骨室	ファンルーム	消音室(排気・給気)
仕上・見込	スチール・工場焼付塗装(枠共) 枠:100mm 戸:40mm	同左	同左	同左	同左	同左
金物	レバーハンドル付きシリンダー箱錠(サムターン付) ステンレス番指・三方スチール額縁 ドアチェック(ストッパー付)・アームストッパー ステンレス丁番・上下フランス落し・付属金物一式	レバーハンドル付きシリンダー箱錠(サムターン付) ステンレス番指・三方スチール額縁 ドアチェック(ストッパー付)・アームストッパー ステンレス丁番・付属金物一式	レバーハンドル付きシリンダー箱錠(サムターン付) ステンレス番指・三方スチール額縁 ドアチェック(ストッパー付)・アームストッパー ステンレス丁番・付属金物一式	同左	同左	点検口錠 ステンレス番指・三方スチール額縁 ステンレス丁番・付属金物一式
備考		ガラリ(ステンレス防虫網付)	同左			
記号・数量	AG 1					
名称	防水ガラリ(開口率30%以上)					
数量	2か所					
取付場所	消音室(排気・給気)					
仕上・見込	アルミ・ステンカラー 70					
金物	二重皿板・水返し付 付属金物一式					
備考	ガラリ開口率30%・ステンレス防虫網					

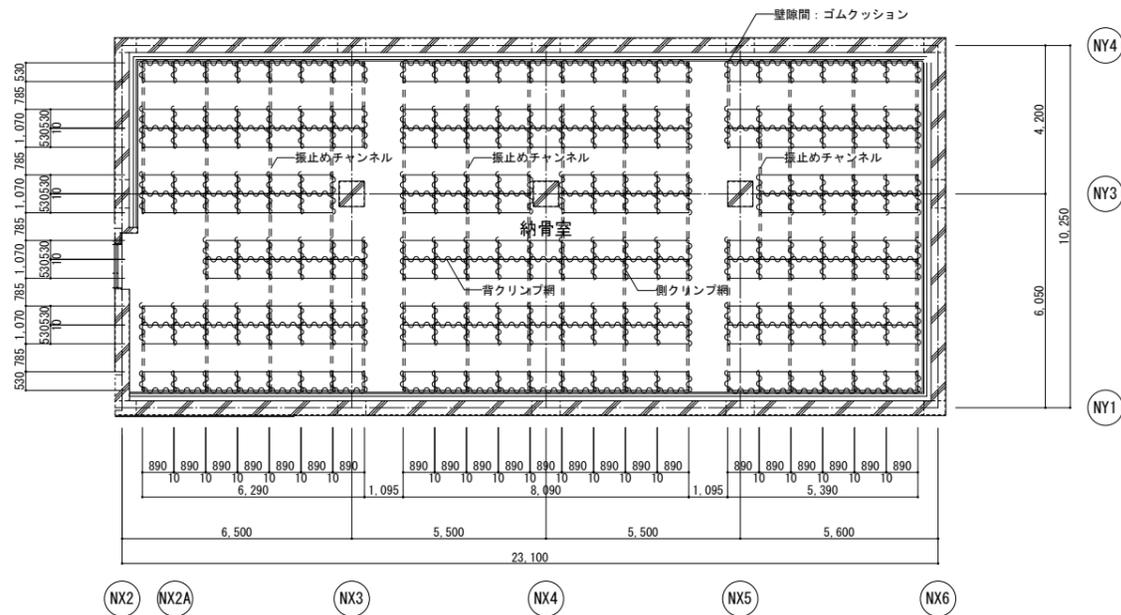
二重壁詳細図



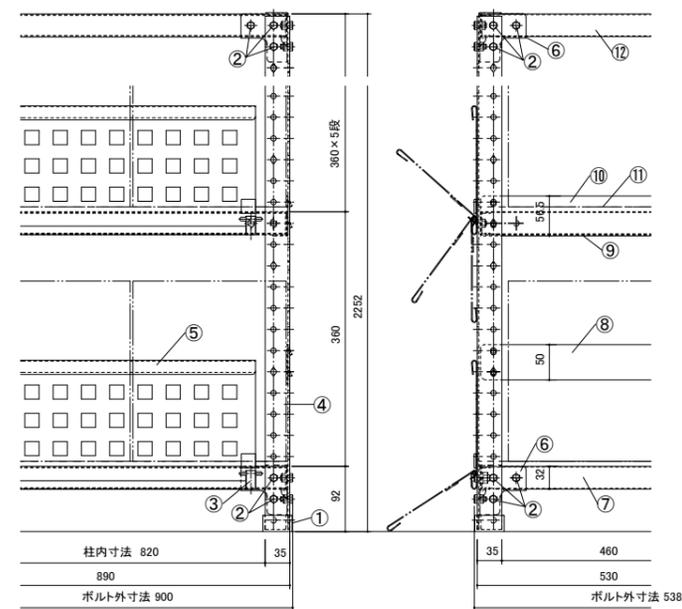
湧水フォーム詳細図



横浜市建築局			工事名	(仮称) 舞岡墓園納骨堂その他新築工事		
年月日	R7.03	縮尺	1/5 1/10	図面名称	【納骨堂】 二重壁詳細図 湧水フォーム詳細図	
設計者	協和建築設計事務所		地設番号	標準	完成	図面枚数
1級建築士登録 第282011号 野崎 為一			図面番号	A-30		

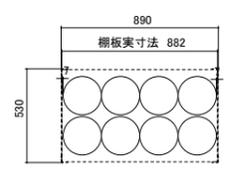


納骨棚配置図 1/100
 ~~~ 側・背クリップ網を示す  
 ※側・背に棚が並ぶ箇所はクリップ網は共用とする。



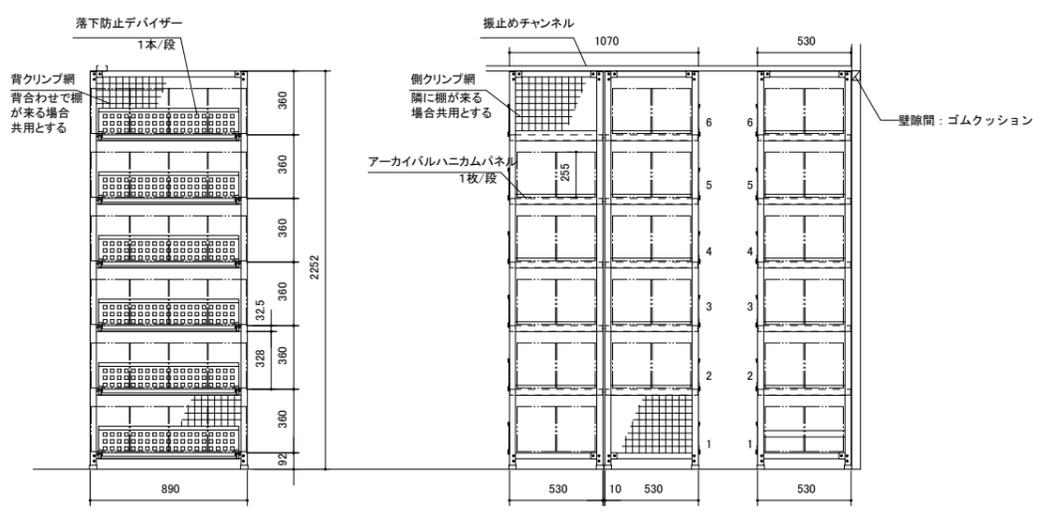
詳細図 1/5

| 名称             | 部材            | JIS記号 |
|----------------|---------------|-------|
| ①座板            | 樹脂製           |       |
| ②ボルト           | M6 × 13HH     |       |
| ③ヒンジ金物         | 亜鉛合金          |       |
| ④柱             | L35 × 35 t2.3 | SPHC  |
| ⑤落下防止デバイザー     | t1.2          | SPCC  |
| ⑥振止め金物         | t1.6          | SPHC  |
| ⑦地板            | t1            | SPCC  |
| ⑧側当り           | t1.6          | SPHC  |
| ⑨棚板            | t1            | SPCC  |
| ⑩棚受            | t1.6          | SPHC  |
| ⑪アーカイバルハニカムパネル |               |       |
| ⑫天板            | t1            | SPCC  |

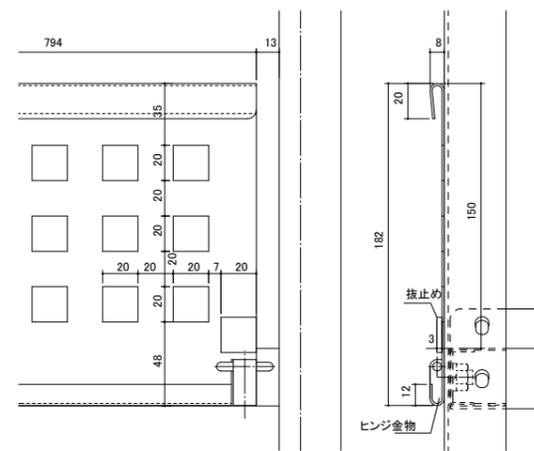


納骨棚 平面図 1/20

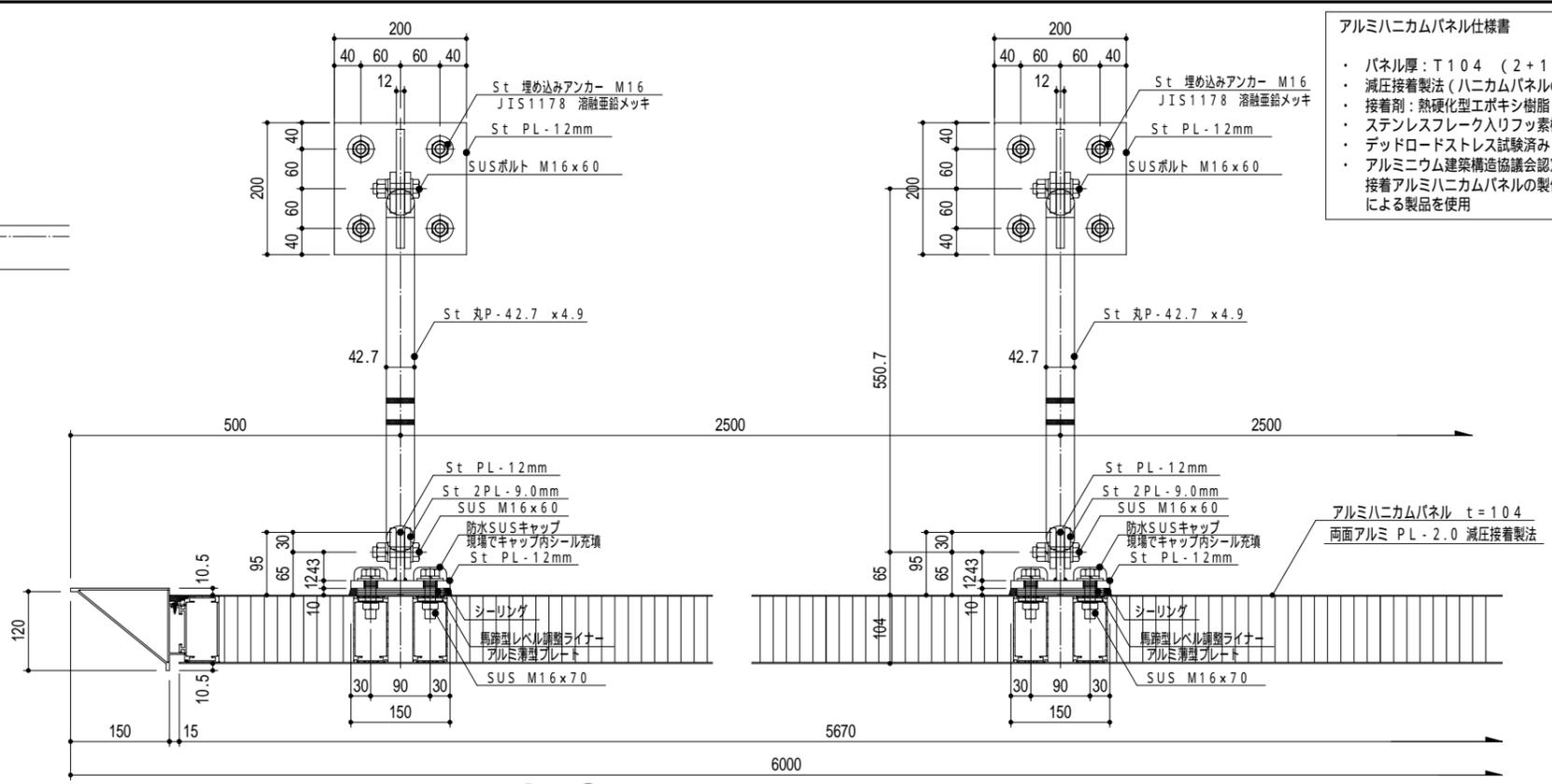
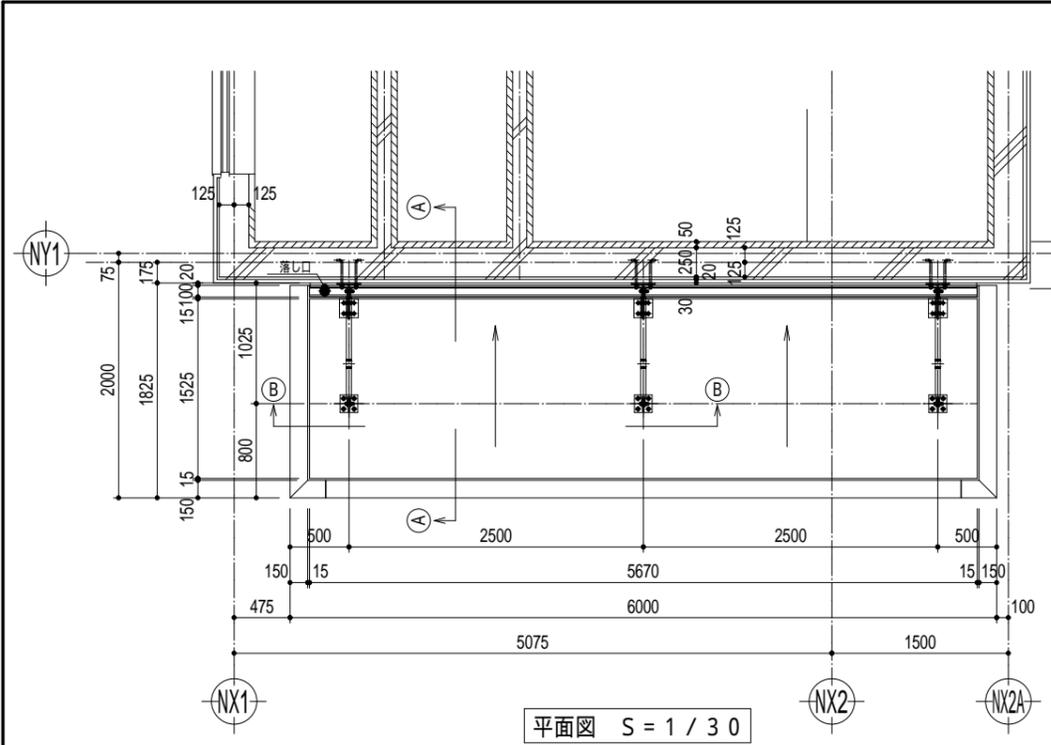
| 納骨棚仕様 (210台) |                                                               |
|--------------|---------------------------------------------------------------|
| 最大積載質量       | 棚板1段当り 最大150kg                                                |
| 塗色           | ブラック                                                          |
| 付属品          | 振止めチャンネル<br>落下防止デバイザー 1本/段<br>アーカイバルハニカムパネル 1枚/段<br>側当り 最下段のみ |



納骨棚 姿図 1/20

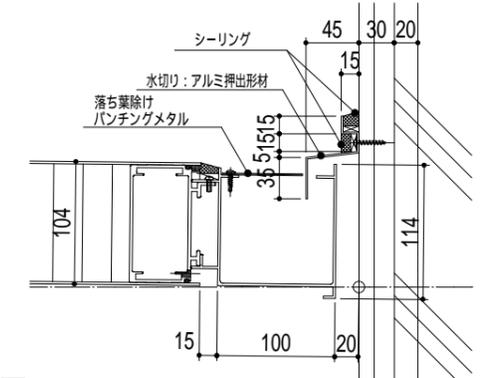
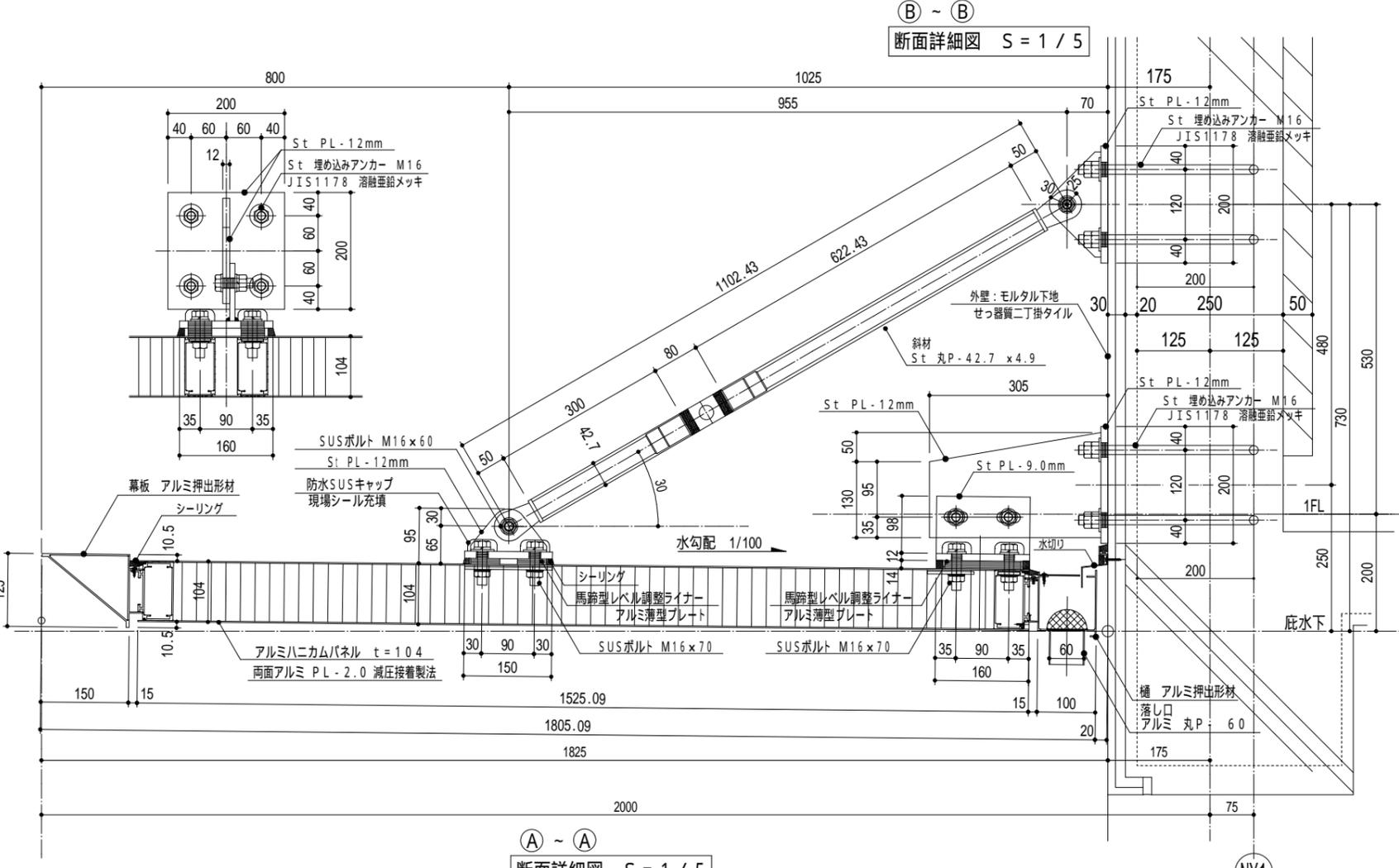
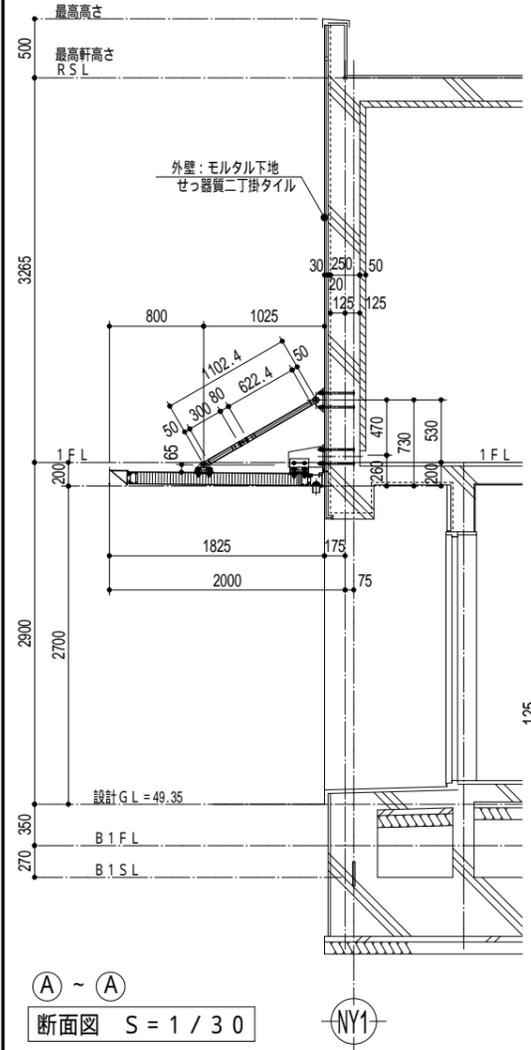


落下防止デバイザー詳細図 1/2



アルミニウムパネル仕様書

- ・ パネル厚: T104 (2+100+2)
- ・ 減圧接着製法 (ハニカムパネルの製造方法)
- ・ 接着剤: 熱硬化型エポキシ樹脂 (2液性)
- ・ ステンレスフレイク入りフッ素樹脂焼付塗装
- ・ デッドロードストレス試験済み
- ・ アルミニウム建築構造協議会認定工場  
接着アルミニウムパネルの製作認定工場  
による製品を使用



■ アルミニウムパネル仕様書

| 主 材 料            |                                                                                                                                               |
|------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ハニカムコア材          | アルミニウム合金はく (JIS H4160に準拠) ■ 3003 H18 70μm<br>■ 3003 H18 76μm                                                                                  |
| アルミ板材            | アルミニウム合金板 JIS H4000 ■ A3004P-H32<br>及び JIS H4000に準拠品 ■ A1100P-H14                                                                             |
| アルミ型材            | アルミニウム合金押出型材 JIS H4100 ■ A6063S-T1<br>■ A6063S-T5<br>□ その他                                                                                    |
| 吊 斜材             | ■ スチール JIS G3454 (圧力配管用炭素鋼鋼管) STPG370 を使用する。<br>□ ステンレス JIS G3444 (一般構造用炭素鋼鋼管) STK400 を使用する。<br>□ ステンレス JIS G3459 (配管用ステンレス鋼鋼管) SUS304 を使用する。 |
| ブラケット            | ■ スチール JIS G3101 (一般構造用圧延鋼材) SS400 を使用する。<br>□ ステンレス JIS G4305 (冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯) SUS304 を使用する。                                                |
| 副 資 材            |                                                                                                                                               |
| ※ 鋼ネット類          | JIS G 4315 (冷間圧延用ステンレス鋼線)又は JIS G 4308 (ステンレス鋼線材)に規定する SUS304 を使用する。<br>スチール六角ボルト JIS B 1180 (溶融亜鉛メッキ) を使用する。                                 |
| ドリップキャップ (スリッパ)  | JIS G 4308 (ステンレス鋼線) に規定する SUS410 を使用する。                                                                                                      |
| スチール鋼板           | JIS G 3131 (熱間圧延軟鋼板及び鋼帯) に規定する SPHC (1.2mm以上14mm以下 一般用) を使用する。                                                                                |
| 工場シール            | JIS A 5758 に準ずる 2成分形ポリサルファイド系シール (S-C-PS2)                                                                                                    |
| 現場シール (建築工事)     | JIS A 5758 に準ずる 建築シーリング材 (MS-2) 色:                                                                                                            |
| 表面 処理            |                                                                                                                                               |
| 表面板・幕板<br>雨樋・水切り | ステンレスフレイク入りフッ素樹脂焼付塗装                                                                                                                          |
| ブラケット<br>吊斜材     | JIS H 8610 電気亜鉛メッキ2種4級の上。<br>ステンレスフレイク入りフッ素樹脂焼付塗装 (パネル同色)                                                                                     |
| ※ 鋼キャップ          | ステンレス                                                                                                                                         |
| 外周枠材             | アルマイト材                                                                                                                                        |

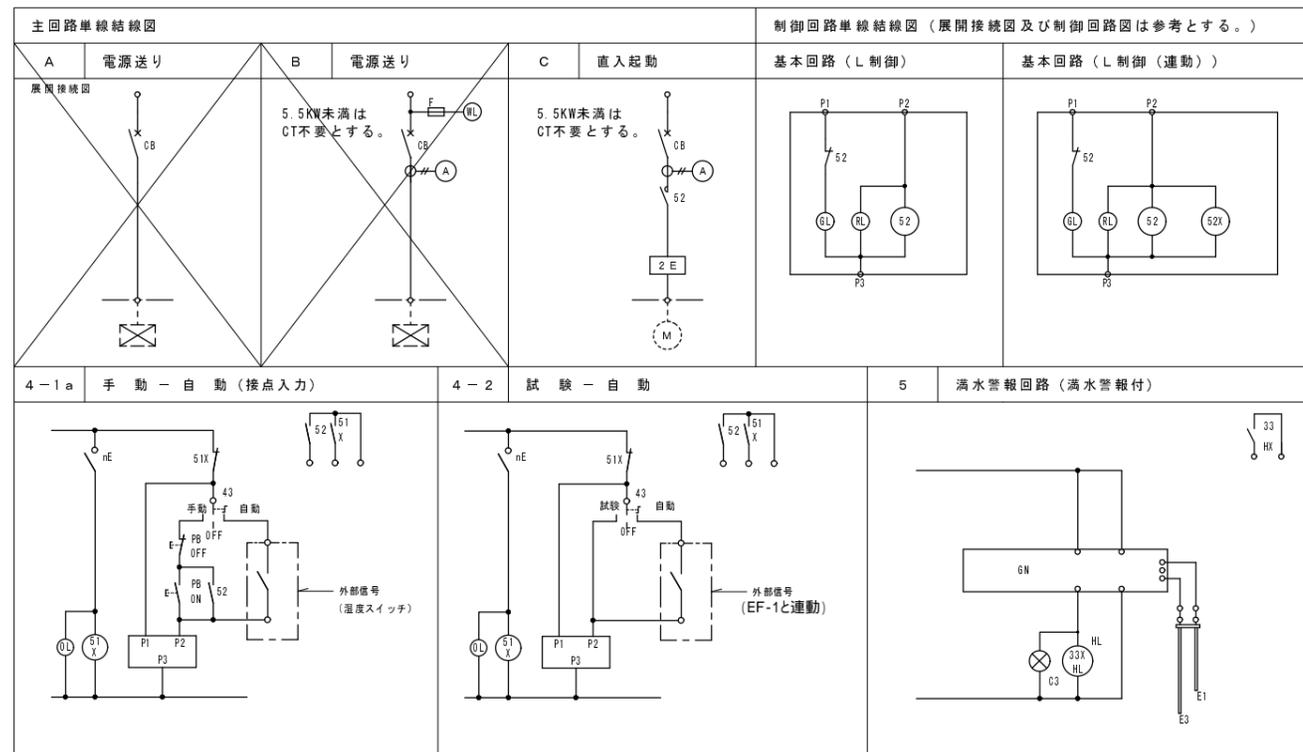
|                        |           |                        |             |
|------------------------|-----------|------------------------|-------------|
| 横浜市建築局                 |           | 工事名 (仮称)舞岡墓園納骨堂その他新築工事 |             |
| 年月日                    | R7.03     | 縮尺                     | 1/5 1/30    |
| 設計                     | 協和建築設計事務所 | 図面名称                   | 【納骨堂】アルミ詳細図 |
| 1級建築士登録 第282011号 児嶋 為一 |           | 施設番号                   |             |
|                        |           | 標準                     |             |
|                        |           | 完成                     |             |
|                        |           | 種類                     |             |
|                        |           | 図面枚数                   |             |
|                        |           | 図面番号                   | A-32        |



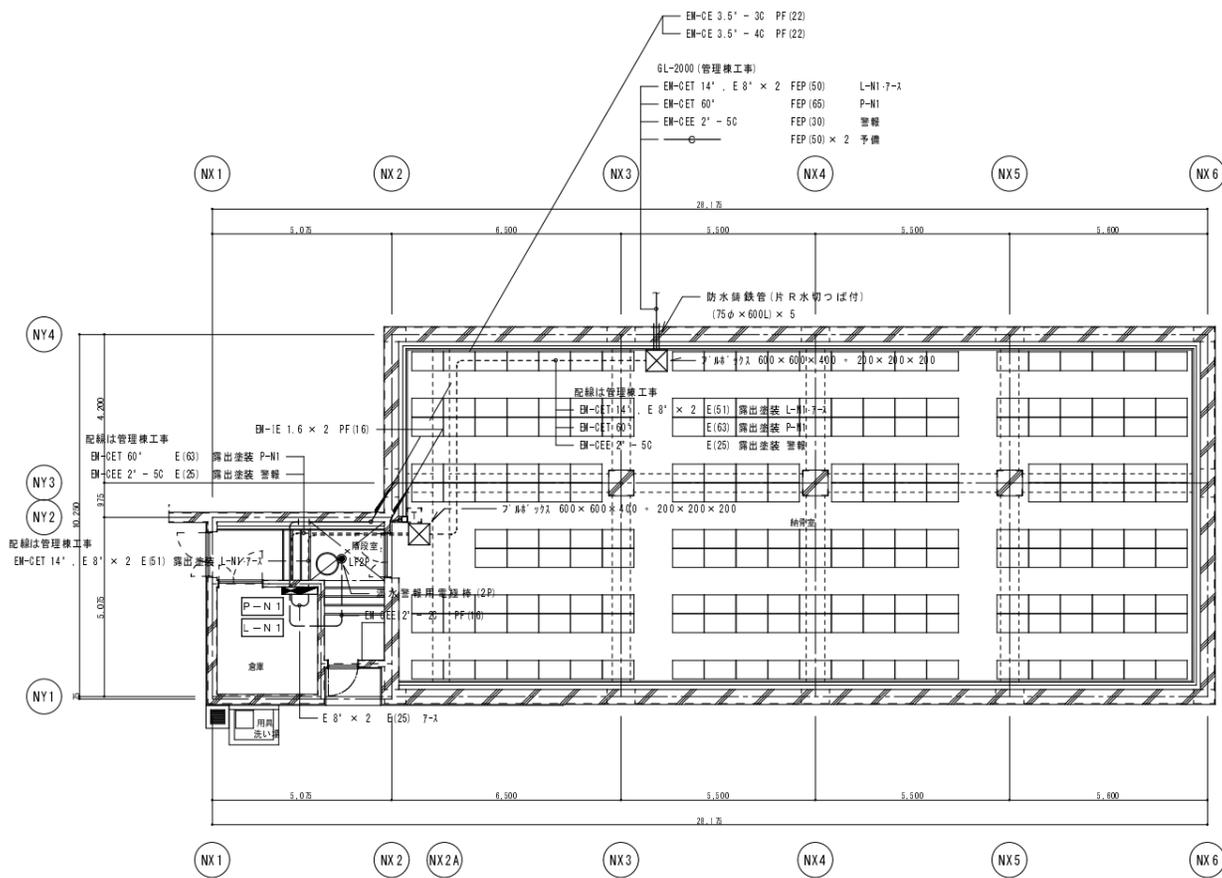


| 盤名称<br>盤形式               | 電源種別(相電圧)<br>主遮断器定格                                    | 負荷       |       | 制御結線<br>方式 | インターロック<br>運動 | 配線用遮断器<br>(AF/AT)        | 警報盤発報表示(○が該当)    |        |              |                        |        |        | 備考 |          |
|--------------------------|--------------------------------------------------------|----------|-------|------------|---------------|--------------------------|------------------|--------|--------------|------------------------|--------|--------|----|----------|
|                          |                                                        | 機器<br>番号 | 名称    |            |               |                          | 消費<br>電力<br>(KW) | 発<br>停 | 運<br>転<br>表示 | 注<br>音<br>機<br>器<br>表示 | 満<br>水 | 減<br>水 |    | 異<br>常   |
| P-N1<br>屋内壁掛型<br>(B1階倉庫) | EM-CET 60'<br>3φ3W 200V (計6.6kW)<br>MCCB 3P 100AF/60AT | EF-1     | 排気ファン | 3.3        | C-4-1a        | ELCB3P 100/60<br>(警報連動付) |                  |        |              |                        |        |        |    | 警報盤へ一括表示 |
|                          |                                                        | SF-1     | 給気ファン | 3.3        | C-4-2         | ELCB3P 100/60<br>(警報連動付) |                  |        |              |                        |        |        |    | 警報盤へ一括表示 |
|                          |                                                        |          | ビット水槽 |            |               |                          |                  |        |              |                        |        |        |    | 警報盤へ一括表示 |
|                          |                                                        |          | 制御用電源 |            | A             | MCCB2P 50/20             |                  |        |              |                        |        |        |    |          |

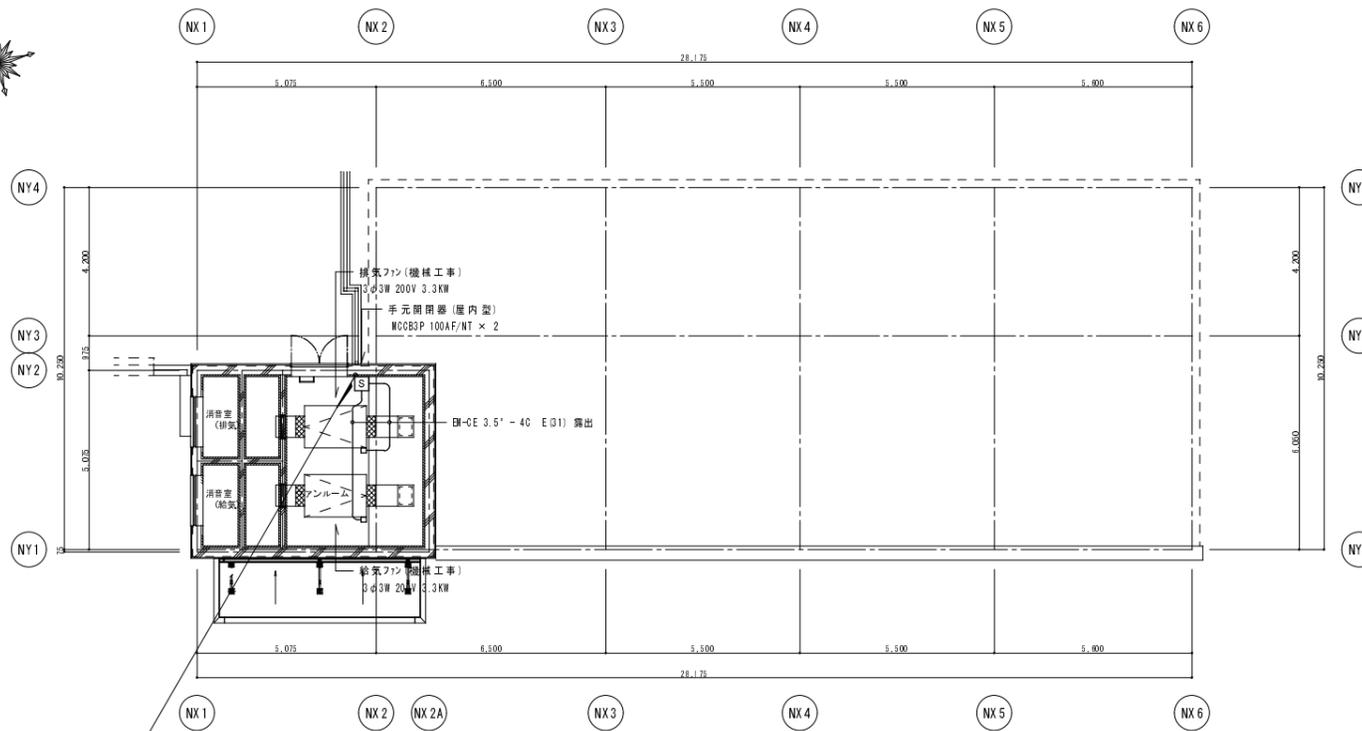
| 盤名称<br>盤形式               | 電気方式                                        | 主開閉器<br>(AF/AT)               | 回路<br>番号  | M<br>C<br>B | E<br>L<br>B | 分岐開閉器<br>(AF/AT) | 負荷名称 | 電圧<br>(V)  | 負荷容量(VA)      |       |       | 備考      |  |
|--------------------------|---------------------------------------------|-------------------------------|-----------|-------------|-------------|------------------|------|------------|---------------|-------|-------|---------|--|
|                          |                                             |                               |           |             |             |                  |      |            | 電灯            | コンセント | その他   |         |  |
| L-N1<br>屋内壁掛型<br>(B1階倉庫) | 1φ3W<br>200/100V<br>計 2.715VA<br>EM-CET 14' | MCCB 3P2E 50/30<br>(中性線欠相保護付) | 計 2.685VA |             |             | 2PIE 50/20       | 誘導灯  | 100        | 30            |       |       | 赤キップ'取付 |  |
|                          |                                             |                               |           |             |             |                  | ①    | 2PIE 50/20 | 階段室・倉庫・ファンルーム | 100   | 215   |         |  |
|                          |                                             |                               |           |             |             |                  | ②    | 2PIE 50/20 | 納骨室           | 100   | 1,160 |         |  |
|                          |                                             |                               |           |             |             |                  | ③    | 2PIE 50/20 | 階段室・倉庫・ファンルーム | 100   |       | 300     |  |
|                          |                                             |                               |           |             |             |                  | ④    | 2PIE 50/20 | 納骨室           | 100   |       | 500     |  |
|                          |                                             |                               |           |             |             |                  | ⑤    | 2PIE 50/20 | 納骨室           | 100   |       | 500     |  |
|                          |                                             |                               |           |             |             |                  | ⑥    | 2PIE 50/20 | 外壁灯           | 100   |       | 10      |  |
|                          |                                             |                               |           |             |             |                  | ⑦    | 2PIE 50/20 | 予備            | 100   |       |         |  |
|                          |                                             |                               |           |             |             |                  | ⑧    | 2PIE 50/20 | 予備            | 100   |       |         |  |
|                          |                                             |                               |           |             |             |                  | ⑨    | 2PIE 50/20 | 予備            | 100   |       |         |  |
| ⑩                        | 2PIE 50/20                                  | 予備                            | 100       |             |             |                  |      |            |               |       |       |         |  |
| 合 計                      |                                             |                               |           |             |             |                  |      |            | 1,385         | 1,300 |       |         |  |



- ※注記
1. 配線用遮断器は協約型とする。
  2. 各盤、接地用端子はE D・E D(ELB)用を設ける事。



地階平面図 1/100



1階平面図 1/100

注記

① 図中、外部～**P-N1**・**L-N1**用配線は管理棟工事とし、  
 配管のみ本工事とする。  
 ② 上記以外は全て本工事とする。

(電気設備)

|        |           |     |                      |      |                 |
|--------|-----------|-----|----------------------|------|-----------------|
| 横浜市建築局 |           | 工事名 | (仮称)興岡基園納骨堂その他新築工事   |      |                 |
| 年月日    | R7.03     | 縮尺  | A1:1/100<br>A3:1/200 | 図面名称 | 幹線動力設備 地階・1階平面図 |
| 有償会社   | 協和建築設計事務所 | 設計者 | 協和建築設計事務所            | 図面枚数 | 図面番号            |
|        | 協和建築設計事務所 |     |                      |      | E-03            |

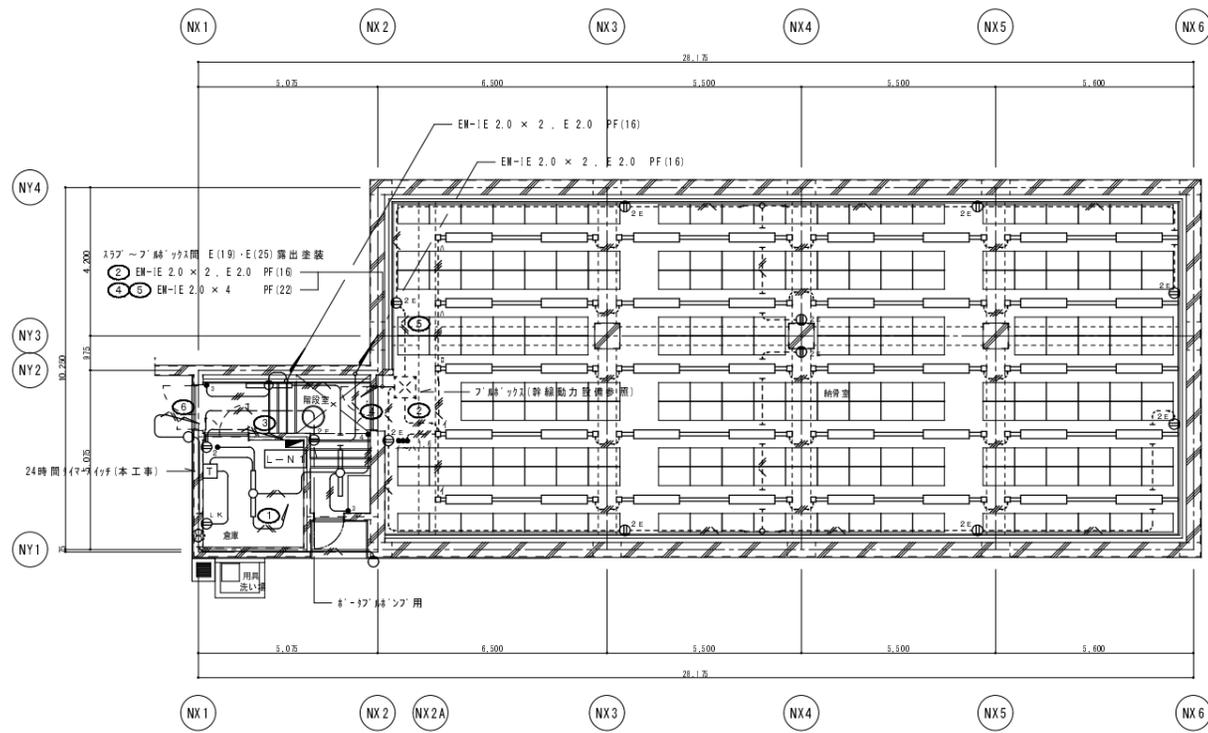
|   |                                    |   |                                        |   |                  |   |                                               |   |                                              |
|---|------------------------------------|---|----------------------------------------|---|------------------|---|-----------------------------------------------|---|----------------------------------------------|
| A | LRS6-4-30                          | B | LSS1-4-30                              | C | LSS9-4-30        | D | LSS9MP/RP-4-30<br>防湿型・防雨型 SUS                 | E | LED30W L=1500<br>LGB50074-LB1同等品             |
| F | LED24.9W L=1200<br>LGB50071-LB1同等品 | G | LED19W L=900<br>LGB50068-LB1同等品        | H | LRS1-13          | I | LRS1-05                                       | J | LDS1-LRS1-05                                 |
| K | LED13.3W 3000K<br>XND1560SL同等品     | L | LED15.5W 3000K<br>XND2061AL-LE9同等品     | M | LRS1RP-13<br>防雨型 | N | LED4.3W 2700K<br>LGW85040AF同等品<br>防雨型         | O | LED5W 2700K<br>LGB81425LE1同等品                |
| P | LED2W 3000K<br>防雨型<br>NNY21243同等品  | Q | LED3.7W 2700K<br>防雨型<br>LGW40080LE1同等品 | R | LPT1-02<br>防雨型   | S | SH1-FBF20-C<br>電池内蔵型<br>C級 LED 避難口誘導灯 天井直付 片面 | T | ST1-FSF23-C<br>電池内蔵型<br>C級 LED 通路誘導灯 天井直付 両面 |

(電気設備)

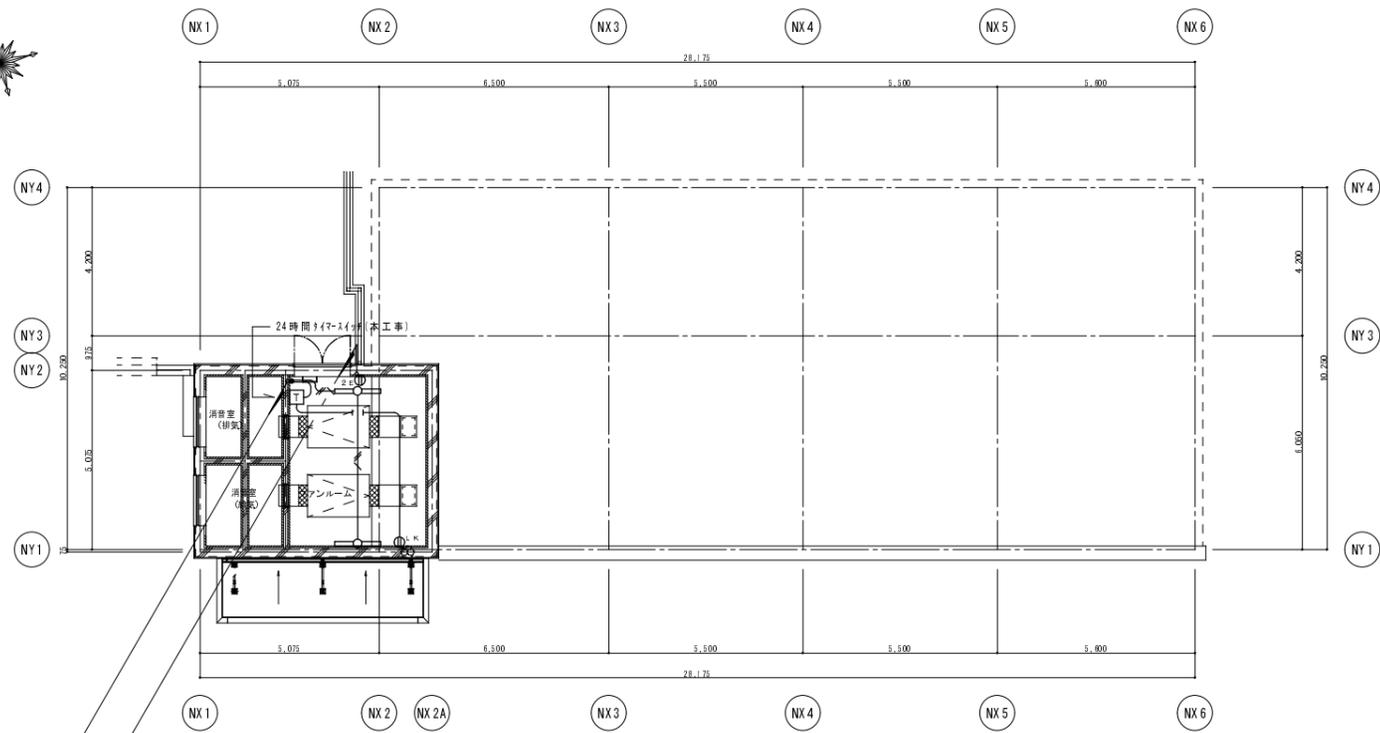
|             |                  |                         |                    |
|-------------|------------------|-------------------------|--------------------|
| 横浜市建築局      |                  | 工事名 (仮称) 舞岡基園納骨堂その他新築工事 |                    |
| 年月日         | R7.03            | 縮尺                      | A1: N/S<br>A3: N/S |
| 図面名称 照明器具要図 |                  | 図面番号                    | 照明器具要図             |
| 設計者         | 協和建築設計事務所        | 図面枚数                    | 図面番号               |
| 協和建築設計事務所   | 〒220-0191 東京都大田区 |                         | E-04               |

|       |                |       |        |
|-------|----------------|-------|--------|
| 外壁    | 階段室            | 倉庫    | 納骨室    |
| N × 2 | B × 1<br>C × 1 | C × 1 | B × 40 |

|                |
|----------------|
| ファンルーム         |
| B × 1<br>C × 1 |



地階平面図 1/100



1階平面図 1/100

注記

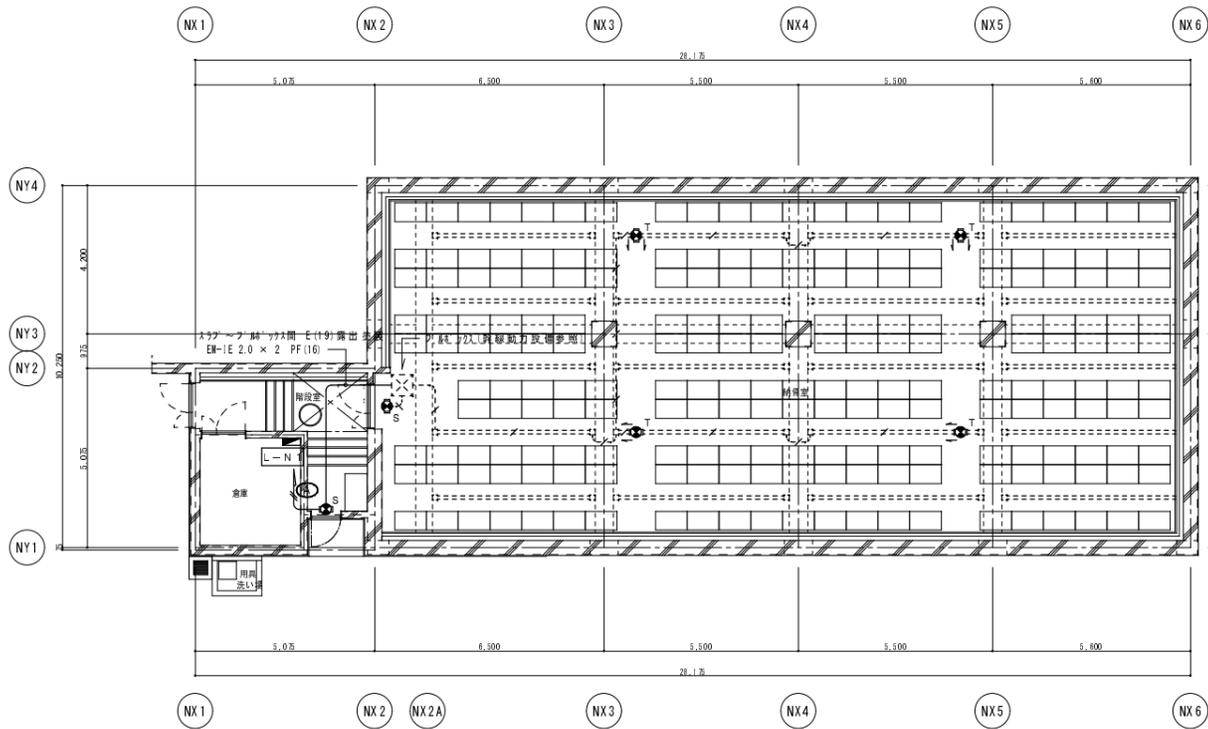
図中、特記なき配管配線は下記とする。

|     |                      |             |
|-----|----------------------|-------------|
| ——— | EM-IE 1.6 × 2        | PF (16)     |
| ——— | EM-IE 1.6 × 3        | PF (16)     |
| ——— | EM-IE 1.6 × 4        | PF (16)     |
| ——— | EM-IE 2.0 × 2, E 2.0 | PF (16)     |
| ——— | EM-IE 2.0 × 4, E 2.0 | PF (22)     |
| ——— | EM-IE 2.0 × 5, E 2.0 | PF (22)     |
| ——— | EM-IE 2.0 × 2, E 2.0 | PF (16)     |
| ——— | EM-IE 1.6 × 4        | E (19) 露出塗装 |
| ——— | EM-IE 2.0 × 2, E 2.0 | E (19) 露出塗装 |
| ——— | EM-IE 2.0 × 3, E 2.0 | E (19) 露出塗装 |
| ——— | EM-IE 2.0 × 4, E 2.0 | E (25) 露出塗装 |
| ——— | EM-IE 2.0 × 5, E 2.0 | E (25) 露出塗装 |
| ——— | EM-EEF 2.0 - 30      | E (25) 露出塗装 |
| ——— | EM-EEF 2.0 - 20 × 2  | E (25) 露出塗装 |
| ——— | EM-EEF 2.0 - 30      | ℓ-ℓ内        |
| ——— | EM-EEF 2.0 - 20 × 2  | ℓ-ℓ内        |

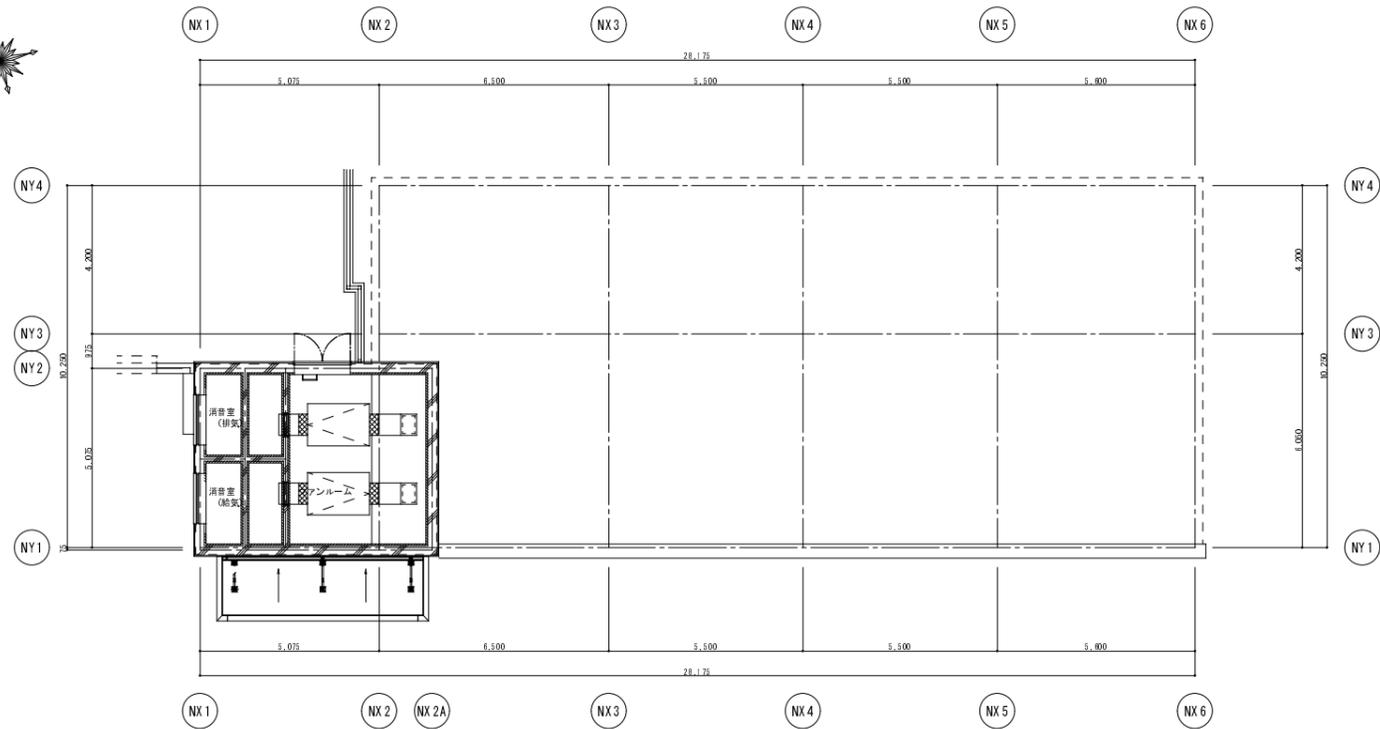
(電気設備)

|           |           |           |                        |           |                    |
|-----------|-----------|-----------|------------------------|-----------|--------------------|
| 横浜市建築局    |           | 工事名       | (仮称)興国墓園納骨室その地新築工事     |           |                    |
| 年月日       | R7.03     | 縮尺        | A3: 1/100<br>A3: 1/200 | 図面名称      | 電灯コンセント設備 地階・1階平面図 |
| 発注者       | 協和建築設計事務所 | 設計者       | 協和建築設計事務所              | 図面枚数      | 図面番号               |
| 協和建築設計事務所 | 協和建築設計事務所 | 協和建築設計事務所 | 協和建築設計事務所              | 協和建築設計事務所 | 協和建築設計事務所          |
|           |           |           |                        |           | E-05               |

|       |
|-------|
| 納音室   |
| S × 2 |
| T × 4 |



地階平面図 1/100



1階平面図 1/100

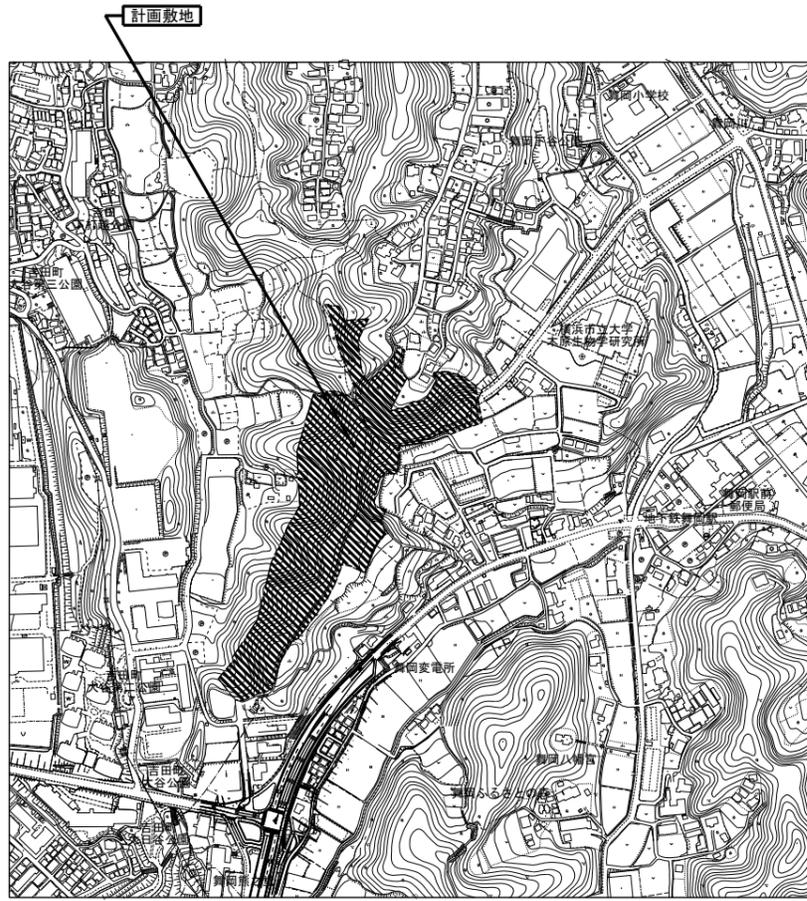
注 記

- 図中、特記なき配管配線は下記とする。
- EM-IE 2.0 × 2 PF (16)
  - EM-EEF 2.0 - 3C E (19) 露出塗装
  - EM-EEF 2.0 - 3C I-20:4内 (電灯設備参照)

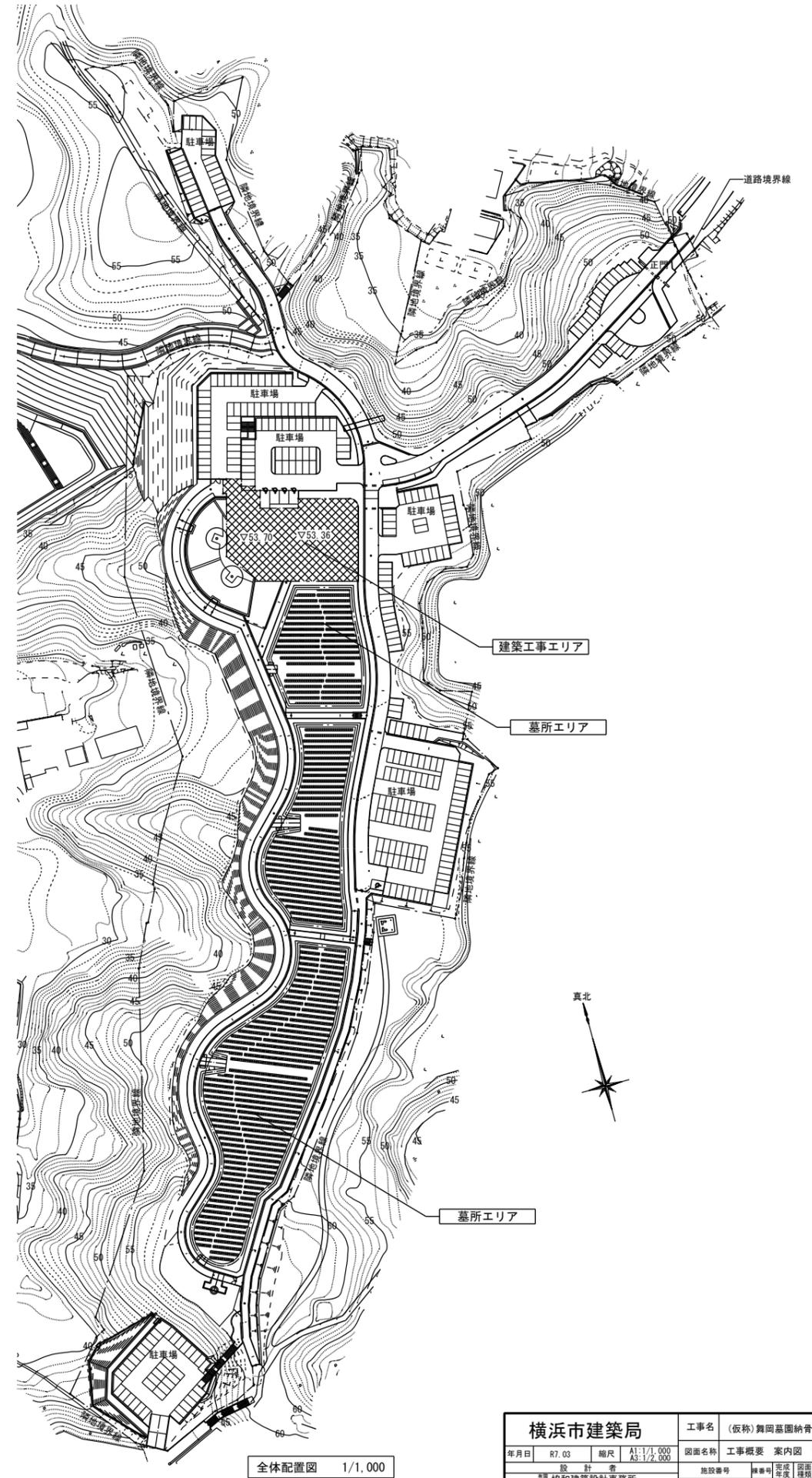
|                    |  |  |  |                  |  |  |  |
|--------------------|--|--|--|------------------|--|--|--|
| 横浜市建築局             |  |  |  | 横浜市建築局           |  |  |  |
| 年月日 R7.03          |  |  |  | 図面名称 誘導灯設備 地階平面図 |  |  |  |
| 縮尺 A3:1/100        |  |  |  | 図面番号             |  |  |  |
| 設計者 協和建築設計事務所      |  |  |  | 図面枚数             |  |  |  |
| 協和建築設計事務所          |  |  |  | 図面番号             |  |  |  |
| 〒220-0101 東京都横浜市中区 |  |  |  | E-06             |  |  |  |



| 工事概要       | 敷地概要 |                  |
|------------|------|------------------|
| 管理事務所棟新築工事 | 所在地  | 戸塚区 吉田町1653番地1ほか |
| 納骨堂新築工事    | 主要用途 | 納骨堂、管理事務所        |
|            | 用途地域 | 市街化調整区域          |
|            | 防火地域 | 指定無し             |
|            | 高度地区 | —                |
|            | 敷地面積 | 46,920.93㎡       |
|            | 建築面積 | 402.23㎡          |
|            | 延床面積 | 593.34㎡          |
|            | 建ぺい率 | 0.86% < 50.00%   |
|            | 容積率  | 1.26% < 80.00%   |
|            |      |                  |
|            |      |                  |

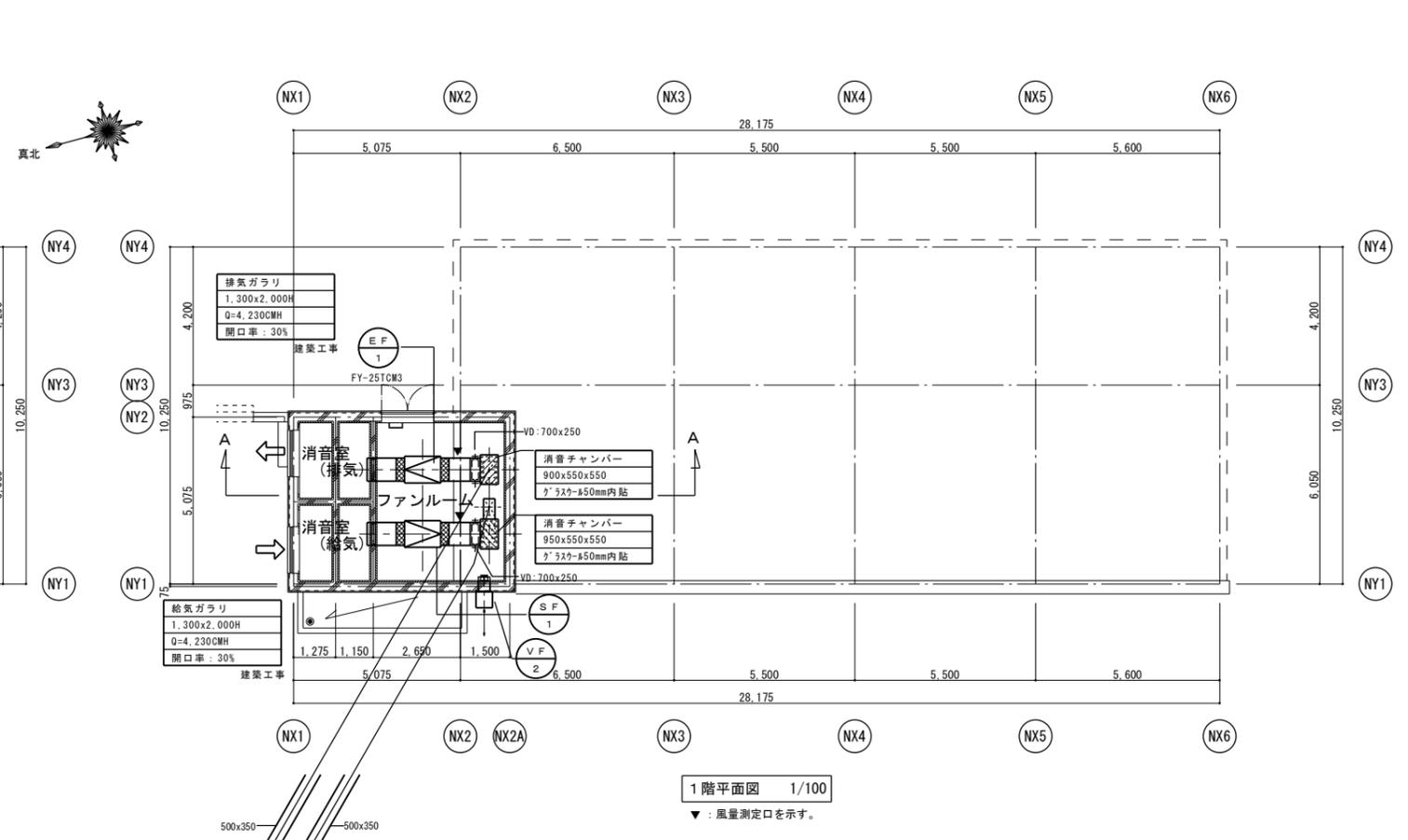
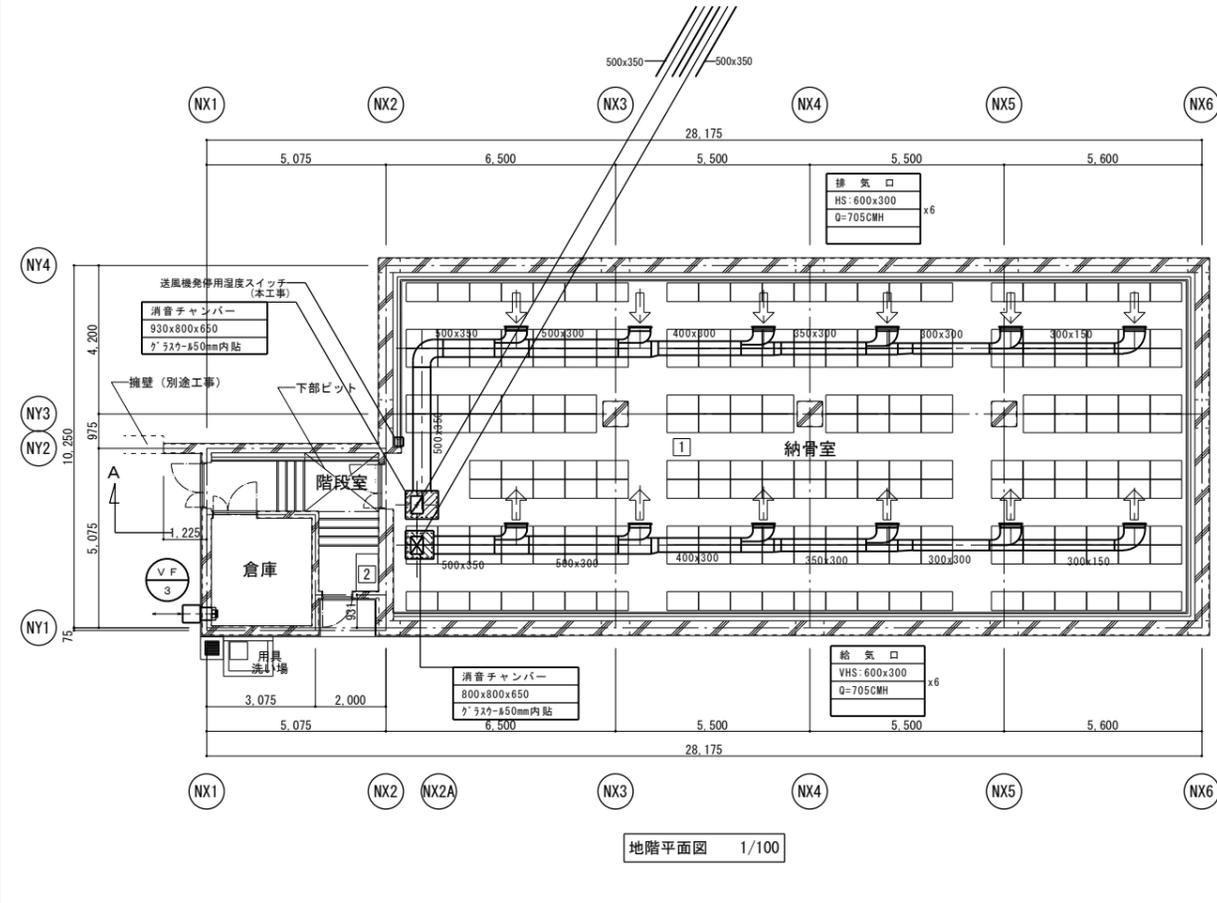
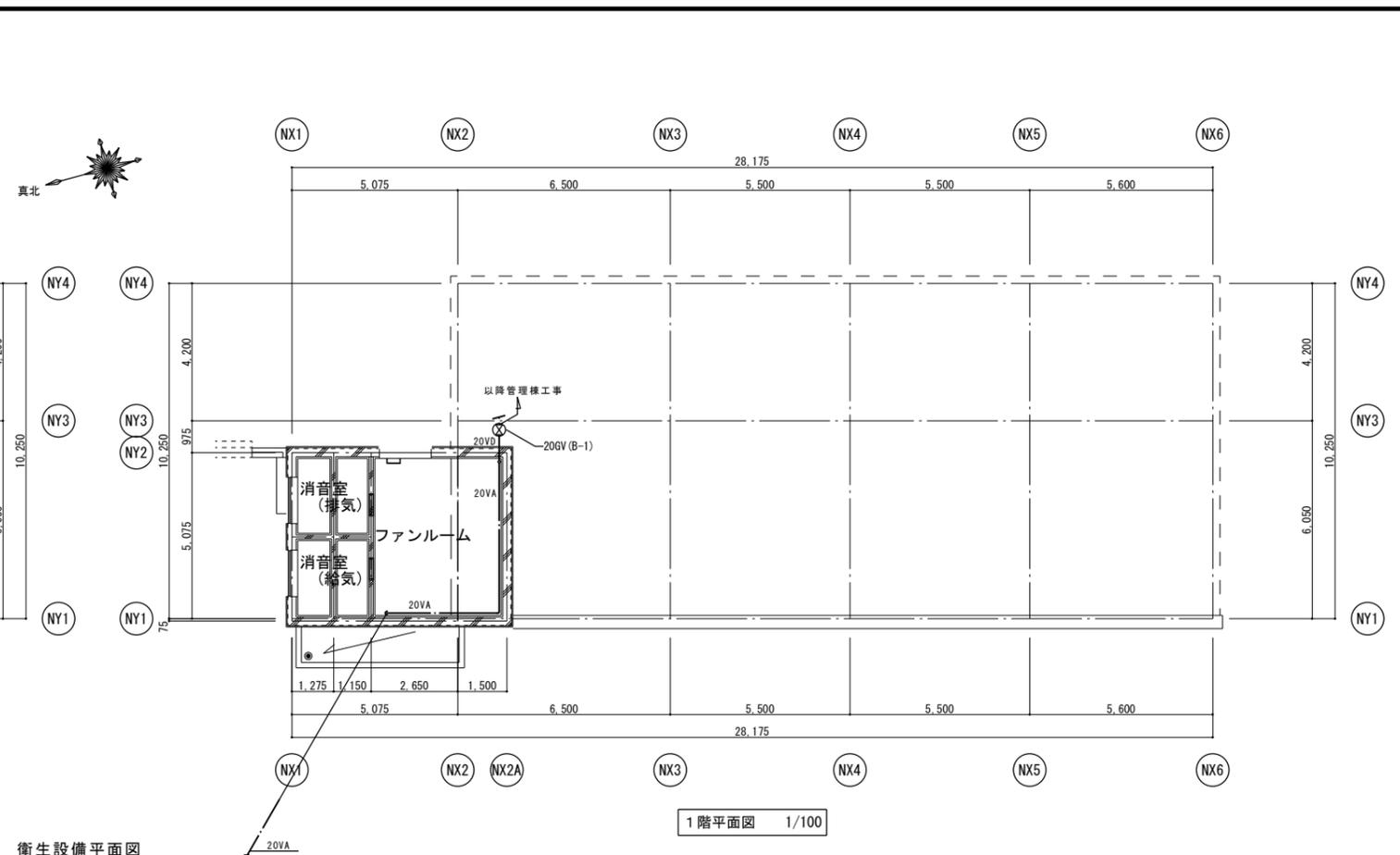
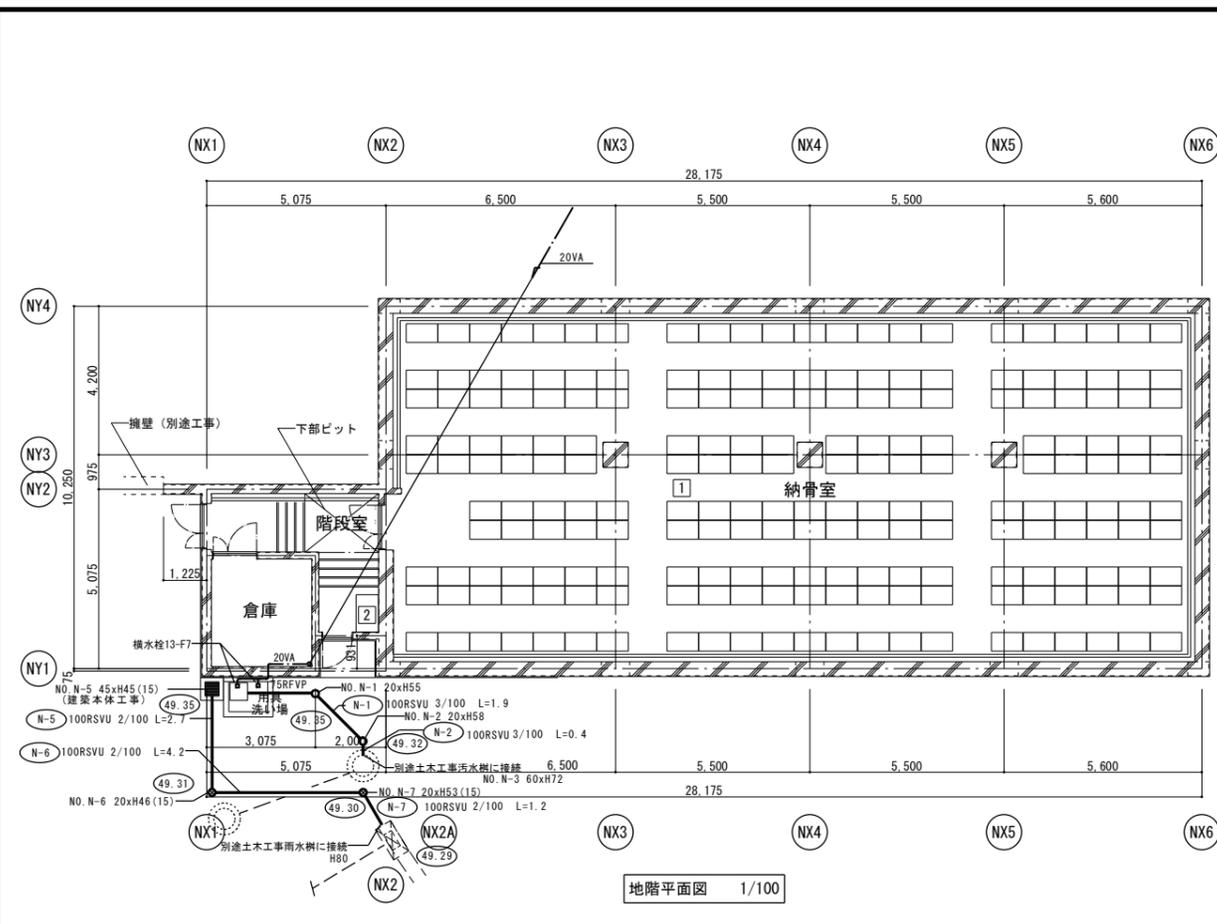


案内図  
排水区域：分流地域  
© 横浜市（加工） 縮尺：NS



全体配置図 1/1,000

|        |           |      |                    |            |
|--------|-----------|------|--------------------|------------|
| 横浜市建築局 |           | 工事名  | (仮称)舞岡墓園納骨堂その他新築工事 |            |
| 年月日    | R7.03     | 縮尺   | A1:1/1,000         | A3:1/2,000 |
| 設計者    | 協和建築設計事務所 |      |                    |            |
| 地設番号   | 棟番号       | 完成年度 | 図面枚数               | 図面番号       |
|        |           |      |                    | M-02       |



(空調衛生設備工事)

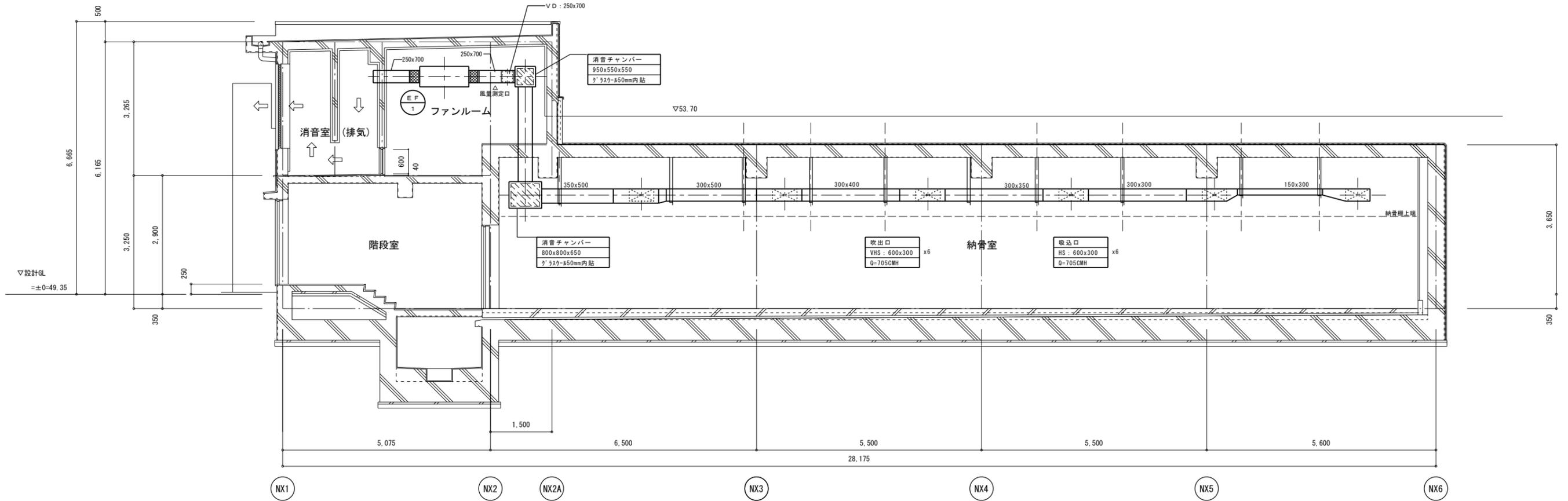
|         |                |      |                    |
|---------|----------------|------|--------------------|
| 横浜市建築局  |                | 工事名  | (仮称)舞岡墓園納骨堂その他新築工事 |
| 年月日     | R7.03          | 図面名称 | 各階平面図(衛生・換気設備)     |
| 設計者     | 協和建築設計事務所      | 図面枚数 | 1/1                |
| 1級建築士登録 | 第282011号 尾崎 浩一 | 図面番号 | M-O-3              |

換気計算書

| 階 | 室名  | 換気計算式   |       |         |            |       |        |          |    |          |         |          |         |      | 24時間換気     | 使用機器    |    |           | 備考              | 給気先 |
|---|-----|---------|-------|---------|------------|-------|--------|----------|----|----------|---------|----------|---------|------|------------|---------|----|-----------|-----------------|-----|
|   |     | 規模      |       |         | 居室有効換気量    |       |        | 換気回数     |    | シックハウス対策 |         | 設計風量     |         | 換気方式 |            | 機器形式    | 備考 | 機器数量      |                 |     |
|   |     | 面積      | 高さ    | 容積      | V1=20xAf/N |       |        | V2=nxV   |    | V3=nxV   |         | 換気量      |         |      |            |         |    |           |                 |     |
|   |     |         |       |         | Af (m2)    | H (m) | v (m3) | 人員       | N値 | V1 (CMH) | n (回/H) | V2 (CMH) | n (回/H) |      |            |         |    |           |                 |     |
|   | 納骨堂 |         |       |         |            |       |        |          |    |          |         |          |         |      |            |         |    |           |                 |     |
| 1 | 納骨室 | 236.775 | 3.565 | 844.103 |            |       | 5      | 4220.514 |    |          |         | 1種       | EF-1    | 4230 | 消音ボックス付送風機 | 250x700 | 1  | 耐湿型 排気ファン |                 |     |
|   |     |         |       |         |            |       |        |          |    |          |         |          | SF-1    | 4230 | 消音ボックス付送風機 | 250x700 | 1  | 耐湿型 給気ファン | 機械給気：消音ボックス付送風機 |     |
| 2 | 機械室 | 21.373  | 3.100 | 66.255  |            |       | 10     | 662.548  |    |          |         | 3種       | VF-2    | 670  | 有圧換気扇      | 300φ    | 1  |           |                 |     |
| 1 | 倉庫  | 9.955   | 2.500 | 24.888  |            |       | 5      | 124.438  |    |          |         | 3種       | VF-3    | 130  | 壁付換気扇      | 200φ    | 1  |           |                 |     |

機器表

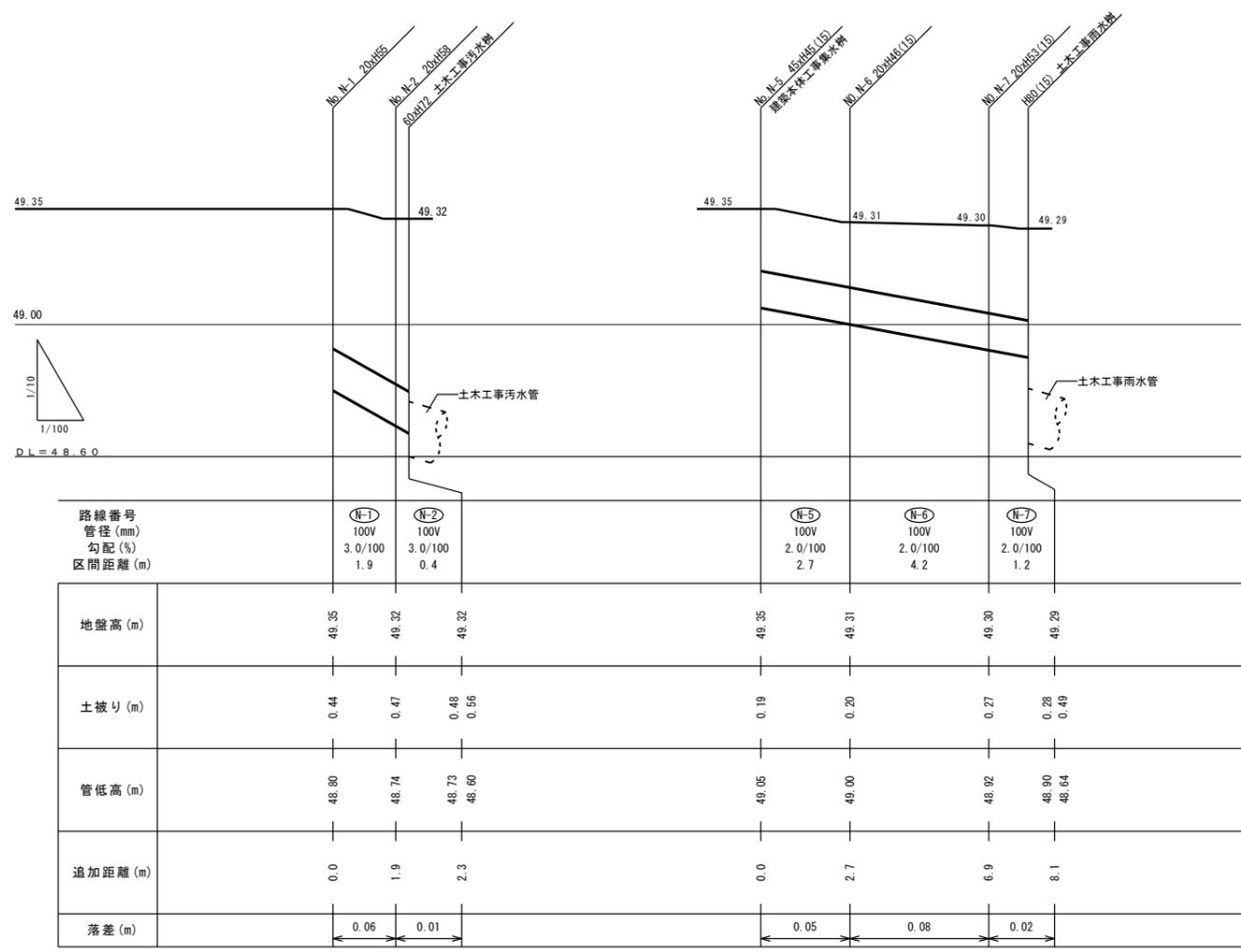
| 記号   | 名称                    | 設置場所 |        | 機器仕様                                                                                                                  | 台数 | 電気 |     |        |      | 備考                    |
|------|-----------------------|------|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|-----|--------|------|-----------------------|
|      |                       | 階    | 室名     |                                                                                                                       |    | φ  | V   | KW     | 起動方式 |                       |
| EF-1 | 消音ボックス付排気用ダクトファン(排気用) | 2    | 納骨堂機械室 | 形式：耐湿・低騒音・大風量形<br>換気風量：4,320CMH 機外静圧：250Pa 接続ダクトサイズ：700x250 専用湿度スイッチ(埋込形)共<br>防振吊りスプリング金具共<br>※湿度スイッチによる発停制御は電気工事とする。 | 1  | 3  | 200 | 3.3    | 直入   | 参考：FY-28SCM3 (n+1/2ヶ) |
| SF-1 | 消音ボックス付給気用ダクトファン(給気用) | 2    | 納骨堂機械室 | 形式：耐湿・低騒音・大風量形<br>換気風量：4,320CMH 機外静圧：250Pa 接続ダクトサイズ：700x250 専用湿度スイッチ(埋込形)共<br>防振吊りスプリング金具共<br>※湿度スイッチによる発停制御は電気工事とする。 | 1  | 3  | 200 | 3.3    | 直入   | 参考：FY-28SCM3 (n+1/2ヶ) |
| VF-2 | 有圧換気扇                 | 1    | 納骨堂機械室 | 形式：銅板製・低騒音形 羽根口径：300φ<br>換気風量：670CMH 機外静圧：50Pa 電気シッター、銅板製標準7' (防虫網付)、保護ガード、木枠共                                        | 1  | 1  | 100 | 0.050  |      |                       |
| VF-3 | 一般壁付換気扇               | 1    | 納骨堂倉庫  | 形式：銅板製・遠隔操作式・標準形 羽根口径：200φ<br>換気風量：130CMH 機外静圧：25Pa 電気シッター、銅板製標準7' (防虫網付)、木枠共                                         | 1  | 1  | 100 | 0.0155 |      |                       |



納骨堂断面図 1/50  
(A-A断面)

(空調衛生設備工事)

|                        |                        |                         |                     |
|------------------------|------------------------|-------------------------|---------------------|
| 横浜市建築局                 |                        | 工事名 (仮称) 舞岡墓園納骨堂その他新築工事 |                     |
| 年月日 R7.03              | 縮尺 A1:1/50<br>A3:1/100 | 図面名称                    | 換気計算書・換気機器表・換気設備断面図 |
| 設計者                    | 施工者                    | 完成年度                    | 図面枚数                |
| 協和建築設計事務所              |                        |                         |                     |
| 1級建築士登録 第282011号 泉嶋 浩一 |                        |                         | M-04                |



屋外排水縦断図(納骨堂)